ski-doo®

BRP

2019

オペレーターズガイド

安全性、車両およびメンテナンスに関する情報が記載されています

Expedition®
シリーズ

⚠ 警告

このガイドをよくお読みください。重要な安全情報が記載されています。
推奨されるオペレーターの最低年齢:16才。
このオペレーターズガイドは車両内に保管してください。

619 900 966_JA

原本

⚠ 警告

本オペレーターズガイド、安全講習ビデオ および製品に貼付されている警告ラベルに記載の安全注意事項や指示を無視すると、死亡事故や負傷の原因となる場合があります。

⚠ 警告

この車両は、過去に運転経験のある他の車両の性能を超えている可能性があります。新しい車両に慣れるまで十分に時間をかけてください。

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告

⚠ **警告:**このオフロード車両の運転、整備、保守を行うことで、米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害または生殖毒性を引き起こすことが知られている化学製品にさらされる可能性があります。そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。詳細は、www.p65warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle をご覧ください。

米国内の製品代理店はBRP US Inc.です。
カナダでは、Bombardier Recreational Products Inc.が本製品を販売しています。
下記のものは、Bombardier Recreational Products Inc.またはその子会社の商標です。

ACE™	E-TEC®	Learning Key™	ROTAX®	TRA™
D.E.S.S.™	HPG™	REV-XP™	SC™	
EXPEDITION™	iTC™	REV-XU™	Ski-Doo®	

619900966_JA SG/LG
®™ およびBRPロゴは、Bombardier Recreational Products Inc.またはその子会社の商標です。
©2018 Bombardier Recreational Products Inc. および BRP US Inc. 無断複写・転載を禁じます。

はじめに

Deutsch	Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: **www.operatorsguides.brp.com**
English	This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: **www.operatorsguides.brp.com**
Español	Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: **www.operatorsguides.brp.com**
Français	Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifiez avec votre concessionnaire ou aller à : **www.operatorsguides.brp.com**
中文	本手册可能有您的语种的翻译版本。请向经销商问询，或者登录 www.operatorsguides.brp.com 查询。
日本語	このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください：**www.operatorsguides.brp.com**
Nederlands	Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: **www.operatorsguides.brp.com**
Norsk	Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: **www.operatorsguides.brp.com**
Português	Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: **www.operatorsguides.brp.com**
Suomi	Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: **www.operatorsguides.brp.com**
Svenska	Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: **www.operatorsguides.brp.com**

Ski-Doo®スノーモービルをご購入いただきありがとうございます。どのモデルを選択しても、ボンバルディがそれを裏打ちしていますレクリエーション用 製品Inc.（BRP）の保証と認定済みのネットワークSki-Dooスノーモービルのディーラーは、必要な部品、整備、およびアクセサリを提供することができます。

各ディーラーとも、お客様が満足されるように努めています。正規ディーラーは、初期セットアップと点検を実施できるように特別訓練を受けています。また、オペレーターの特性に合わせた最終調整を行うことができます。

納品時には、お客様に保証範囲をお知らせいたします。また、新しい車両がご満足いただけるものであることを保証するために、お客様に*納品前チェックリスト*にご署名いただいています。

乗車前に確認すべきこと

お客様、同乗者、またはその場に居合わせた人が負傷または死亡する危険の回避方法を学ぶため、スノーモービルを操作する前に以下のセクションをお読みください。

- *安全に関する情報*
- *車両についての情報*。

スノーモービルに貼付されているすべての警告ラベルをよく読んで理解し、*安全講習ビデオ*.をよくご覧ください。

当社では、お客様が安全なコースを走行するよう強く推奨しています。お客様の地域のディーラーまたは地元の監督官庁などにご確認ください。

オペレーターズガイドの警告に従わないと、重傷や死亡事故につながる恐れがあります。

スノーモービルの良好な走行は、走行する地形にある程度影響されます。

とても固い表面や、雪のない表面で走行した際、エンジンの冷却装置やリサスペンションに負担がかかることがあります。その様な表面上において、長時間走行するのは避けてください。

安全上の警告

本ガイドに記載されている安全に関する安全上の警告の種類、特徴および本ガイドでどのように使用されているかを以下に説明します。

警告記号⚠は、人が負傷する恐れがあることを示します。

⚠ 警告

指示に従わなかった場合、重傷や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

⚠注意　この指示に従わない場合、軽症またはほどほどの負傷を負う恐れがあることを示しています。

注記 指示に従わなかった場合は、車両の構成部品などに重大な損傷が生じる恐れがあることを示します。

このオペレーターズガイドについて

本オペレーターズガイドは、このスノーモービルとそのさまざまなコントローラー類、安全な走行法およびメンテナンスの注意事項について、オーナー/オペレーターおよび同乗者の方によく知っていただくために作成されています。

本オペレーターズガイドは車両内に保管し、メンテナンスやトラブルシューティングの際、また他の人に指導する際に参照してください。

本ガイドは、各言語に翻訳されています。内容に不一致が生じた場合は、英語版の内容が正しいものと見なされます。

オペレーターズガイドの閲覧やコピーを希望する場合は、ウェブサイト **www.operatorsguides.brp.com**にアクセスしてください。

本書に記載されている情報は、発行時点で正確なものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を持っています。その後の変更により、製造された製品と本ガイドに記載の説明または仕様との間に差異が生じる場合があります。BRPは何らの義務を負うことなく、いかなるときでも製品の仕様、設計、機能、型式、装置などを変更したり、製造を終了する権利を留保します。

車両を売却するときは、このオペレーターズガイドを必ず車両内に入れておいてください。

目次

はじめに....................1
乗車前に確認すべきこと....................1
安全上の警告....................2
このオペレーターズガイドについて....................2

安全に関する情報

一般的な注意....................8
一酸化炭素中毒の防止....................8
ガソリンによる火事や危険などの防止....................8
高温部分による火傷の防止....................8
アクセサリーおよび改造....................8

安全上の特別な警告....................9

アクティブテクノロジー（iTC）（900 ACEおよび1200 4-TEC）........12
はじめに....................12
ITC （インテリジェントスロットルコントロール）....................12

乗車....................13
走行前点検....................13
乗り方....................16
同乗者を乗せての運転....................17
さまざまな地面／走行....................18
環境....................22

トラクション強化製品....................24
操作性....................24
加速....................25
ブレーキ....................25
重要な安全規則....................26
スタッド付きトラックを装着した場合の、スノーモービルの寿命への影響....................26
BRP認定トラックへのスタッドの取り付け....................26
スタッド付きトラックの点検....................27

重要な製品貼付ラベル....................28
ハングタグ....................28
車両警告ラベル....................28
適合ラベル....................34
技術情報ラベル....................34

車両についての情報

コントローラー類、計器類および装置....................38
1) ハンドルバー....................39
2) スロットルレバー（900ACEおよび1200 4-TEC以外のすべて）.....39
3) ブレーキレバー....................40
4) パーキングブレーキレバー....................40
5) エンジンカットオフスイッチ....................41
6) 緊急エンジン停止スイッチ....................42
7) 多機能スイッチ....................42
8) ギヤシフトレバー....................44
9) 調整式ミラー....................44
10) 車載工具....................44
11) フロントおよびリアバンパー 45
12) ゲージ....................45
13) ゲージについて（デジタル表示とアナログ表示） 57

14) バックレスト（該当する場合） 61
15) 同乗者シート（1+1） 61
16) 同乗者用グリップ（該当する場合） 62
17) マウンテンストラップ 63
18) ストレージコンパートメント 63
19) リアラック 63
20) 同乗者用グリップヒータースイッチ（該当する場合） 64
21) 12 Vの電源ソケット 64
22) ヒッチ 64
23) チルトステアリング 65
24) ウィンチ（EXPEDITION SEモデル） 65
25) ストレージボックス（EXPEDITION SEモデル） 67
26) アンカーポイント 68
27) ドライブベルトガード 68
28) フード 69
29) 上部サイドパネル 70
30) 下部サイドパネル 70
31) ECO/標準/スポーツモードスイッチ（900 ACEおよび1200 4-TEC） 72

燃料およびオイル 73
燃料に関する要件 73
給油の手順 74
推奨オイル 74
噴射オイルレベル確認 75

慣らし期間 76
慣らし運転中の運転 76

運転モード（900 ACEおよび1200 4-TEC） 77
ECOモード 77
標準モード 77
スポーツモード 77
走行モードのナビゲート 77
ラーニングキーモード 77

操作説明 79
エンジン始動手順 79
緊急始動 79
車両暖機 80
ギヤボックスの操作 81
エンジンの停止 81
けん引物のけん引 81
別のスノーモービルのけん引 82

車両の調整 83
リヤサスペンションの調整(SC-5U) 83
フロントサスペンションの調整 89
サスペンション調整による車両の挙動 91

車両の輸送 92

メンテナンス

最初の点検....................94
メンテナンスのスケジュール....................95
メンテナンス手順....................103
エアインテークサイレンサープレフィルター....................103
エンジンクーラント....................103
噴射用オイル（600 HO E-TECおよび800R E-TEC）....................104
エンジンオイル（1200 4-TEC / 900 ACE）....................104
エンジンオイルフィルター（900 ACE）....................108
オイルフィルター (1200 4-TEC)....................109
エキゾーストシステム....................109
スパークプラグ....................110
エンジンストッパー（600 HO E-TECおよび800R E-TEC）....................110
ブレーキオイル....................111
ギヤボックスオイル....................112
ギヤボックスオイルの交換....................112
ドライブベルト....................113
ドライブプーリー....................115
トラック....................117
サスペンション....................120
スキー....................121
ヒューズ....................121
ライト....................122
車両のお手入れ....................124
使用後のお手入れ....................124
車両の清掃と保護....................124
保管....................125
エンジン保管モード (E-TEC)....................125

技術情報

車両識別表示....................128
車両説明デカール....................128
識別番号....................128
騒音放出と振動値 (すべての国、ただしカナダ/米国を除く)....................130
EC適合宣言書....................131
米国環境保護庁認証エンジン....................132
エンジンの排出ガスに関する情報....................132
無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム（無線周波数D.E.S.S.キー）....................133
仕様....................134

トラブルシューティング

トラブルシューティングガイドライン....................148
モニタリングシステム....................150
パイロットランプ、メッセージおよびブザー信号....................150
故障コードの読み取り方....................154

保証

BRP限定保証（米国およびカナダ）：2019年型SKI-DOO® スノーモービル スノーモービル....156

米国 EPA 排出ガス関連保証....160

BRP国際限定保証：2019年型SKI-DOO® スノーモービル スノーモービル 162

ヨーロッパ地域、独立国家共同体(CIS)地域およびトルク向けBRP限定保証：2019 年型SKI-DOO® スノーモービル スノーモービル....166

顧客情報

個人情報....172

お客様窓口....173

北米....173

ヨーロッパ....173

オセアニア....173

南米....173

アジア....174

住所と所有者の変更....175

安全に関する情報

一般的な注意

一酸化炭素中毒の防止

どのエンジンの排気ガスにも、致命的なガスである一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸うと、頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱を招き、場合によっては死に至ることがあります。

一酸化炭素は、エンジンの排気ガスを見たりその匂いを感じないとしても、存在する恐れがある、無色、無臭、無味のガスです。一酸化炭素は極めて早く致死濃度に達することがあり、急速にその影響を受けて、自身を守ることができなくなります。また、閉じた場所や換気が悪い場所では、一酸化炭素の致死濃度が数時間から数日に長引くことがあります。一酸化炭素中毒の徴候を感じたら、すぐにその場所を離れ新鮮な空気を吸い、医師にご相談ください。

一酸化炭素による重傷や死亡を防ぐには：

- ガレージ、カーポートや納屋などの換気が悪い場所、または部分的に閉じられた場所で車両を絶対に運転しないでください。扇風機を使ったり窓やドアを開けてエンジンの排気ガスを換気しようとしても、一酸化炭素が危険なレベルに早く達する場合があります。
- 窓やドアなどの開口部からエンジンの排気ガスが建物に入る恐れがある場所では、絶対に屋外で車両を運転しないでください。

ガソリンによる火事や危険などの防止

ガソリンは可燃性が極めて高く、爆発性する可能性が高いものです。燃料の蒸気は拡散し、エンジンから遠く離れた火の粉や炎によって引火することもあります。火事や爆発の危険性を減らすために、以下の指示に従ってください：

- 燃料の保管には、許可されたガソリン容器だけを使用してください。
- *給油手順*の指示内容を厳守してください。
- 燃料キャップが正しく取り付けられていない状態では、絶対にエンジンを始動したり運転したりしないでください。

ガソリンは有毒で、傷害や死亡を引き起こす場合があります。

- 絶対に、口でガソリンを吸い上げないでください。
- ガソリンを飲み込んだり、ガソリンが目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。

ガソリンが体にかかった場合は、石鹸と水で洗い、衣服を着替えてください。

高温部分による火傷の防止

エキゾーストシステムとエンジンは、運転中に高温になります。火傷を防止するために、運転中や運転直後に触らないでください。

アクセサリーおよび改造

承認を受けていない改造や、BRPが認定していないアタッチメントや用品の使用は避けてください。これらの改造はBRPによる試験を受けていないため、衝突事故や人身事故の危険性を高め、車両が違法になる場合があります。

車両に使用できるアクセサリーについては、正規 Ski-Doo ディーラーにご相談ください。

安全上の特別な警告

以下の指示に従わない場合、**重傷または死亡事故**につながる恐れがあります。

- エンジン始動前に、必ず走行前点検を行ってください。
- エンジン始動前に、スロットルメカニズムが支障なく動作するか、アイドリング位置に復帰するか点検してください。
- エンジン始動前に、必ずテザーコードのハトメを衣服に取り付けてください。
- ベルトガードとブレーキディスクガードをしっかり取り付けていない状態で、またはフードやサイドパネルが開いたままもしくは取り外したままの状態で、エンジンを動作させないでください。ドライブベルトを取り付けていない状態でエンジンを動作させないでください。ドライブベルトを取り付けていない状態、またはトラックを上げた状態など、無負荷でエンジンを作動させるのは危険です。
- エンジン始動前に、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- 他の種類の車両を運転した経験があるとしても、初めてスノーモービルを運転する場合は、誰でも初心者です。スノーモービルの安全運転は、視界、速度、天候、環境、交通量、車両の状態およびオペレーターの状態など、数多くの条件に関係します。
- スノーモービルを安全に運転するには、基本的なトレーニングが必要です。注意事項と警告に、特に注意を払って、オペレーターズガイドをお読みください。地元のスノーモービルクラブにご参加ください。趣味での使用や安全のために、同クラブではさまざまな活動やトレールシステムが計画されています。スノーモービルディーラー、友人、スノーモービルクラブの会員から基本的な指示事項を教わってください。または、お住まいの地域で催される安全トレーニングプログラムに参加してください。
- スノーモービルを運転する前に、スノーモービルに貼付されているすべての警告ラベルとオペレーターズガイドを読んで理解し、さらに*安全に関するビデオ*（www.ski-doo.com/safety）をご覧ください。新たなオペレーターが運転の練習をする場合は、少なくとも操作に完全に習熟するまで、スノーモービルを他の車両が入ってこない平坦な場所で運転するようにしてください。お住まいの地域でスノーモービルオペレーターのトレーニングコースが提供されている場合は、その方を参加させてください。
- 当社のスノーモービルの性能は、今まで運転した他のスノーモービルよりもはるかに勝っている場合があります。このため、初心者や経験の浅いオペレーターによる使用は推奨していません。
- スノーモービルは多くの地域で、さまざまな降雪条件の下で使用されます。すべてのモデルが似た状況で同じ性能を発揮するわけではありません。お客様の特定のニーズや用途のためにスノーモービルモデルを選択するときは、必ずスノーモービルディーラーに相談してください。
- スノーモービルが、オペレーター、同乗者もしくはスノーモービルの能力を超える、または指定されている用途とは異なる危険な条件で使用される場合、オペレーター、同乗者またはその場に居合わせた人が人身事故や死亡事故に巻き込まれる恐れがあります。
- BRPは、オペレーターが16才以上であることを推奨しています。
- オペレーターの経験に関わらず、スノーモービルの操作特性をオペレーターに伝えることは非常に重要です。スキースタンス、スキータイプ、サスペンションタイプ、トラック幅、全幅およびタイプなど、スノーモービルの構成は、モデルごとに異なっています。スノーモービルの操作性は、上記の特性から大きな影響を受けます。
- 初心者のオペレーターは、遠方に出かける前に、平坦な場所で低速走行を行い、スノーモービルに慣れるようにしてください。
- お住まいの地域の法律を確認してください。国、県および市町村によっては、スノーモービルの安全な使用法や運転に関する法律や規制が施行されている場合があります。これらの法律や規制を知り、遵守することは、スノーモービルオペレーターとしてのお客様の責任です。法律を遵守すれば、スノーモービリングがすべての人にとって安全になります。所有車両に関する物的損害や保険法にご注意ください。

- スピードの出し過ぎは命に関わります。多くの場合、予期しない事態に直ちに反応することができません。必ずトレール、天候、ご自身の能力に適した速度で走行してください。お住まいの地域の規則を確認してください。制限速度が定められており、遵守しなければならない場合があります。
- トレールでは、必ず右側通行を遵守してください。
- 必ず他のスノーモービルやその場に居合わせた人たちから安全な距離を取ってください。
- 販売促進用の写真やビデオで見られる、プロライダーが行う危険な走行は、理想的なまたは管理された条件下で行われていることを忘れないでください。そうした走行が自分の運転レベルを超えている場合は、絶対に危険な走行にまねをしないでください。
- 薬物やアルコールを摂取した場合は、絶対にこの車両を使用しないでください。反応時間が低下し、判断を鈍らせます。
- スノーモービルは、街路、公道、高速道路を走行するようには設計されていません。
- 道路を走行しないでください。道路を走行せざるを得ず、またそれが許されている場合は、低速で走行してください。スノーモービルは、舗装されている道路上で旋回をするように設計されていません。道路を横断する場合は、一旦完全に停止してから、両方向をよく確認し、90°に横断します。止まっている車両に注意してください。
- 夜間のスノーモービル走行は楽しいものですが、視界が狭くなるため、より注意が必要です。よく知らない場所は避け、必ずライトを点灯させてください。必ず懐中電灯と予備の電球を携帯してください。
- 元々装備されているものをスノーモービルから絶対に取り外さないでください。各車両には、多くのものが安全装備品として組み込まれています。そのような装備品には、さまざまなガードやコンソール、反射材、警告ラベルなどがあります。
- 自然はすばらしいものですが、運転中に注意を怠らないでください。真に冬の景色を楽しみたい場合は、スノーモービルをトレールの端に止めて、他の人の危険にならないようにしてください。
- フェンスが設置されている場合、そこにはオペレーターとスノーモービルの両方にとって極めて深刻な脅威が存在しています。電柱や支柱から十分距離を取って停車させてください。
- 隠れていて、遠くから見えないワイヤーは、深刻な事故の原因になることがあります。
- 必ず認可されている安全ヘルメット、ゴーグルおよびフェイスシールドを着用してください。これは同乗者にも言えることです。
- 雪崩などの自然災害、人災、障害物など、トレールから外れて走行することに関連する特有の危険性に注意してください。
- 別のスノーモービルの直後を走行しないでください。何らかの理由で前を走行するスノーモービルが減速した場合、あなたが注意を怠っていると、そのオペレーターと同乗者が負傷する恐れがあります。前を走るスノーモービルからは、安全な停止距離を保ってください。雪面の状態によっては、想定よりも幾分長い停止距離が必要になることがあります。安全運転に徹し、控えめな運転を心がけてください。
- ご自分のスノーモービルだけで出かけることも危険です。燃料がなくなる、事故に遭う、あるいはスノーモービルが損傷するという危険があります。スノーモービルが30分で行けるところまで歩いて行くには、1日を要することを忘れないでください。バディシステム（事故などを防ぐために2人1組で助け合って行動すること）を活用してください。必ず友人かスノーモービルクラブの会員と一緒に走行してください。そのような場合であっても、ご自身が行く場所と、戻ってくるおおよその時刻を誰かに知らせておいてください。

- 時として草原には水が溜まったり、冬に凍結する低地があります。この場合の氷は、大抵光を反射します。このような氷の上で旋回したりブレーキをかけたりすると、スノーモービルはスピンして制御を失います。氷の上では、絶対にブレーキをかけたり、高速走行や旋回をしないでください。そのような場所を走行する羽目に陥った場合は、慎重にスロットルを放して速度を下げます。
- 絶対にスノーモービルでジャンプしないでください。
- 複数台のグループの中でスノーモービルを運転しているときは、スロットルを急にふかさないでください。後続のスノーモービルの通り道に雪や氷が飛び散ります。さらに、フルスロットルにすると、スノーモービルが氷の表面を掘ってしまい、後続車は荒れた氷面を走行することになります。
- グループで乗ることは楽しく愉快なことですが、グループ内で目立とうとしたり他の人を追い抜いたりしないでください。経験の浅いオペレーターが、同じことをしようとして失敗することがあります。他の人たちと一緒に走行する場合は、他の人たちの経験に合わせてご自分の能力を抑えてください。
- 緊急時には、緊急エンジン停止スイッチを押してから、ブレーキをかけます。
- 換気されていない場所で、または車両に人が付いていない状態で、エンジンを動作させないでください。
- エンジン始動前に、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- バッテリーがスノーモービルに搭載されている状態で、バッテリーの充電やブーストを行わないでください。
- E-TECエンジン：絶対に燃料システムや電気システムのメンテナンスや修理をしようとしないでください。上記システムのメンテナンスや修理は、正規 Ski-Doo ディーラーが実施する必要があります。
- スノーモービルの背後に障害物がなく、人がいないことを確認してから、後退してください。
- 車両が動作していないときは、不測のエンジン始動を防止し、子供や他の人が断りなく使用することを避け、盗難を防ぐために、必ずテザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き抜いておいてください。
- 旋回しているトラックの背後や近くに絶対に立たないでください。飛ばされた異物によって重傷を負う恐れがあります。付着した雪や氷を除去するには、エンジンを停止し、車両を横に傾け、ツールキットのドライバーを使用してください。
- この車両モデルのトラックにはスタッドを取り付けることができます。ただし、BRPが認定したタイプのスタッドだけを Ski-Doo スノーモービルに使用してください。トラックの厚さが他のトラックより薄いため、従来型のスタッドを絶対に使用しないでください。スタッドがトラックを引き裂いたり、スタッドが突き出ることがあります。
- スノーモービルに同乗者シートと同乗者用グリップまたは保持ストラップが装備されていない場合は、絶対に同乗者としてスノーモービルに乗らないでください。決められた同乗者シートだけに座ってください。
- 必ず認定ヘルメットを着用し、服装は、オペレーター向けに推奨される、本ガイドに記載されているのと同じ服装ガイドラインに準拠してください。
- 安定したスタンスを取り、両足をフットレストのフットボード上に置いてしっかりしたグリップを得て、グリップをしっかり握れることを確認します。
- 走行中に不安または危機を感じた場合は、直ちにオペレーターに減速するか停止するよう知らせてください。

アクティブテクノロジー（iTC）（900 ACEおよび1200 4-TEC）

はじめに

注：このセクションに記述されている機能や特徴は、全てのモデルに該当するとは限らず、一部のものは、オプションのみで提供されています。

スロットルは電子式であり、システムが設定されたパラメータ以内で正しく動作していることを確保するための電子モジュールとコマンド信号を通信します。

オペレーターは、スノーモービルおよびそのスノーモービルのシステム、操作系統、性能そして限界を理解するのに、オペレーターズガイドを詳しく読むことは非常に重要です。

iTC （インテリジェントスロットルコントロール）

このシステムは、ECM（エンジンコントロールモジュール）への指令信号を提供する電子的スロットルコントロール(ETC)を使用しています。このシステムでは、従来型のスロットルケーブルは不要です。

iTCには、以下のような動作モードがあります：

- ECOモード
- 標準モード
- スポーツモード

ECOモード

ECOモード(燃費重視モード)が選択されている場合、車両のトルクとスピードは、燃料消費を抑えるのに必要な適切巡行スピードを維持するために制限されます。

詳細な指示は、*動作モード*のサブセクションを参照してください。

標準モード

標準モードでは、完全停止状態からの加速時と、低速走行時において、加速性能が制限しております。

スポーツモード

スポーツモードでは、エンジンの動作範囲を通じて最大のエンジン出力を使用できます。

詳細な指示は、*動作モード*のサブセクションを参照してください。

ラーニングキーモード

Ski-Doo™ラーニングキーはスノーモービルのトルクとスピードを制限し、初めてまたは経験の浅いオペレーターが自身と技術を取得できるように扱いやすくします。

制限
付属のラーニングキーを使用している場合でも初心者が扱える限界を超えることもあります。

詳細は、*動作モード*のサブセクションを参照してください。

乗車

各オペレーターには、自分以外の、レクリエーションを楽しむ人やその場に居合わせた人の安全を確保する責任があります。

オペレーターには、車両を正しく運転する責任、そして同乗したり運転したりする人に訓練を受けさせる責任があります。スノーモービルと他の車両とでは、操作性と性能に顕著な違いがあります。

スノーモービルの運転は比較的単純ですが、他の車両や機械装置と同じく、オペレーターや同乗者が無謀、軽率または不注意な行動を取れば、危険な状態になる恐れがあります。スノーモービルの年次安全点検を受けることをお勧めします。詳細については、正規Ski-Dooディーラーにご相談ください。要求事項ではありませんが、正規Ski-Dooディーラーでスノーモービルのシーズン前準備を行うことを推奨します。正規Ski-Dooディーラーを訪ねると、ご自分のスノーモービルが安全キャンペーンの対象になっているかどうかを確認できます。お客様が安全関連キャンペーンの開催をご存じの場合は、キャンペーン終了前に正規Ski-Dooディーラーを訪ねることをお勧めします。

必要とするアクセサリーが入手できるかどうかについては、正規Ski-Dooディーラーにご相談ください。

トレールを走行する前に、運転を習熟し、より難しい状況に安全に対処できると感じられるまで、他の車両が入ってこない平坦な場所でスノーモービルを運転してください。ゆとりのある安全な走行を心がけてください。

走行前点検

⚠ 警告

車両の走行に先立って走行前点検を行うことは、非常に重要です。重要な操作装置、安全機能、機械コンポーネントが正常に動作することを必ず確認してください。

エンジン始動前

1. ライト、シート、フットレスト、コントローラー類、計器類など、車体から雪氷を取り除きます。
2. エアサイレンサープレフィルターに雪が付着していないことを確認します。
3. スキーとステアリングが支障なく動くことを確認します。ハンドルバーとスキーが対応する動作をするか確認します。
4. 燃料とオイルのレベルを確認します。必要に応じて補充し、漏れがある場合は、最寄りの正規Ski-Dooディーラー、修理工場、または担当者に連絡し、メンテナンス、修理、または交換を依頼してください。保証請求については、本ガイドに記載されている*米国環境保護庁排ガス関連保証*を参照してください。
5. すべてのストレージコンパートメントが正しく固定されていなければなりません。また、重量物や壊れやすい物を保管しないでください。フードとサイドパネルのラッチも正しく固定してください。
6. スロットルコントロールレバーを数回作動させ、簡単かつスムーズに動くことを確認します。レバーを放したときは、レバーがアイドリング位置に復帰しなければなりません。
7. ブレーキレバーを作動させ、ブレーキコントロールレバーがハンドルバーグリップに接触する前に、ブレーキが完全にかかることを確認します。レバーを放したときは、レバーが完全に復帰しなければなりません。
8. パーキングブレーキをかけ、ブレーキが正常に動作しているか確認します。パーキングブレーキをかけたままにします。
9. ドライブベルトの状態や高さを点検します。*メンテナンス手順*の*ドライブベルト*を参照してください。

エンジン始動後

正しいエンジン始動手順については、*使用上の諸注意*のサブセクションの*エンジン始動手順*を参照してください。

1. ヘッドライトのハイビームとロービーム、テールランプ、ストップランプおよびパイロットランプの点灯を確認します。

注：ライトを点検するために、テザーコードを衣服から外さなければならな

い場合もあります。そのような場合には、スノーモービルのコントローラー類を操作できる状態に戻ったら速やかにコードを取り付けてください。

2. (テザーコードキャップを引っ張って) エンジンカットオフスイッチの動作を確認し、また緊急エンジン停止スイッチの動作を確認します。
3. パーキングブレーキを解除します。
4. *暖機*セクションを参照し、指示事項に従ってください。

走行前チェックリスト

項目	作業内容	✓
シート、フットレスト、ライト、エアフィルター、コントローラー類および計器類を含む車体	状態を点検し、雪や氷を取り除きます。	
スキーとステアリング	自由に動き、正常に動作するか確認します。	
燃料と噴射オイル (該当する場合)	適量で漏れがないことを確認します。	
ブレーキオイル	適量で漏れがないことを確認します。	
クーラント	適量で漏れがないことを確認します。	
ストレージコンパートメント	正しく固定されていること、および重量物や壊れやすい物がないことを確認します。	
スロットルレバー	正常に動作するか確認します。	
トラック	状態を点検し、雪や氷を取り除きます。	
ブレーキレバー	正常に動作するか確認します。	
パーキングブレーキ、ブレーキ	正常に動作するか確認します。	
緊急エンジン停止スイッチおよびエンジンカットオフスイッチ (テザーコードキャップ)	正常に動作するか確認します。テザーコードはオペレーターの衣服のハトメに留めておいてください。	
ライト	正常に動作するか確認します。	
スキーとランナー	正常に動作するか確認します。	
スライダーシュー	正常に動作するか確認します。	
ドライブベルトの点検	亀裂、擦り切れまたは異常な摩耗がないか、適切な高さであるか確認します。	

乗り方

走行時の衣類・装備類

適切なスノーモービルウェアを着用してください。ウェアは心地よく、大きさに余裕がなければなりません。必ず天気予報を確認してから出かけてください。予想される最も寒い天候に適した衣服を着用してください。肌の上に防寒用下着を着用すると、断熱性が高くなります。

安全と快適さを得るために認定されたヘルメットを常に着用してください。ニット帽、目出し帽、フェイスマスクを必ず携帯または着用してください。ヘルメットに取り付けることができるゴーグルやフェイスシールドは不可欠です。

手には十分な断熱効果のあるスノーモービルグローブまたはミットを着用して保護し、親指と他の指がコントローラー類を操作できるようにしておいてください。

着脱可能なフェルトライナーが付いたナイロン製または皮革製のゴム底ブーツが、スノーモービル走行には最適です。

スノーモービルで走行する場合は、可能な限り衣服を湿らせないようにしてください。屋内に入ったとき、スノーモービルスーツとブーツを脱ぎ、それらが適度に乾燥していることを確認します。

可動部に巻き込まれる可能性があるため、長いスカーフや体にぴったりと沿っていない服は着ないでください。

カラーレンズ付きのゴーグルを携帯してください。

携帯物

緊急時に自分や他の人を助けられるように、スノーモービルライダーは、少なくとも以下の基本部品および工具を必ず携行するべきです。

ファーストエイドキット	付属の車載工具
携帯電話	ナイフ
スペアスパークプラグ	懐中電灯
摩擦テープ	トレールマップ
予備ドライブベルト	軽食

ライダーの姿勢 (前進走行)

オペレーターのライディング姿勢とバランスは、スノーモービルを自分の望む方向に行かせるための2つの基本原則です。丘の側面を回る場合、オペレーターと同乗者は望む方向に旋回するように、体重をそちらに移動させる構えができている必要があります。オペレーターと同乗者は、この操作を行う際に、絶対に足を車両の外に出さないでください。経験を積めば、どのくらいの速度でどの程度傾ければどの程度の旋回をするか、また適切なバランスを維持するために斜面に向かって体をどの程度傾ければいいのかが分かるようになります

一般的に言って、最良のバランスとコントロールを得るためのライディング姿勢は、着座していることです。ただし、腰を浮かせる、膝を付く、または立ち上がることも特定の状況下では必要です。

⚠ 警告

ご自分の能力を超える運転をしないでください。

着座

スノーモービルで、よく知っているなだらかな土地を走行しているとき、ランニングボードに足を置き、シートに座って背中をわずかに反らせるのが理想的な姿勢です。膝と腰はフレキシブルにしておいて、衝撃を吸収します。

中腰の姿勢
体をシートから離し、脚で体を支える中腰の姿勢は、一種のスクワットの姿勢です。荒れた地面を走行するとき、脚が衝撃を吸収します。急停止しないでください。

膝付きの姿勢
この姿勢では、一方の脚をランニングボードにしっかり付き、他方の脚の膝をシートに載せます。急停止しないでください。

立ち姿勢
両足をランニングボードに置きます。膝を柔らかくして、隆起した雪面からの衝撃を吸収します。こうすると、辺りがよく見え、状況の変化につれて体重を移動させることができる効果的な姿勢です。急停止しないでください。

ライダーの姿勢 (後退走行)

スノーモービルで後退する場合、当社はスノーモービルに着座していることを推奨します。

立ち上がらないでください。後退しているときに、オペレーターの体重が前方に移動してスロットルレバーにかかると、不意に加速する恐れがあります。

⚠ 警告

スノーモービルが後退しているときに予期せず加速すると、制御を失う恐れがあります。

同乗者を乗せての運転

スノーモービルには、オペレーター専用のもの、同乗者一人を乗せることができるもの、そして同乗者二人を乗せることができるものがあります。車両上の表示を参照して、スノーモービルに同乗者を乗せることができるかどうか、乗せることができる場合はその定員を確認してください。必ず車両上の表示を守ってください。過積載は危険です。スノーボービルは過積載に対応していません。

同乗できる場合であっても、同乗しようとする人が物理的にスノーモービルに適した状態であることを確認してください。

⚠ 警告

同乗者は、乗車中に足をフットレストにしっかり下ろし、手でグリップまたはシートストラップを掴むことができなければなりません。上記の身体基準は、同乗者の身体の安定を確保し、放り出される危険を低減するために重要です。

二人の同乗者を乗せることが可能なスノーモービルの場合、大人と子供の同乗者がいる場合、子供をオペレーターと大人の同乗者の間に座らせることを勧めます。こうすれば、大人はリアシートに乗って、子供とアイコンタクトを取ることができ、必要に応じて子供を抱きかかえることができます。さらに、中央に乗れば、子供は風や寒さから最高によく保護されています。

オペレーターには同乗者の安全を確保する責任があります。同乗者にスノーモービル走行に関する情報を提供してください。

⚠ 警告

- **同乗者は決められた同乗者シートだけに座ってください。ハンドルバーとオペレーターの間に誰も座らせないでください。**
- **同乗者シートはストラップまたはグリップを装備し、SSCC規格に適合していなければなりません。**
- **同乗者とオペレーターは、必ず承認されたヘルメットと、スノーモービル走行に適した防寒具を着用してください。肌が露出しないようにしてください。**
- **走行中に同乗者が不安または危機を感じた場合は、直ちにオペレーターに減速するか停止するよう知らせてください。**

同乗者が乗っている場合、1人で走行する時よりも運転が難しくなります。オペレーターは次の操作を知っているという有利さがあり、それに従って身構えることができます。また、オペレーターはハンドルバーを握っているため、体が支えられているという有利さもあります。これに対して、同乗者はオペレーターの慎重で安全な運転以外に頼るものがありません。同乗者の「乗車姿勢」には限度があるうえ、オペレーターはときどき、同乗者よりも自分の前方にあるトレールに注意を向けなければなりません。そのため、同乗者がいる場合は滑らかな発進と停止が求められ、オペレーターは速度を下げる必要があります。また、オペレーターは、斜面、雪面の出っ張り、木の枝などについて、同乗者に警告する必要があります。予測できない出っ張りがあると、同乗者が放り出されてしまう恐れがあります。旋回するときは同乗者に対し、車両がひっくり返らない程度にあなたと一緒に体を傾けるように伝えてください。十分注意してより低速で走行し、同乗者を頻繁に確認してください。

⚠ 警告

同乗者を乗せて走行するときは：

- 制動能力と操舵制御能力が低下します。速度を落として、車体操作のためのスペースを広く取ってください。
- 重量に合わせてサスペンションを調整してください。

サスペンションの調整法の詳細については、*スノーモービルの調整*サブセクションを参照してください。

幼い同乗者には特に注意を払い、さらに速度を落として走行してください。子供がしっかりつかまっていて、適切な位置に着座し、足をランニングボードに付けていることを頻繁に確認します。

さまざまな地面／走行

整備されたトレール

整備されているトレールでは、着座しているのが最も好ましいライディング姿勢です。高速で走行しないでください。とりわけ、トレールの右側を走行することに留意してください。予期しない出来事が起こりうることを覚悟しておいてください。すべてのトレールの標識を遵守しましょう。トレールの端から端へジグザグに走行しないでください。

整備されていないトレール

新雪が降っていないのであれば、雪面は「洗濯板」のような状態であること、および雪の吹きだまりが存在することを予期してください。そのような雪原を過度の速度で走行すると、体に害があります。速度を下げてください。ハンドルバーを握り、中腰の姿勢を取ります。体を脚で支え、上体をかがませて、上下動を吸収します。「洗濯板」トレールが長距離の場合には、シート上に一方の膝を付く姿勢を取ることもよいでしょう。こうすれば、ある程度快適になりますし、同時に体をゆるめて、車両の制御をすることができます。隠れている岩や、特に最近の

降雪で部分的に隠れている切り株に注意しましょう。

深雪

深い「粉」雪では、車両が「埋まる」ことがあります。こうなった場合、可能な限り大きな円弧を描いて旋回し、固い雪面を探します。(誰にでも起こりうることですが、)「埋まって」しまった場合、トラックをスピンさせないでください。車両がさらに深く潜ってしまいます。そうしないで、エンジンを止め、車両から降りて、車両の後部を新雪のあるところに移動させます。次に、車両の前方にある、はっきり見える通り道を踏み固めます。大抵数フィートで十分です。エンジンを再始動してください。立ち姿勢を取り、むらなくゆっくりスロットルを引き絞りながら、車両をそっと揺すります。車両のフロントエンドが沈んでいるか、リアエンドが沈んでいるかを見て、足をランニングボードの沈んでいない側の端に置きます。トラックを支えようとしてトラックの下に異物を置くのは絶対に止めてください。エンジンが動作している場合、スノーモービルの前や後ろに誰もいないようにしてください。トラックから離れていてください。回転しているトラックに接触すると、負傷する恐れがあります。

凍結した水

凍結した湖や河を走行するのは命取りになりかねません。水路を走行しないでください。不慣れな土地にいる場合、地元の監督官庁または住人に、氷の状態、入り江、河口、湧き水、速い水流またはその他の危険について尋ねてください。スノーモービルを、薄すぎてあなたや車両を支えられない氷の上で走らせないでください。氷上や凍結した地面の上でスノーモービルを走行させる場合、何らかの予防措置を執らないと非常に危険です。まさに氷の特性そのものが、スノーモービルやあらゆる車両をうまく制御することを妨害します。氷上では、発車、旋回または停止のためのトラクションは、雪上よりずっと少ないです。このため、これらの距離は何倍も必要です。操舵は最小限にすべきであり、制御不能なスピンは常に存在する危険です。氷上では、注意深く低速で走行してください。停止または旋回する場合は、そのための空間を十分に取ってください。このことは、特に夜間に当てはまります。

固い圧雪

超圧雪を甘く見ないでください。スキーとトラックの両方が十分なトラクションを持たず、切り抜けるのが困難な場合があります。最良のアドバイスは、速度を落とし、急加速、急旋回、急ブレーキを避けることです。

上り斜面

スノーモービル走行で出会う丘には2つの種類があります。木、崖、その他の障害物がほとんどない開かれた丘と、真っ直ぐに上ることしかできない丘です。開かれた丘のアプローチの仕方は、丘の側面を走るか、ジグザグに走って上ることです。角度を付けたアプローチです。膝付き姿勢を取ります。体重を常に上り斜面側にかけてください。安全な速度を維持して、速度を変動させないでください。1つの方向へできる限り遠くまで行ってから、方向を転換します。上り斜面が車両の反対側に来るようにし、膝を付くのも他方の脚にします。

真っ直ぐに登坂するのには問題があります。立ち姿勢を選択し、登坂を始める前に加速してから、スロットルを緩めてトラックが滑らないようにします。

いずれの場合でも、車速は傾斜を上るのに必要な速度にします。頂上に着いたら必ず速度を緩めます。先に進めなくなっても、トラックをスピンさせないでください。エンジンを停止させ、スキーを雪から引っ張り出して斜面の下に向け、スノーモービルの後部を上に向けて、エンジンを再始動し、スロットルを一定の強さでゆっくり引き絞って、スノーモービルを低速で発車させます。まず転倒しない姿勢を取ってから、斜面を降ります。

下り斜面

下り斜面を走行する場合は、常に車両を完全に制御することが必要です。急斜面では、重心を低くして、両手でハンドルレバーを握ります。スロットルをわずかに引き絞った状態を維持して、エンジンが動作している状態で車両が斜面を下り降りるようにします。速度が安全速度を超えた場合、ブレーキをかけて速度を緩めますが、その場合ブレーキを軽く繰り返しかけます。

ブレーキを強く掛けないでください。トラックがロックします。

丘の側面

斜面を横断する場合、または斜面を横断しながら上ったり下りたりする場合は、ある手順に従います。すべてのライダーは、車両を安定させるために、上り斜面の方に体を傾けます。好ましい運転姿勢は膝付き姿勢です。下り斜面側の脚をシートに載せ、上り斜面側の脚をランニングボードに載せます。あるいは、立ち姿勢を取ります。必要に応じて素早く体重を移動できるようにしておいてください。斜面の横断や急斜面の走行は、初心者や経験の浅い人には推奨しません。

雪崩の危険

山岳地帯を走行している場合、雪崩の危険に留意してください。雪崩は規模や形態においてさまざまであり、一般的に地形が険しい場合や、積雪が不安定な場合に発生します。

新雪、動物、人間、風、スノーモービルは、いずれも雪崩を発生させる可能性があります。雪崩が発生しうる状況では、急斜面をハイマーキングまたは横断しないでください。不安定な積雪状態では、走行はゆるい斜面に限定されます。風が作った雪庇を避けてください。不安定な状況に近づかないのが、安全な山岳走行のコツです。多分最も重要なことは、山岳地帯にいるときは、日々の状況と危険を承知しておくことです。スノーモービル走行に出かける前に、毎日現地の雪崩予報と脅威を確認し、気象予報士のアドバイスに留意してください。

山岳地帯で走行する場合は、除雪シャベル、プローブおよび雪崩ビーコンを常に携行してください。当社は、すべてのマウンテンライダーは、地元の雪崩安全トレーニングコースを受講して、積雪状態をよく知るようにし、自分のスノーモービルを正しく使用する方法を 学ぶことを推奨します。

下記は重要な情報を提供するウェブサイトです。

- 米国：**www.avalanche.org**
- ヨーロッパ：**www.avalanches.org**
- カナダ：**www.avalanche.ca**

軟氷

軟氷は常に避けてください。湖や川を横断し始める前に、必ず軟氷がないか確認してください。トラックの行跡に黒い斑点が現れたら、即座に氷から離れてください。氷と水は後方に投げられて、後続車の通り道に落ちます。車両を軟氷エリアから抜け出させることは多大な努力が必要であり、時には不可能です。

霧またはホワイトアウト

陸上でも水上でも、霧や、視界を制限する雪が発生することがあります。霧や激しい降雪の中に進入しなければならない場合、ライトを点灯させて低速で進み、意識を集中して危険がないか見張ってください。進む道筋に自信がない場合は、進まないでください。他のスノーモービルから安全な距離を取り、周りがよく見えるようにし、反応時間を稼いでください。

よく知らない地域

知らないエリアに入った場合は、常に非常な注意を払って走行してください。低速で進むようにして、スノーモービル走行を終了せざるを得なくなる可能性があるフェンスやフェンス支柱、道を横切っている小川、岩、不意の窪み、支え線、および数知れないその他の障害物など、潜在的な危険を十分認識できるようにしてください。既存の行跡の上を走行している場合であっても、注意してください。次の曲がり角や丘の頂上の向こうにある物が見える程度の速度で走行しましょう。

陽光

明るい晴天の日には、あなたの視力は著しく低下します。太陽と雪から来る目を眩ませる光は、あなたの視力を低下させ、雨裂と溝、その他の障害物を容易に見分けられなくなります。こうした状況では、常にカラーレンズ付きのゴーグルを着用してください。

見えない障害物

雪の下に隠れている障害物もあります。既成のトレールから外れて走行する場合や、森の中を走行する場合は、速度を下げ、警戒を強めることが必要です。過度に速く走行すると、小さな障害物でさえ極めて危険になることがあります。小さな岩や切り株でさえ、スノーモービルが制御を失い、ライ

ダーが負傷する恐れがあります。既成のトレールに留まっていれば、危険にさらされる可能性が低下します。心を楽にして、速度を落とし、景色を楽しんでください。

隠れたワイヤー

隠れたワイヤーがないか常に注意してください。一時期農地であった可能性がある地域では特に注意が必要です。多くの事故が、スノーモービルが農地のワイヤー、支柱や道路の近くにある支え線、道路閉鎖のために使用されてチェーンやワイヤーに突っ込んで発生してきました。絶対に低速で走行してください。

障害物とジャンプ

吹きだまり、除雪車が作った雪の堆積、下水溝、または識別できない物体を無計画にジャンプするのは危険です。適切な色のレンズまたはフェイスシールドを着用していて、低速で走行していれば、それらを避けることができます。

スノーモービルでのジャンプは危険な状況である可能性があります。着地前に、衝撃を吸収し、着地時に踏ん張る身構えをします。膝を柔らかくして、ショックアブソーバーのように機能させます。

トレールが突然落下して見えなくなった場合、車両の後部に向けて (立って) 姿勢を低くして、スキーを直進位置にして、上に向けます。スロットルを幾分引き絞って、衝撃に対して踏ん張ります。膝を柔らかくして、ショックアブソーバーのように機能させます。

旋回

地面の状態により、スノーモービルを旋回またはコーナリングさせる好ましい方法が2つあります。大部分の雪面では、「身体言語」が旋回の要点です。体を旋回の内側に傾け、体重を内側にある脚にかけて、トラックの下に「バンキング」状態を作り出します。この姿勢を取り、自分の体を可能な限り前方に持っていくと、重量は内側のスキーに移動します。

時として、深雪の中で車両の向きを変える唯一の方法が、スノーモービルを引っ張って旋回させることである場合もあります。力を出しすぎないでください。支援を求めてください。常に、背中ではなく自分の脚を使って持ち上げることを覚えていてください。

道路の横断

時に、道路脇の溝や雪の堆積を超えて、道路にアプローチすることになることがあります。容易に登れると分かる場所を選んでください。立ち姿勢で、雪の堆積の頂上に到達するのにちょうど必要な速度で前進します。堆積の最上部で完全に停止し、通行する自動車がなくなるまで待ちます。道路に降りるタイミングを判断します。道路は90°°で横断します。道路の反対側にも雪の堆積があった場合、車両の後部近くに足を置きます。スノーモービルは剥き出しの舗道上で動作するようにはできていません。そのような路面で操舵することはより困難であることを思い出してください。

線路の横断

線路に乗らないでください。それは違法です。線路と線路用地は私有財産です。スノーモービルは列車に勝てません。線路を横断する前に、目を凝らし、耳を澄ましてください。

夜間走行

一定の時間の自然光と人工光の量は、あなたの見る能力とみられる能力に影響を与えます。夜間のスノーモービル走行は楽しいものです。自分の可視性の低下を認めたとしても、それは比類のない体験です。出発する前に、ライトが汚れておらず、正しく点灯することを確認してください。前方に未知のまたは危険な物体を見つけたときに間に合うように停止できる速度で走行してください。既成のトレールに留まり、不慣れな地域には絶対に進入しないでください。川と湖は避けてください。支え線、有刺鉄線のフェンス、

ケーブルが張ってある道路入り口、および木の枝などのその他の物体は、夜間見つけるのが困難です。単独では走行しないでください。必ず懐中電灯を携帯してください。住宅地に進入しないでください。他の人たちの安眠する権利を尊重してください。

グループでの走行

発車する前に、グループを率いる「トレールボス」と、グループの最後尾に付く人を指名してください。グループのすべてのメンバーが提案されているルートと目的地を知っていることを確認します。すべての必要なツールと装備を携帯していることと、ツーリングを完了させるのに十分な燃料を搭載していることを確認します。トレールボス、さらに言えば、他のどのスノーモービルも追い越してはいけません。全面的に手信号を使用して、危険の存在と方向転換の意図を伝えます。必要な場合は、いつでも他の人を支援してください。

各スノーモービル間で安全な距離を保つことは常に重要です。常に安全な間隔を維持し、十分な停止距離を保ちます。先行車にぴったりくっついて走行しないでください。先行車の位置を知っておいてください。

シグナル

停止したい場合は、手を真っ直ぐ頭の上に上げます。左折する場合は、左手を左方向に真っ直ぐ伸ばします。右折する場合は、左腕を伸ばして、左手を垂直に挙げ、肘が直角になるようにします。すべてのスノーモービルオペレーターは、信号を後続する他のスノーモービルオペレーターにリレーします。

トレール停止

可能であれば、停止する場合は常にトレールの端に止めます。こうすれば、トレールを使用する他のスノーモービルオペレーターへの危険が減ります。

トレールと標識

トレール標識は、トレール内にいるスノーモービルを制御、指示または規制するのに使用されます。スノーモービル走行する地域で使用されているすべての標識を熟知してください。

環境

野生生物は、あなたがスノーモービル走行する日を祝福します。スノーモービルの行跡は、動物が一つの地域から別の地域に移動するができる固い地面を提供します。野生生物を追いかけたり、困らせたりして、この特権を台無しにしないでください。動物は、疲労し、消耗すれば死ぬこともあります。野生生物の保護や餌付けに使用されていると公表されているエリアには立ち入らないでください。

運良く野生生物に出会ったら、スノーモービルを止めて、静かに観察しましょう。

当社が支持するガイドラインは、あなたのスノーモービル走行の楽しみを制限するためのものではなく、スノーモービル走行においてだけ経験できるすばらしい自由を保護するためのものです！これらのガイドラインは、スノーモービル使用者の健康と喜びを維持し、自分が知っていて享受しているお気に入りのウインタースポーツを、他の人たちに紹介することができるようにします。それゆえ、次回、さわやかで空気が澄んでいて晴れた冬の日にトレールを走行するとき、自分がこのスポーツの未来への道を開いていることを思い出してください。私たちを正しい道に導いてください！BRPの全社員は、あなたがご自分の任務を果たしていることに感謝しています。

スノーモービル走行より楽しいものはありません。荒野を横断するスノーモービルトレールはわくわくする健康なウインタースポーツです。ところが、レクリエーションパークを使用する人の数が増えるにつれて、環境に害を与える可能性も増大しました。土地、施設および資源の乱用は、不可避に私有地と公有地両方の制限と閉鎖につながります。

実際には、スノーモービルスポーツに対する最大の脅威は、私たちを取り囲むすべてなのです。このため、私たちは1つの論理的な選択をせざるを得ないのです。スノーモービルで走行する場合、私たちは常に責任を持って走行しなければなりません。

大多数の人は法律を守り、環境を大切にします。私たちのそれぞれは、老若を問わず、スノーモービルの初心者たちのための1つの実例となる必要があるのです。

私たちのレクリエーションエリアに控えめに立ち入ることがすべての人の最良の関心事です。と言うのも、長期的に見れば、スノーモービリングを保護するために、環境を保全しなければならないからです。

BRPは、この問題の重要性と、保全地域で自分たちの役割を全うし、スノーモービル走行の享受を可能にするというスノーモービル使用者のニーズを認識した上で、スノーモービル使用者たちのための「控えめな雪原走行こそ賢いそり遊び」キャンペーンを行っているのです。

「控えめな雪原走行」は、私たちのトラックの行跡以上のことを意味します。この言葉は、率先し、行動を起こす関心、尊重および意志を述べたものです。それは、一般的に環境に、さらにはそれに対する適切なケアとメンテナンス、野生生物、ならびにアウトドアを楽しむすべてのマニアおよび一般大衆に適用されます。この主題に関して、当社は、環境を大切にすることは、スノーモービル製造業の未来にとってだけでなく、未来の世代にとって重大であることを、すべてのスノーモービル愛好者に覚えておいていただきたいと思っています。

「控えめな雪原走行」とは、スノーモービリングの喜びに対するあなたの欲求を抑えるべきだと言っているのではまったくありません！それは単に敬意を持って自然に踏み入ることを意味しているのです！

「控えめな雪原走行」の根本的な目標は、スノーモービルで走行する場所と仕方に敬意を払うという目標なのです。以下の原則を遵守すれば、あなたは控えめな雪原走行をする人です。

知識があること。地図、規制、および林野庁や他の公有地所轄官庁が提供するその他の情報を入手してください。規則を学び、規則に従いましょう。このことは制限速度にも当てはまります！

幼木、低木、草の上を走行するのは避け、木を切らないでください。平地や、トレールライディングの人気の高い土地では、許可されているところだけを走行することが重要です。環境を保護することと、自分の身の安全を図ることはリンクしているのです。

野生動物を大切にしましょう。子供を育てている動物や、食料にありつけていない動物には特に注意しましょう。ストレスは蓄えられている少ないエネルギーを弱めてしまいます。動物だけが歩き回ることになっている地域でスノーモービル走行をしないでください！

閉鎖されているゲートや規制標識に従ってください。ゴミを捨てないでください。

自然保護区域に立ち入らないでください。そのような区域はすべての車両が進入禁止です。境界がどこにあるか知っておいてください。

私有地を横切る場合は許可を得てください。土地所有者の権利や他の人々のプライバシーを尊重してください。スノーモービル技術は騒音を大幅に低下させましたが、静寂が「日常の当然のことである」場所では、エンジンの回転を上げないでください。

スノーモービル使用者は、スノーモービリングの歴史を通して、人々が安全かつ責任を持ってスノーモービル走行できる地域にアクセスするために重ねた努力を極めてよく知っています。この努力は今日も、かつて以上に継続されています。

私たちがスノーモービル走行する地域を大切にすることは、それがどの地域であっても、その地域での将来の楽しみを確保する唯一の方法です。これこそが、当社があなたが「控えめな雪原走行」こそ賢いそり遊びであることに同意すると思う主な理由です。さらにまだあります。

冬とそのすべての自然界の雄大な驚異を見る機会を享受することは、スノーモービル使用者が大事にする体験です。控えめな雪原走行はこの機会を保存し、私たちが他の人たちに冬の美しさとスノーモービル走行の比類のないスリルを体験させるのを可能にします！控えめな雪原走行は、スノーモービリングの成長に役立ちます！

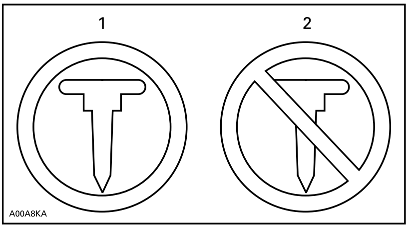
控えめな雪原走行は、賢いスノーモービル使用者であることの証です。あなたがスノーモービルを操れることを示すために、誰も入っていない森林に大きな行跡を残したり、傾斜走行する必要はありません。高性能な Ski-Doo、スポーティなMXZスノーモービル、または他のどの製品やモデルであっても、自分が何をしているのかを理解してください。雪の飛ばし方を知っていることを示し、軽いタッチで行跡を残しましょう！

トラクション強化製品

注：このセクションは、BRPが特製スタッドの取り付けを許可した、工場取り付けトラックを搭載するスノーモービルについて説明します。

⚠ 警告

スタッドの取り付けが許可されていないトラックに、スタッドを取り付けないでください。取り付けが許可されているトラックは、トラック表面に示されているスタッドのシンボルマーク（下図参照）で識別できます。許可されていないトラックにスタッドを取り付けると、トラックが裂けたり、ばらばらになったりする危険が高まります。



トラックのシンボルマーク

1. スタッド取り付け可
2. スタッド取り付け不可

⚠ 警告

Ski-Dooスノーモービルに対しては、BRPが認定したタイプのスタッドだけを使用してください。トラックの厚さが他の標準トラックより薄いので、従来型のスタッドを絶対に使用しないでください。従来型のスタッドはトラックを引き裂き、車両から分離させる恐れがあります。現在の専用スタッドの入手可能性や用途については、正規 Ski-Doo ディーラーにご相談ください。

スノーモービルのアグレッシブスキーカーバイドランナーやスタッドなど、トラクション強化製品は、スノーモービルの挙動、特に操作性、加速性、および制動性を変化させます。

トラクション強化製品を使用すると、圧雪や氷へのグリップがよくなりますが、軟雪では顕著な効果はありません。このため、トラクション強化製品を装備したスノーモービルを運転するには、一定の適応期間が必要です。スノーモービルがトラクション強化製品を搭載している場合、必ず、長時間かけて、旋回、加速および制動するときのスノーモービルの挙動に慣れてください。

また、スノーモービルのトラクション強化製品に関する現地の規制を必ず確認してください。必ずスノーモービルを責任を持って運転し、環境や他の人々の財産を大切にしてください。

操作性

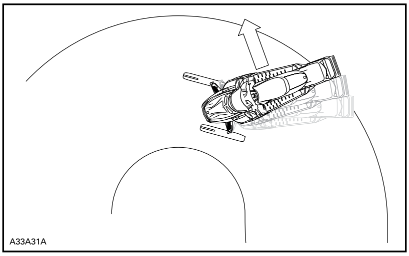
よりアグレッシブなスキーカーバイドランナーやスタッドなど、トラクション強化製品を使用すると、スノーモービルは、フロントとリアの両方で地面のグリップが向上します。このため、スノーモービルのフロントとリアのバランスが取れるように、カーバイドランナーを使用して、スキーのグリップを向上させることが必要です。出来合いのカーバイドスキーランナーでも悪くはありませんが、それらは最適な制御を提供しません。最適な制御は、オペレーターの個人的な好み、ライディングスタイル、およびサスペンションの調整の仕方に依存するからです。

⚠ 警告

スノーモービルのフロントとリアのトラクション強化製品が正しく組み合わせられていないために、フロントとリアのバランスが取れていない場合、スノーモービルはオーバーステアやアンダーステアになりがちで、制御を失う恐れがあります。

オーバーステア

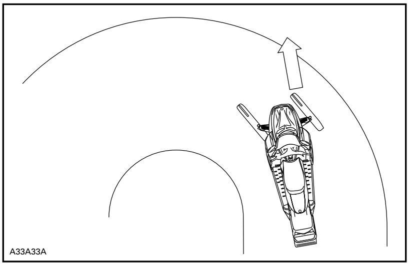
ある条件下で、リアトラックにスタッドを付けないで、よりアグレッシブなスキーカーバイドスキーランナーを使用すると、スノーモービルはオーバーステアになる恐れがあります。イラストをご覧ください。



オーバーステア

アンダーステア

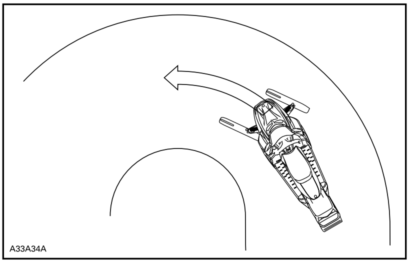
ある条件下で、トラックにスタッドを使用して、スキーによりアグレッシブなカーバイドスキーランナーを装着していない場合、スノーモービルはアンダーステアになる恐れがあります。イラストをご覧ください。



アンダーステア

制御された走行

カーバイドスキーランナーとトラック用のスタッドをバランスよく組み合わせると、十分な制御とよりより操作性が確保されます。イラストをご覧ください。



制御された走行

加速

トラックにスタッドを使用すると、圧雪や氷の上でのスノーモービルの加速がよくなりますが、軟雪では顕著な効果がありません。スタッドを使用すると、ある条件下では、トラクションの急激な変動が生じることがあります。

⚠ 警告

スノーモービルが制御不能になるという不測の出来事を回避するためには、以下のようにしてください。

- 必ずスロットルを控えめに引き締めてください。
- 絶対に、トラックをスピンさせてスノーモービルの後部を滑らせないでください。

このような行為をすると、異物や氷が激しく後方に飛ばされ、近くにいる人を負傷させ、後続するスノーモービルを損傷させる恐れがあります。

ブレーキ

加速時と同様、トラックにスタッドを使用していると、圧雪や氷の上での制動能力が上がりますが、軟雪では顕著な効果はありません。このように、制動は、ある条件下では突然変化します。制御を失う恐れがある不測の出来事を避けるために、制動中は必ず自制して、トラックをブロックしないようにしてください。

重要な安全規則

⚠ 警告

スノーモービルのそばにいる人が重傷を負わないようにするために、以下のことを行ってください。

- 決して動作しているトラックの後ろやそばに立たないでください。
- トラックを回転させる必要がある場合は、必ずリアデフレクターパネルが付いた、底面の広いスノーモービルスタンドを使用してください。
- トラックを引き上げて地面から離す場合は、一番低い速度で動作させてください。

遠心力により、異物、損傷もしくは脱落したスタッド、裂けたトラックの断片、または裂けたトラックが丸ごと、恐ろしい力でトンネルから後方に激しく飛ばされる恐れがあります。

スタッド付きトラックを装着した場合の、スノーモービルの寿命への影響

トラクション強化製品を使用すると、スノーモービルのあるコンポーネントへの負荷と応力が増大し、振動レベルが上昇する恐れがあります。これにより、ドライブベルト、ブレーキライニング、ベアリング、チェーン、チェーンケーススプロケットなどの部品の早期摩耗が生じ、また認定スタッド付きトラックが早く摩耗して、トラックの寿命が短くなる恐れがあります。使用する前に毎回、必ずトラックを目視点検してから作業を進めてください。詳細については、*メンテナンス手順*のセクションの*トラック*を参照してください。

また、トラックに付けたスタッドは、ご使用のモデル専用に設計されたトンネルプロテクターを装備してしないと、スノーモービルに深刻な損傷を与えることがあります。電気配線の損傷や熱交換器のパンチ穴は、潜在的な危険要因です。エンジンがオーバーヒートし、深刻な損傷を受ける恐れがあります。

⚠ 警告

トンネルプロテクターが過度に摩耗している、または装備されていないと、ガソリンタンクに穴が開いて、火災が発生する恐れがあります。

注記 ディーラーに、ご使用のスノーモービルが必要とする適切なトンネルプロテクターモデルとキット番号をお尋ねください。

注：BRP限定保証書をご覧になって、スタッドの使用に関連してどのような保証の制限があるかを確認してください。

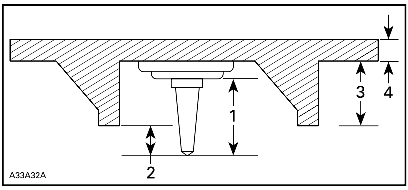
BRP認定トラックへのスタッドの取り付け

⚠ 警告

スタッドの取り付けが許可されていないトラックに、スタッドを取り付けないでください。許可されていないトラックにスタッドを取り付けると、トラックが裂けたり、ばらばらになったりする危険が高まります。

安全で適切な取り付けを確保するために、BRPはスタッドをディーラーで取り付けてもらうことを推奨します。

- BRP認定専用スタッドだけを使用してください。
- スノーモービルのトラックの側面より9.5 mm以上高いスタッドを使用しないでください。



スタッドの取り付け

1. *スタッドサイズ*
2. *食い込み幅6.4 mm ～ 9.5 mm*
3. *トラックラグの高さ*
4. *トラックベルトの厚さ*

⚠ 警告

- 現在の専用スタッドの入手可能性や用途については、正規Ski-Dooディーラーにご相談ください。
- 従来型のスタッドを取り付けるトラックの厚さは当社の標準トラックより薄いので、決してそのようなスタッドを使用しないでください。従来型のスタッドを使用すると、トラックが裂け、車両から分離する恐れがあります。
- スタッドは、トラック表面に型押しされたバルジが指し示す位置にだけ取り付けてください。トラックモデルの一部には2種類の型押しバルジがあります。三角形と円です。トラック表面に型押しされている警告を見て、どちらを使用するか確認してください。
- 以下の形状のトラックにスタッドを取り付けてはなりません 35 mm以上。
- 取り付けるスタッドの数は、常にトラックの型押しバルジのパターンに完全に適合していなければなりません。
- ディーラーにスタッドとランナーを取り付けさせる前に、必ずトラクション製品メーカーの取付指示書と推奨事項を参照してください。スタッドボルトのトルク基準値を遵守することは極めて重要です。

間違った数のスタッドを取り付けると、または間違った取り付け方をすると、トラックが裂けたり、ばらばらになったりする危険性が増大します。

スタッド付きトラックの点検

走行する前に毎回、トラックの目視点検を行ってください。

以下のような不具合を探してください。

- トラックに穴が開いていないか
- トラックに裂け目がある　(特にスタッド付きトラックのトラクションホールの周辺)
- ラグが破損または断裂している、ロッドの露出している部分
- ラバーの剥離
- ロッドの破損
- スタッドの破損　(スタッド付きトラック)
- スタッドが曲がっている(スタッド付きトラック)
- スタッドが脱落している
- スタッドが裂けてトラックから外れている
- トラックガイドが脱落している
- 緩んでいるスタッド。

認定されたスタッド付きトラックでは、破損または損傷したスタッドはただちに交換してください。トラックに劣化の兆候があれば、ただちに交換する必要があります。疑問がある場合は、ディーラーに尋ねてください。使用する前に毎回、必ずトラックを目視点検してから作業を進めてください。

⚠ 警告

トラックまたはスタッドが損傷しているときに走行すると、制御不能になる恐れがあります。

重要な製品貼付ラベル

ハングタグ

車両エンジンの説明：

XXXXX

米国環境保護庁認証

NER（正規化排出率） = X

0～10 の段階の中で最もきれいなのは0です

*販売前に取り外さないでください

代表例

⚠警告 このオフロード車両の運転、整備、保守を行うことで、米国カリフォルニア州政府が規制する、発がん性や先天性障害または生殖毒性を引き起こすことが知られている化学製品にさらされる可能性があります。
そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。

詳細は、www.P65Warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle をご覧ください。

704906872

お客様各位

新型E-TECエンジンテクノロジーには自動コンピュータ制御慣らし運転期間があり、それにより、耐用期間中、最高の性能、効率および信頼性が得られます。慣らし運転中は、通常より多いオイルと燃料を消費します。また、エンジンがミスファイアを起こしていると感じるかも知れません。しかし、これは正常です。コンピュータはエンジンコンポーネントを早期摩耗から保護し、確実に最適な慣らし運転をしているのです。慣らし運転期間中、通常、燃料タンク2杯分(22 gal./80 L)を消費しますが、その後、E-TECテクノロジーだけが提供する、比類のない性能、燃料とオイルの消費効率を提供します。

Cher client,

Votre nouveau moteur à technologie E-TEC a une période de rodage contrôlée automatiquement qui assurera une performance, une efficacité et une fiabilité optimales à long terme. Durant la période de rodage, le moteur consommera plus d'huile et d'essence qu'à la normale. Ainsi, il se peut que le moteur ait des ratés. Cela est normal puisque le module de commande protège le moteur contre l'usure prématurée et assure un rodage optimal. Après cette période, qui dure environ 2 pleins d'essence (80 l), vous serez en mesure de profiter pleinement des performances, ainsi que de la faible consommation d'huile et d'essence, que seule la technologie E-TEC peut offrir.

516004621

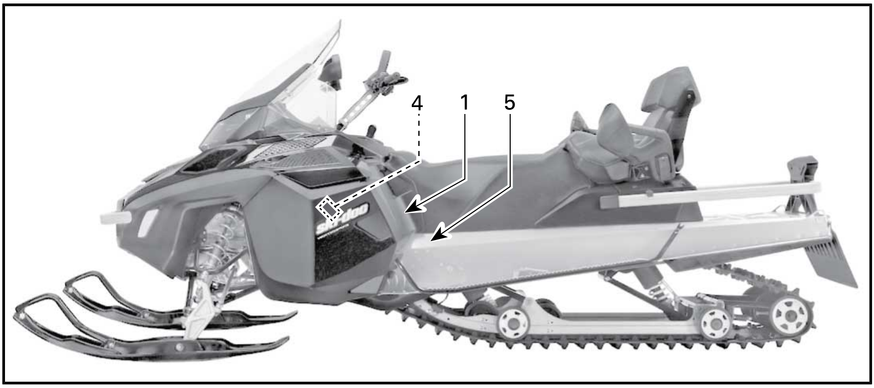
EXPEDITION XTREME 800R E-TEC

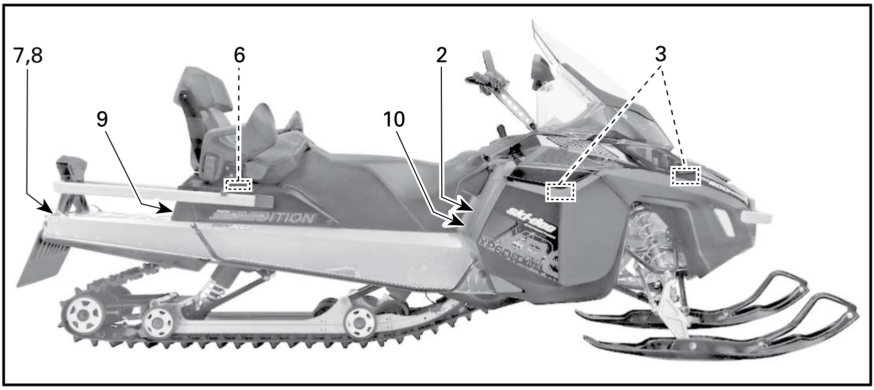
車両警告ラベル

車両にあるすべての警告ラベルを読んで理解してください。これらのラベルは、オペレーター、同乗者またはその場に居合わせる人の安全のために車両に貼られています。

以下のラベルが車両に貼付されています。それらは車両の恒久的一部であると考えてください。デカールが紛失または損傷した場合、無料で再貼付できます。正規 Ski-Doo ディーラーに相談してください。

注：このガイドおよび製品に何らかの矛盾がある場合、製品の警告ラベルがこのガイドのラベルよりも優先されます。


4
1
5


7,8
6
2
3
9
10

11
12

⚠警告

本車両は、オペレーター一人と、SSCC 基準に準拠しているストラップまたはハンドグリップを装備している座席数と同等の数の同乗者を乗せることを前提として設計されています。

This vehicle is designed for one (1) operator and as many passengers as there are seats with straps or handgrips installed on the vehicle confirming to SSCC standards.

同乗者を乗せて走行するときは：

- 制動能力と操舵制御能力が低下します。速度を落として、車体操作のためのスペースを広く取ってください。
- サスペンションを重量に合わせて調整する。

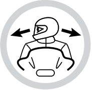
注意：オペレーターは、同乗者の安全に関する責任を負っています！

どのドライバーおよび同乗者も下記内容をお読みください。

不測の事態を回避するよう心がけてください。

不測の事態に常に警戒してください。

控えめな運転を心がけてください。



- 人、物体、状況そして対向車への捜索を常時心掛けてください。
- 薄い氷の上や水のある場所は避けてください。
- トレール外を走行するときはさらに注意を払ってください。

必ず米運輸省認定ヘルメットとスノーモービル搭乗にふさわしい衣服を着用してください。

同乗者であっても、絶対に酒類や薬品を飲んで搭乗しないでください。

516004652_revB

ラベル1

⚠警告

• 操作する前に、すべての警告ラベルを読んで理解し、オペレーターズガイドの場所を確認して読み、（QRコードリンクを使うかSki-Dooウェブサイトにアクセスして）安全講習ビデオをご覧ください。
• ご使用の車両をよく理解してください。経験の浅いライダーは危険を見逃し、車両特有の挙動や地面の状態に驚くことがあります。低速で走行してください。
• 過度の速度や無謀な走行は、死亡事故を起こす恐れがあります。
速度を積雪の状態やと周囲の状況に必ず合わせてください。
• 操舵制御および制動能力は、圧雪、氷、道路上で低下することがあります。速度を下げ、停止または旋回するための空間を広く取りましょう。
• オペレーターの最少年齢についての法律を遵守してください。当社は、16才以上の人が運転することを推奨しています。
• エンジンが動作しているときまたは車両が走行しているときに、絶対にサイドパネルやフードを開けたままにしないでください。必ずDESSキーを取り外してから、サイドパネルやフードを開けてください。

発車前：

1. テザーコードを衣服に取り付けます。
2. 発車前に必ず、スロットルレバーとブレーキレバーが正しく動作するか点検してください。レバーは、放したときに元の位置に戻らなければなりません。
3. パーキングブレーキをかけます。
4. ハンドルバーを両方向にいっぱいまで回して、支障なく動くことを確認します。

発車後：

1. テザーコードを引いて、エンジンが停止することを確認します。
2. 再度エンジンを始動し、緊急エンジン停止スイッチを押して、エンジンが停止するか確認します。
3. ブレーキのフェードを避けるために、走行前にパーキングブレーキを解除します。

516009224

ラベル2 - 北米モデル

警告

オペレーターマニュアルを読み、安全に関する指示を熟知してから、スノーモービルの使用を開始してください。

スノーモービル始動前に、以下の項目を確認してください
- 加速制動システムが正常であるか
- **すべて**の保護具が所定位置にあるか
- すべての保護具が閉まっているか
- 緊急遮断スイッチが固定されているか

エンジン動作時に、以下の項目を確認してください
- 緊急遮断スイッチと緊急スイッチが機能しているか
- 発進前、どのギヤに入っているか

WARNING

Read the operator's manual and get acquainted with the safety instructions before you start using the snowmobile.

Before starting the snowmobile, CHECK
- that acceleration and brake system are in order
- that **ALL** the protections are in place
- that all the protections are closed
- that the emergency cut out switch is fastened

When the engine is running, CHECK
- that the emergency cut out switch and the emergency switch function
- that which gear in on before start

516006403

ラベル2 - ヨーロッパモデル

注意

高温部分に注意!

516004566A

ラベル3

警告

エンジン動作中は、このガードを必ず所定位置に設置しておく必要があります。
回転部品に注意してください。衣服を巻き込んだり負傷する恐れがあります。

516004595A

ラベル4

警告 / **WARNING**

エンジン動作中は、このガードを必ず所定位置に設置しておく必要があります。

This guard must ALWAYS be in place when engine is running.

516003926

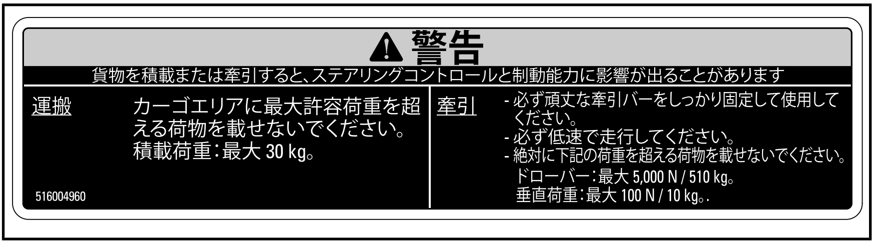
ラベル5

警告

• 絶対にこの面に座らないでください。
• 絶対にこの面に荷物を直接載せないでください。
• 荷物を載せる場合は、必ず BRP ラックを使用してください。

516004961

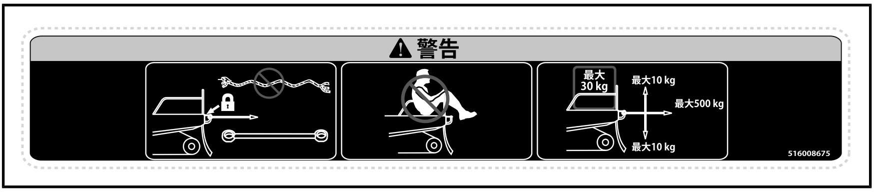
ラベル6



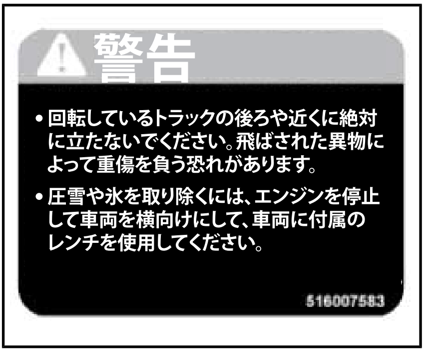
ラベル7 - 北米モデル

警告

- 必ずしっかり固定された剛性の高いけん引バーを使用してけん引してください。
- けん引時は必ず低速で走行してください。
- カーゴエリアに最大許容荷重を超える荷物を載せないでください。
- リア側最大積載量：30 kg / 66 lb
- 最大けん引能力：5,000 N / 510 kg / 509.84 kg
- 最大垂直荷重：100 N / 10 kg / 22 lb

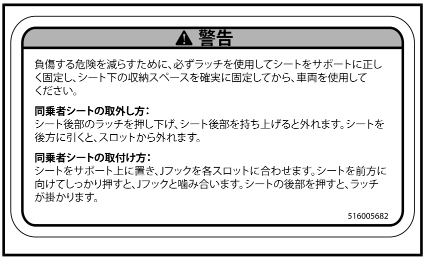


ラベル7 - ヨーロッパモデル

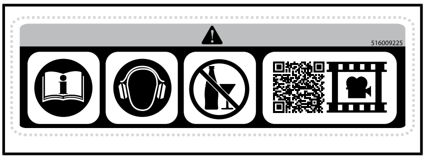


ラベル8 - 北米モデル

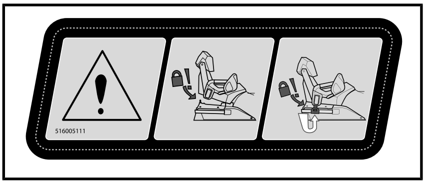
ラベル8 - ヨーロッパモデル



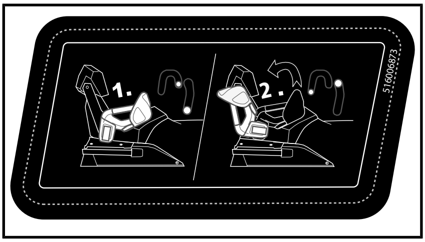
ラベル9



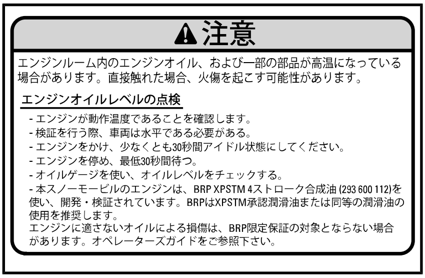
ラベル10 - ヨーロッパモデル



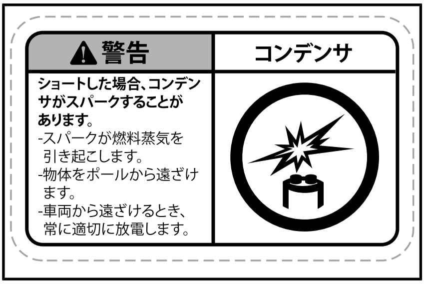
代表例 - ラベル11



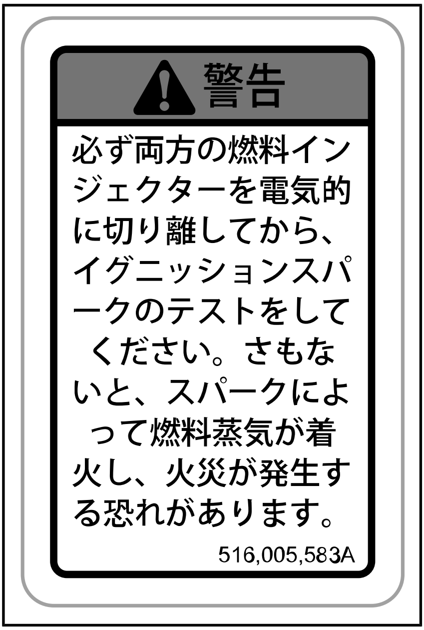
代表例 - ラベル12



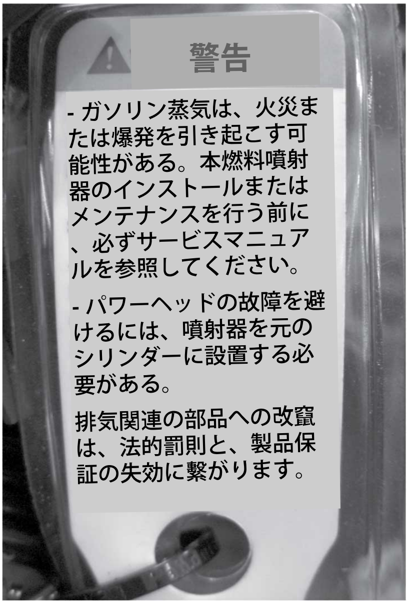
900 ACEおよび1200 4-TECモデル - エンジンコンパートメント内COMPARTMENT



エンジンコンパートメント内 -E-TECのみ



フュエルインジェクター上 -E-TECのみ



フュエルインジェクター上 -E-TECのみ

適合ラベル

EPA適合ラベル

排出コントロール情報

この車両は無鉛ガソリンで走行することが認可されており、スノーモービルSIエンジンに適用される米国 XXXX 環境保護庁の規制に適合しています。

EC
121

エンジンファミリー	XXXXXXXXXXXX	ENGINE FAMILY
透過性ファミリー	XXXXXXXXXXXX	PERMEATION FAMILY
ファミリー排出ガス限度 (FEL)	XX g/kW時 炭化水素 XXX g/kW時 一酸化炭素 X.X g/ m2 /日	FAMILY EMISSION LIMIT (FEL)
エンジン排気量	XXX cm³	ENGINE DISPLACEMENT
排気ガス制御システム	XXXX	EXHAUST EMISSION CONTROL SYSTEM

EMISSION CONTROL INFORMATION

THIS VEHICLE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED GASOLINE AND MEETS XXXX U.S. EPA REGULATIONS FOR SNOWMOBILE SI ENGINES.

メンテナンスの仕様に関しては『オペレーターズガイド』を参照してください。
SEE OPERATOR'S GUIDE FOR MAINTENANCE SPECIFICATIONS

BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. 6865

代表例 - 適合ラベル - エンジンコンパートメント内の表示

SSCCラベル

スノーモービルの安全規格は、BRPがその誇りある会員である、スノーモービル安全認証委員会 (SSCC) によって採用されました。スノーモービルがこれらの標準に適合しているという保証は、車両の右側垂直部にある認証ラベルを見れば簡単に確認できます。

以下のラベルは、独立試験機関によってSSCC安全規格への適合が確認されたことを示しています。

THIS MODEL HAS BEEN EVALUATED BY AN INDEPENDENT TESTING LABORATORY AND IT MEETS ALL SSCC SAFETY STANDARDS IN EFFECT ON THE DATE OF ITS MANUFACTURE.
SPONSORED BY THE SNOWMOBILE SAFETY AND CERTIFICATION COMMITTEE, INC.

認証済み
PRINTED IN U.S.A.
SAFE TRAILS • SSCC • MACHINE SAFETY STANDARDS • OPERATOR SAFETY TRAINING
CERTIFIED

このモデルは独立試験機関により評価され、その製造日に効力を有するすべてのSSCC安全基準に適合しています。

スノーモービル安全性および認証委員会株式会社により後援されています。

A00A1MA

トンネル上の表示

技術情報ラベル

注意

- **騒音規制に準拠するため、このエンジンはエアインテークサイレンサーとともに動作するよう設計されています。**
- **エアインテークサイレンサーを使用せずに操作したり、エアインテークサイレンサーが正しく取り付けられていないと、エンジンが損傷する場合があります。**

516004572

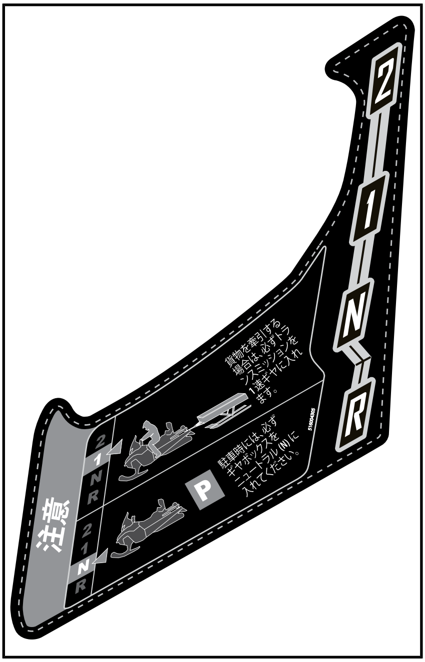
エンジンコンパートメント内の表示

注

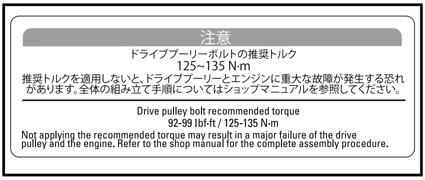
このスノーモービルのエンジンは、BRP XPS™ 認定潤滑油の使用を条件として開発され、検証が行われています。
BRPでは、当社のXPS™ 認定潤滑油または同等品を使用するよう推奨しています。
このエンジンに適していないオイルが原因で生じた損傷には、BRPの限定保証が適用されない場合があります。
オペレーターズガイドを参照してください。

516007443

エンジンコンパートメント内の表示



シフトレバー側のコンソール上

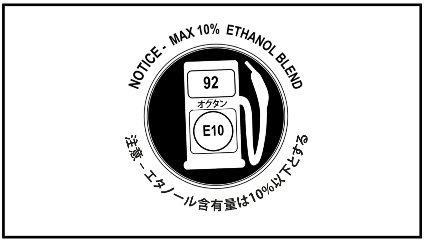

注意
ドライブプーリーボルトの推奨トルク
125~135 N·m
推奨トルクを適用しないと、ドライブプーリーとエンジンに重大な故障が発生する恐れがあります。全体の組み立て手順についてはショップマニュアルを参照してください。

Drive pulley bolt recommended torque
92-99 lbf-ft / 125-135 N·m
Not applying the recommended torque may result in a major failure of the drive pulley and the engine. Refer to the shop manual for the complete assembly procedure.

ドライブベルトガード上

燃料キャップの位置 - 1200 4-TECおよび900 ACEエンジン上（AKI（RON+MON）/2のオクタン価が記されたポンプを使用する国の場合）

燃料キャップの位置 - E-TEC上（AKI（RON+MON）/2のオクタン価が記されたポンプを使用する国の場合）



燃料キャップの位置 - 1200 4-TECおよび900 ACEエンジン上（RONオクタン価を使用する国の場合）

燃料キャップの位置 - E-TEC上（RONオクタン価を使用する国の場合）

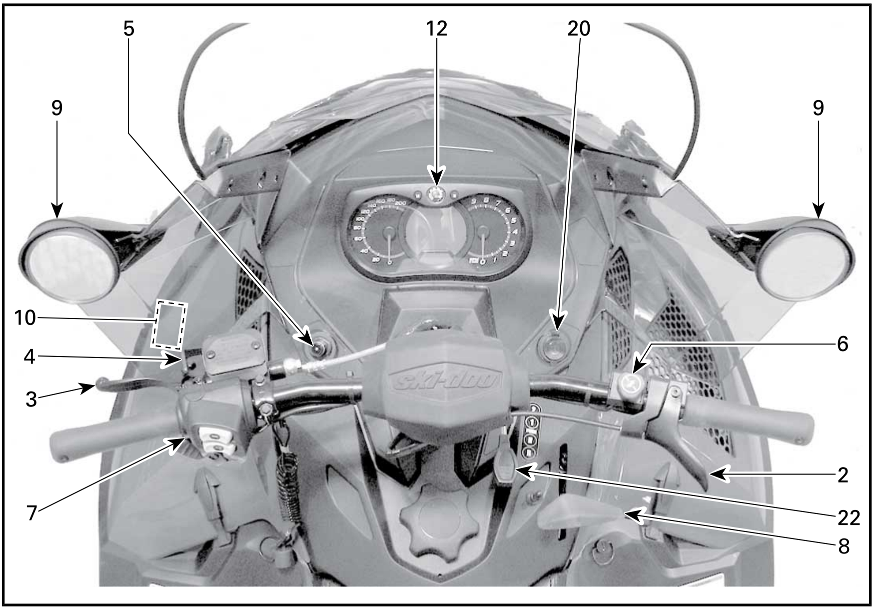
このページは
意図的に空白になっています

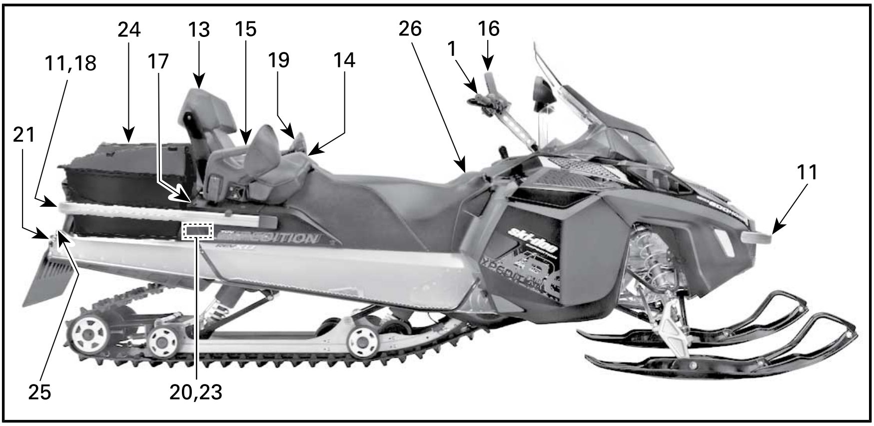
車両についての情報

コントローラー類、計器類および装置

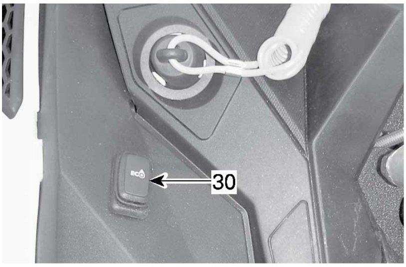
注： 機能の一部はご使用のモデルに該当しない、またはオプションである可能性があります。

注： 一部の車体の警告ラベルは図に表示されていません。車両の警告ラベルの情報については*「車両警告ラベル」*のサブセクションを参照してください。





代表例



代表例 - 燃料タンクの左側 - 900 ACEおよび1200 4-TEC

1) ハンドルバー

ハンドルバーはスノーモービルの操舵を制御します。ハンドルバーが右または左に回転するとき、スキーは右または左に回転して、スノーモービルを操舵します。

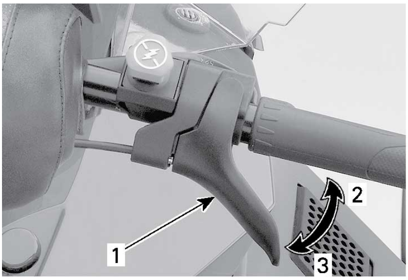
⚠ 警告

高速で後退しながら旋回すると、安全と制御の喪失につながる恐れがあります。

2) スロットルレバー（900ACEおよび1200 4-TEC以外のすべて）

スロットルレバーはハンドルバーの右端にあります。

親指で作動するようにできています。レバーを押すと、エンジン回転数が上昇します。レバーを放すと、自動的にアイドリング回転数になります。



代表例

1. *スロットルレバー*
2. *加速時*
3. *減速時*

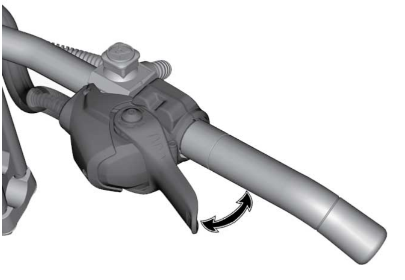
⚠ 警告

エンジンを始動するたびに、スロットルレバーの動作をテストしてください。レバーは、離された後に、元の位置に戻る必要があります。そうでない場合、エンジンを始動できません。

スロットルレバー（900 ACEおよび1200 4-TEC）

スロットルレバーはハンドルバーの右端にあります。

親指または他の指によって作動される様に設計されています。レバーを押すと、エンジン回転数が上昇します。レバーを放すと、自動的にアイドリング回転数になります。



代表例

⚠ 警告

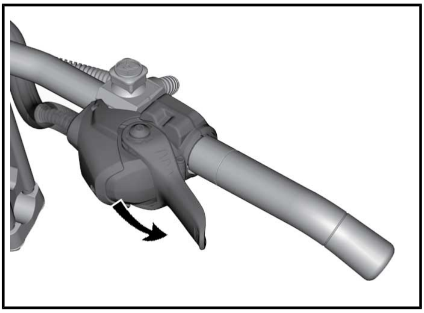
エンジンを始動するたびに、スロットルレバーの動作をテストしてください。レバーは、離された後に、元の位置に戻る必要があります。そうでない場合、エンジンを始動できません。

スロットル位置を親指から他の指に切り替える

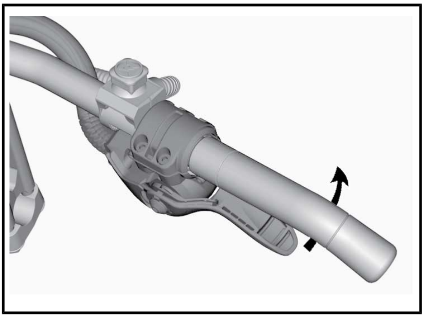
⚠**注意**　危険な状況を起こす可能性がありますので、スロットル位置を変更する前には、スノーモービルを停止・固定することを強くお勧めいたします。

親指（サムスロットル位置）から他の指のスロットル位置（フィンガースロットル位置）に切り替える際、選択できる位置は3つあります。最も適切なのはライダーが好む位置ですが、こ

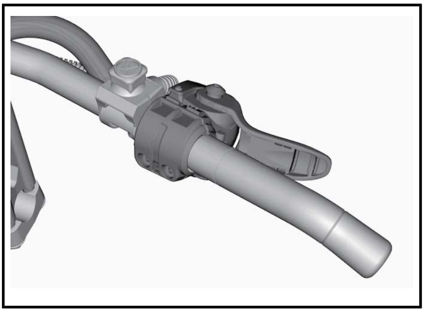
れは、走行スタイルと環境に直接関係します。



サムスロットル位置：押し下げてスロットルハウジングを回す



希望する場合は、スロットルハウジングを引き続き回す



フィンガースロットル位置

注意

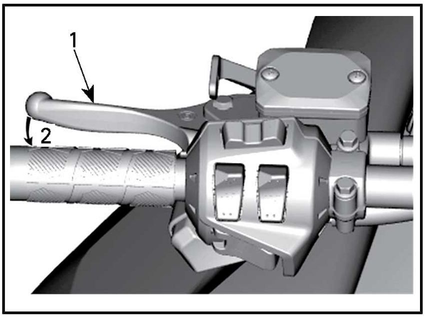
- フィンガースロットル位置を使用する際、ミトンではなく手袋を使うことを強くお勧めします。
- トレール外の、密林などで走行する際、フィンガースロットル位置を避けることをお勧めします。

スロットル位置を親指位置に戻す手順は上記の手順の逆となります。

3) ブレーキレバー

ブレーキレバーはハンドルバーの左端にあります。

レバーを引くとブレーキがかかります。レバーを離すと、自動的に解除位置に戻ります。制動効果は、レバーにかかる圧力と、地面の種類と雪の深さに比例します。



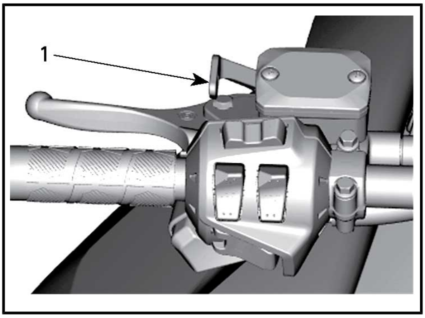
代表例

1. *ブレーキレバー*
2. *ブレーキをかける*

4)パーキングブレーキレバー

パーキングブレーキレバーはハンドルバーの左端にあります。

パーキングブレーキは、スノーモービルを駐車する場合、必ず使用してください。



代表例

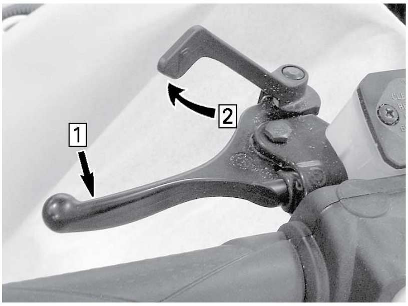
1. *パーキングブレーキレバー*

⚠ 警告

スノーモービルを動作させるときは、パーキングブレーキが完全に解除されていることを確認します。車両で走行するとき、レバーを引き続けると、ブレーキパッドが引っ張られることになり、その結果ブレーキシステムが損傷し、制動能力の喪失や火災が発生する恐れがあります。

パーキングブレーキをかける

ブレーキをかけ続けてから、図に示すように、パーキングブレーキレバーを使用してブレーキレバーをロックします。



代表例 - エンジンメカニズム

手順 1：通常どおりブレーキをかけて、そのまま保持する

手順 2：パーキングブレーキレバーを使用して、ブレーキレバーをロックする

パーキングブレーキを解除する

ブレーキレバーを引きます。パーキングブレーキレバーは自動的に元の位置に戻ります。走行する前に必ずパーキングブレーキを解除します。

5)エンジンカットオフスイッチ

エンジンカットオフスイッチはコンソールの左側に設置されています。

車両の動作を可能にするために、テザーコードキャップは、しっかりエンジンカットオフスイッチに取り付けておいてください。

注：エンジン始動後、設定済みD.E.S.S.キー(テザーコードキャップ)が正しくエンジンカットオフスイッチに取り付けてあれば、ブザー音が2回鳴ります。さらにブザー信号が鳴った場合、モニタリングシステムにD.E.S.S.故障コード情報がないか確認してください。

⚠ 警告

エンジン始動前に、必ずテザーコードハトメを衣服に取り付けておいてください。

エンジンカットオフスイッチのテザーコードキャップを引くと、エンジンが停止します。

D.E.S.S. (デジタル暗号化セキュリティシステム)

テザーコードキャップにはD.E.S.S.キーが付いていて、それはお客様とそのスノーモービルに従来型のロックキーに等しいセキュリティを提供します。

D.E.S.S.キーは、恒久的に記憶されている一意のデジタルコードを備えている電子チップを内蔵しています。

正規Ski-Dooディーラーは、お買い求めのスノーモービルがテザーコードキャップのD.E.S.S.キーを認識して、車両の操作が可能になるように、D.E.S.S.を設定しました。

D.E.S.S.を設定していない別のテザーコードを使用する場合、エンジンは始動しますが、車両を動かすドライブプーリー連結速度には達しません。

テザーコードキャップに泥や雪が付いていないことを確認してください。

D.E.S.S. 柔軟性

正規Ski-Dooディーラーは、スノーモービルのD.E.S.S.を、最多8個の異なるキーを受け付けるように設定できます。

当社は、正規Ski-Dooディーラーから追加のテザーコードを購入することを推奨します。2個以上のD.E.S.S.を装備するSki-Dooスノーモービルを所有している場合、正規Ski-Dooディーラーは、そのそれぞれが他の車両のD.E.S.S.キーを受け付けるように設定できます。

RF D.E.S.S.キータイプ（900 ACEおよび1200 4-TEC）

2種類のキーが使用できます。

- ノーマルキー
- ラーニングキー(Learning key)

キーのタイプを簡単に見分けられるように、テザーコードの色が異なっています。

キーのタイプ	色
通常	グレー
ラーニング	緑

Ski-Dooラーニングキーはスノーモービルのトルクとスピードを制限し、初めてまたは経験の浅いオペレーターが運転技術を取得できるように扱いやすくします。

注：ラーニングキーの初期設定では、速度を40 km/hまたは70 km/hに制限できます。この設定を変更するには、あなたの正規Ski-Dooディーラーまでお問い合わせください。

詳細は、*動作モード*のサブセクションを参照してください。

6)緊急エンジン停止スイッチ

緊急エンジン停止スイッチはハンドルバーの右端にあります。

プッシュプルタイプのスイッチです。

緊急時にエンジンを停止させるには、OFF位置 (ダウン) を選択し、同時にブレーキをかけます。再始動するには、ボタンをON位置(アップ)に入れます。

オフ位置

エンジンを始動するには、スイッチはON位置 (アップ) になければなりません。

所定の位置

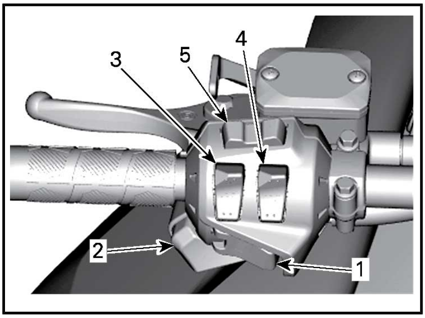
すべてのスノーモービルオペレーターは、最初の遠出のときに緊急エンジン停止スイッチを複数回使用し、またその後エンジンを止めるときにはいつでも同スイッチを使用して、その機能に習熟してください。そのようにすれば、エンジン停止手順が反射行動になり、緊急エンジン停止スイッチを使用することが必要な緊急事態に対するオペレーターの心構えを作ります。

警告

不具合が疑われる緊急事態のためにスイッチを使用した場合、エンジンを再始動する前に不具合の原因を特定し、不具合を解消してください。整備については正規 Ski-Doo ディーラーに相談してください。

7) 多機能スイッチ

多機能スイッチはハンドルバーの左側にあります。



代表例

1.　スタートボタン
2.　ヘッドライトディマースイッチ
3.　グリップヒータースイッチ
4.　スロットルレバーヒータースイッチ
5.　モード/セットボタン

スタートボタン

押してエンジンを始動します。*使用上の諸注意*のサブセクションの*エンジン始動手順*を参照してください。

ヘッドライトディマースイッチ

押してハイまたはロービームを選択します。エンジンが動作しているときは、ライトが自動で点灯します。

ヒーター付きグリップとスロットルレバースイッチ

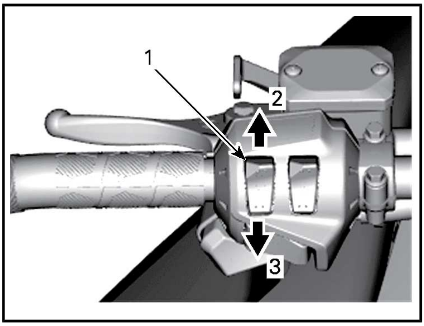
E-TECモデル

注： 1,900 rpm未満では、グリップヒーターまたはスロットルレバーヒーターの能力が50%に制限されます。

全モデル

手を快適な温度に保つには、スイッチを必要なだけ押して温度の強弱を選択します。

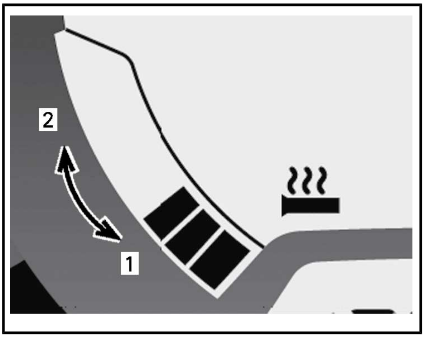
グリップヒータースイッチ



代表例

1.　グリップヒータースイッチ
2.　温度を上げる
3.　温度を下げる

温度の強弱は、多機能ディスプレイに表示されます。

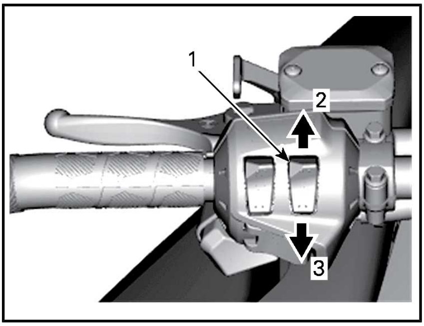


温度の強弱の表示

1.　温度が低い
2.　温度が高い

ゲージ上にバーが表示されなければ、グリップヒータースイッチはオフになります。

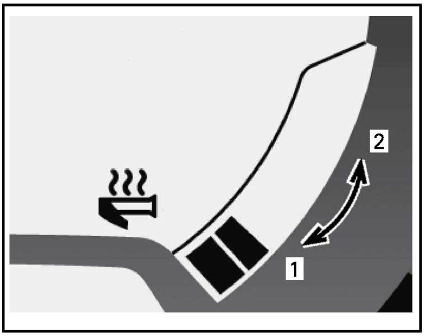
スロットルレバーヒータースイッチ



代表例

1. *スロットルレバーヒータースイッチ*
2. *温度を上げる*
3. *温度を下げる*

注：温度の強弱は、スロットルレバースイッチを作動させることで多機能ディスプレイに表示されます。スイッチを放すと、ディスプレイは燃料タンクレベルに戻ります。



温度の強弱の表示

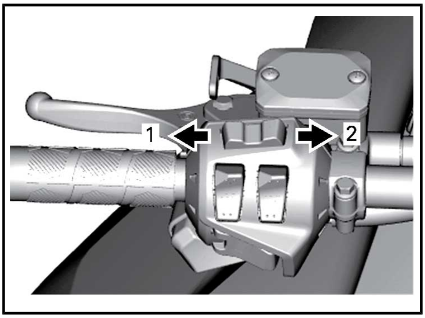
1. *温度が低い*
2. *温度が高い*

ゲージ上にバーが表示されなければ、スロットルレバーヒーターはオフになります。

モード/セットボタン

このボタンは、アナログ/デジタルゲージの上端にある2つのボタンの代わりに使用することができ、ゲージ調整を容易にします。

- 左に押すと、MODE（モード）(M)ボタンと同じ機能を果たします。
- 右に押すと、SET（設定）(S)ボタンと同じ機能を果たします。



多機能ゲージ

1. *モード機能*
2. *セット機能*

8) ギヤシフトレバー

このレバーを使用してギヤを選択します。ギヤボックスには、2つの前進ギヤと1つのリバースギヤ、そしてニュートラル位置があります。

詳細については、*使用上の諸注意のギヤボックスの操作*を参照してください。

注：ニュートラルからリバースギヤに動かすには、ギヤシフトレバーを押し下げる必要があります。

9) 調整式ミラー

どのミラーも、ミラーガラスを軽く回すことでオペレーターの好みの位置に調整することができます。

⚠ 警告

車両を安全な場所に停止させてから、調整してください。

10) 車載工具

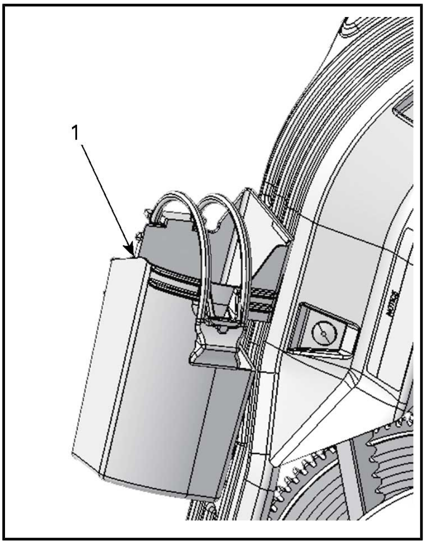
車両には、基本的なメンテナンスを行うための工具を含む車載工具があります。

600 HO E-TEC、800 E-TEC（北米モデル）および900 ACE

工具キットはエンジンコンパートメントのプーリーガードに設置されています。

注記 工具キットは、ベルトやプーリーに触れないように適切に固定されていることを確認します。

工具キットのサポートをプーリーガードから外すには、プーリーガードの下にあるタブのロックを外し、工具キットサポートを前方に引くことで解除できます。

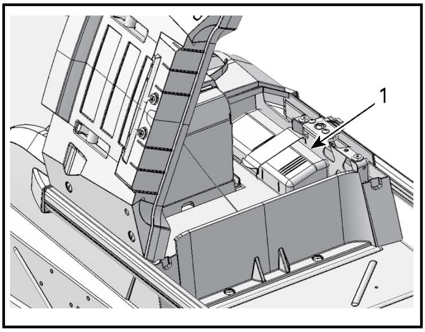


代表例

1. 車載工具

800R E-TEC（ヨーロッパモデル）および1200 4-TEC

工具キットは運転席後ろのストレージコンパートメントにあります。



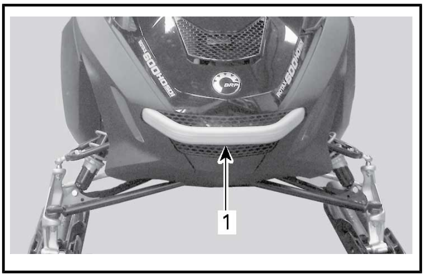
代表例

1. 車載工具

11) フロントおよびリアバンパー

スノーモービルを手で持ち上げるときにはいつでも使用します。

⚠注意 適切な方法で持ち上げてください。特に脚力を利用してください。あなたの体力的な限界を超える場合、車両のどちら側を持ち上げるのはお避け下さい。可能であれば、適切なリフト装置を使用するか、持ち上げる力を分担してもらうために人に手伝ってもらいます。



代表例

1. フロントバンパー

代表例

1. リアバンパー

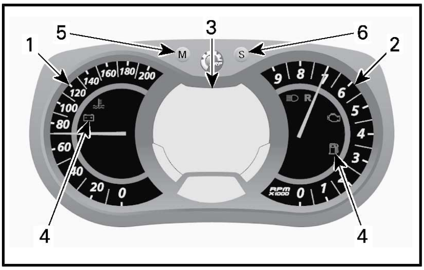
注記 スノーモービルを引っ張るまたは持ち上げるためにスキーを使用しないでください。

12) ゲージ

⚠ 警告

車両走行中には、絶対に多機能デジタルゲージの調整や機能設定を行わないでください。

ゲージの説明

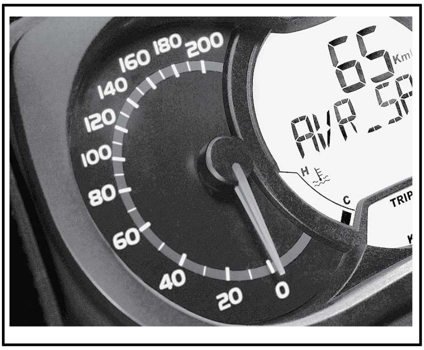


多機能アナログ/デジタルゲージ

1. スピードメーター
2. タコメーター
3. 多機能デジタルディスプレイ
4. パイロットランプ
5. モードボタン
6. [セット(SET)]ボタン

1） スピードメーター

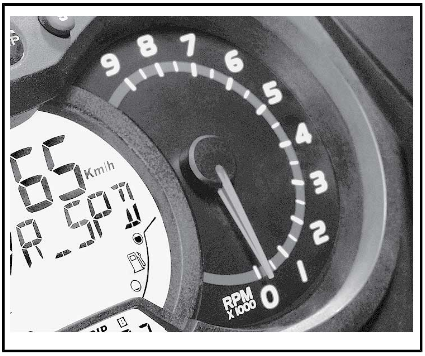
車速を計測します。



ゲージの左側

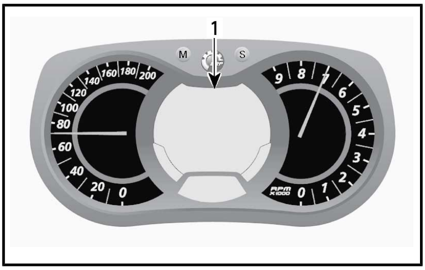
2) タコメーター（rpm）

1分当たりのエンジン回転数（rpm）を計測します。メーター上の数字を1,000 倍した値が実際の回転数です。



ゲージの右側

3) 多機能デジタルディスプレイ



多機能アナログ/デジタルゲージ

1.　　多機能表示

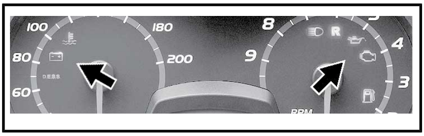
⚠ 警告

車両走行中には、絶対に多機能デジタルゲージの調整や機能設定を行わないでください。

多機能ディスプレイを使用して、次を行えます：

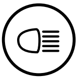
- 電源投入時のウェルカムメッセージの表示(WELCOME)
- キー認識メッセージの表示(KEY)
- オペレーターの選択によるさまざまな表示の提供
- 様々な機能または動作モードの起動または変更
- 機能の起動やシステムの故障に関するスクロールメッセージの表示
- 故障コードの表示。

4) パイロットランプおよびメッセージ



代表例 — パイロットランプ

通常のパイロットランプの情報については下の表を参照してください。異常時のパイロットランプの詳細はモニタリングシステムのセクションを参照してください。

パイロットランプオン	ブザー	メッセージ表示	説明
	5分ごとに4回の短いブザー音	オイル残量少	2ストロークエンジンの場合：噴射オイル残量が少なくなっています。安全な場所に車両を止めてから、噴射オイルリザーバーにオイルを補充します。
			4ストロークエンジンの場合：モニタリングシステムを参照してください。
	—	—	燃料残量が少なくなっています。燃料レベル表示がバー1本だけになっています。可能な限りすぐに燃料タンクに燃料を補充してください。
	長いブザー音がゆっくり繰り返し鳴る	リバース	リバースが選択されています。
	3回の短いブザー音	リバース失敗	リバースが作動しませんでした。再試行してください。
	—	—	ハイビームヘッドライトが選択されています。
—	—	暖機	通常の走行の前に、エンジンや噴射オイルを温める必要があります。エンジンの回転数は、所定の温度に達するまで制限されます（走行時は最大10分まで）。極めて低温の場合、再始動したあと暖機が生じることがあります。
900 ACEおよび1200 4-TEC			

パイロットランプオン	ブザー	メッセージ表示	説明
ECO	—	—	ECOモードが選択されています。
STANDARD MODE	—	—	標準モードが選択されています。
SPORT MODE	—	—	スポーツモードが選択されています。

5) モード（M）ボタン
ゲージ多機能ディスプレイ内を移動するのに使用するボタンです。

注： マルチスイッチハウジングにある同じ機能を持ったモード（M）ボタンも使用できます。

6) セット（S）ボタン
ゲージ多機能ディスプレイ内の移動、調整またはリセットを行うためのボタンです。

設定を記憶させるには、エンジンを作動させなければなりません。

注： 同じ機能を持っている多機能スイッチのセット（S）ボタンも使用できます。

ゲージの特長

数値表示で使用可能なインジケーター			
機能	**EXPEDITION LE 600 HO E-TEC**	**EXPEDITION SE 600 HO E-TEC**	**EXPEDITION XTREME 800R E-TEC**
A) スピードメーター	デフォルトで表示		
B) エンジン回転数	X	X	X
C) オドメーター	X	X	X
D) トリップメーター「A」または「B」	X	X	X
E) 走行時間メーター	X	X	X
F) 時計	X	X	X

数値表示で使用可能なインジケーター			
機能	**EXPEDITION LE 600 HO E-TEC**	**EXPEDITION SE 600 HO E-TEC**	**EXPEDITION XTREME 800R E-TEC**
G) 燃料レベル	X	X	X
H) 高度	X	X	X
I) グリップヒーター加熱強度	X	X	X
J) スロットルレバーヒーター加熱強度	X	X	X
K) 瞬間燃料消費量	X	X	X
K) 合計燃料消費量	X	X	X
M) メッセージ表示	X	X	X
N) クーラント温度	X	X	X
O) エアコントロールサスペンション	N.A.	X	X
P) E-TEC エンジン保管モード	X	X	X
X = X は標準機能を示す Opt = オプションとして利用できる機能 N.A. = 利用不可			

数値表示で使用可能なインジケーター		
機能	**EXPEDITION LE 900 ACE**	**EXPEDITION SE 900 ACE**
A) スピードメーター	デフォルトで表示	
B) エンジン回転数	X	X
C) オドメーター	X	X
D) トリップメーター「A」または「B」	X	X
E) 走行時間メーター	X	X
F) 時計	X	X
G) 燃料レベル	X	X
H) 高度	N.A.	N.A.

数値表示で使用可能なインジケーター		
機能	**EXPEDITION LE 900 ACE**	**EXPEDITION SE 900 ACE**
I) グリップヒーター加熱強度	X	X
J) スロットルレバーヒーター加熱強度	X	X
K) 瞬間燃料消費量	X	X
K) 合計燃料消費量	X	X
M) メッセージ表示	X	X
N) クーラント温度	X	X
O) エアコントロールサスペンション	X	X
P) E-TEC エンジン保管モード	N.A.	N.A.
X = X は標準機能を示す Opt = オプションとして利用できる機能 N.A. = 利用不可		

数値表示で使用可能なインジケーター		
機能	**EXPEDITION LE 1200 4-TEC**	**EXPEDITION SE 1200 4-TEC**
A) スピードメーター	デフォルトで表示	
B) エンジン回転数	X	X
C) オドメーター	X	X
D) トリップメーター「A」または「B」	X	X
E) 走行時間メーター	X	X
F) 時計	X	X
G) 燃料レベル	X	X
H) 高度	N.A.	N.A.
I) グリップヒーター加熱強度	X	X
J) スロットルレバーヒーター加熱強度	X	X

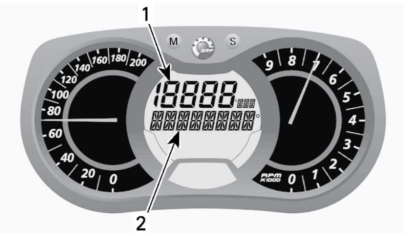
数値表示で使用可能なインジケーター		
機能	**EXPEDITION LE 1200 4-TEC**	**EXPEDITION SE 1200 4-TEC**
K) 瞬間燃料消費量	X	X
K) 合計燃料消費量	X	X
M) メッセージ表示	X	X
N) クーラント温度	X	X
O) エアコントロールサスペンション	N.A.	X
P) E-TEC エンジン保管モード	N.A.	N.A.
X = X は標準機能を示す Opt = オプションとして利用できる機能 N.A. = 利用不可		

インフォメーションセンターに電源を入れたときは、数値表示は前回選択していた表示を示します。

A) スピードメーター

車速は、アナログ式スピードメーターに加え、多機能ディスプレイにも表示されます。

車速はディスプレイ1またはディスプレイ2に表示可能です。

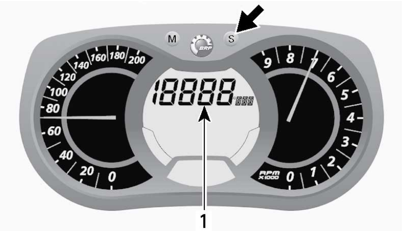


多機能ディスプレイ

1. ディスプレイ1
2. ディスプレイ2

モード（M）ボタンを使用して希望する表示を選択し、下記のように進めます。

表示が点滅している間にセット（S）ボタンを押して、スピードメーターモードを選択します。



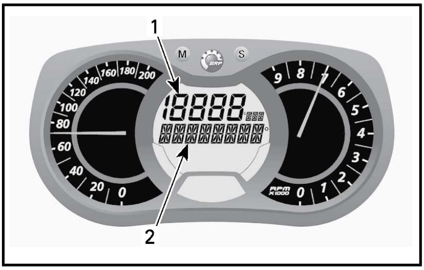
1. スピードメーターモード

モード（M）ボタンを押して選択内容を確認し、5秒間待ちます。

B) タコメーター（rpm）

回転数は、アナログ式タコメーターに加え、多機能ディスプレイにも表示されます。

エンジン回転数はディスプレイ1またはディスプレイ2に表示可能です。

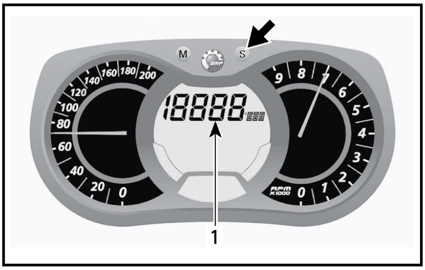


多機能ディスプレイ

1.　ディスプレイ1
2.　ディスプレイ2

モード（M）ボタンを使用して希望する表示を選択し、下記のように進めます。

表示が点滅している間にセット（S）ボタンを押して、回転数モードを選択します。



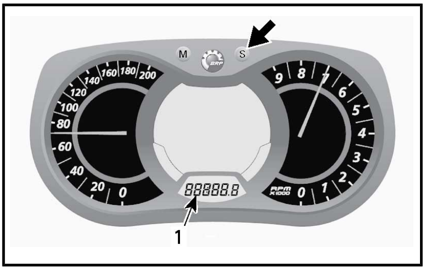
1.　回転数モード

モード（M）ボタンを押して選択内容を確認し、5秒間待ちます。

C) オドメーター

総走行距離を記録します。

セット（S）ボタンを押して、オドメーターモードを選択します。

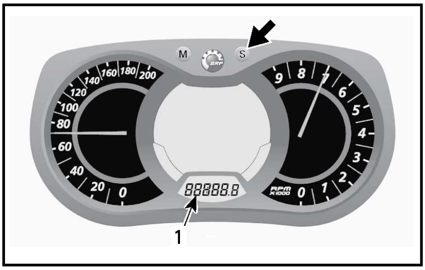


1.　オドメーター（km/mi）モード

D) トリップメーター「A」または「B」

トリップメーターは、リセットされた時点からの走行距離を記録します。

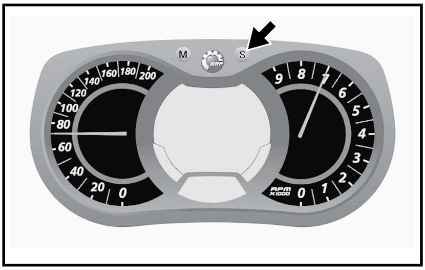
セット（S）ボタンを押してトリップメーター（TRIP A/TRIP B）モードを選択します。



1. トリップメーター（TRIP A/TRIP B）モード

セット (S) ボタンを押したままにしてリセットします。

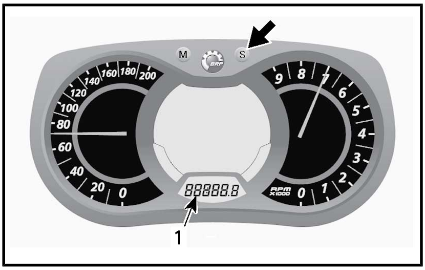
注： E-TECおよび900ACEモデルでは、トリップをリセットします Bモードでは、合計燃料消費量もリセットします



E) 走行時間メーター

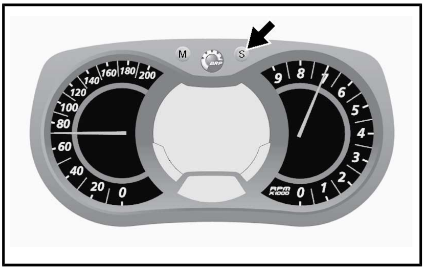
電気システムのリセット以降の、電気システムが動作しているときの車両の走行時間を記録します。

セット（S）ボタンを押して、走行時間メーター（HrTRIP）モードを選択します。



1. 走行時間メーター（HrTRIP）モード

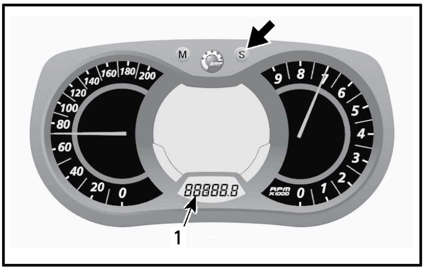
セット (S) ボタンを押したままにしてリセットします。



F) 時計

注： 時計表示は24時間表示のみとなっています。

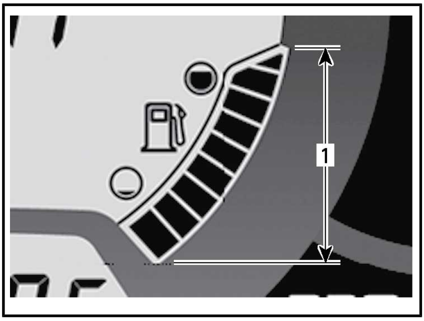
セット（S）ボタンを押して、時計モードを選択します。



1. 時計モード

G) 燃料レベル

棒状のゲージによって、燃料タンク内の残量を常時表示します。



燃料レベル

1. 動作範囲

H) 高度

気圧から計算された、車両のおおよその海抜高度を表示します。

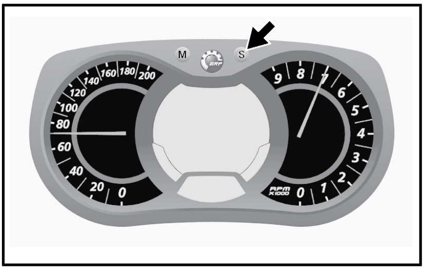
注： 高度表示は100 メートル単位（メートル表示設定の場合）または

200フィート単位（ヤード/ポンド表示設定の場合）で表示されます。

車両高度を表示するには、下記のように進めます。

表示2を選択するにはモード（M）ボタンを押します。

表示が点滅している間にセット（S）ボタンを押して、高度モードを選択します。



高度モードが選択されると、下記の記号が表示されます。

高度モード

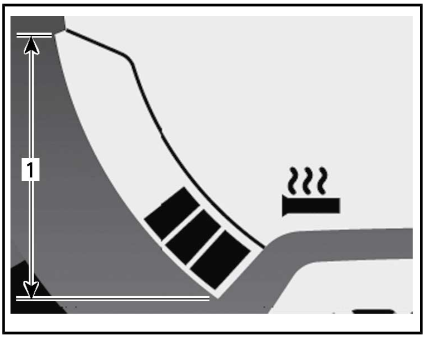
モード（M）ボタンを押して選択内容を確認し、5秒間待ちます。

I) グリップヒーター加熱強度

温度の強弱を示すバーゲージ

注： 強弱には9段階の設定があります。スイッチを放すと、ディスプレイはエンジンクーラント温度 (装備されている場合) に戻ります。

詳細は、*グリップヒータースイッチ*のセクションを参照してください。



グリップヒーター

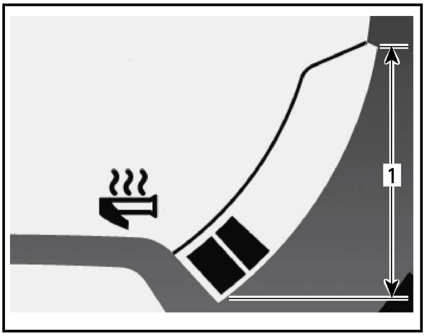
1.　動作範囲

J) スロットルレバーヒーター加熱強度

温度の強弱を示すバーゲージ

スロットルレバーヒータースイッチを起動すると、燃料レベルの表示から温度の強弱を示すバーゲージの表示に切り替わります。強弱には9段階の設定があります。スイッチを放すと、燃料レベルの表示に戻ります。

詳細は*スロットルレバーヒータースイッチ*のセクションを参照してください。



スロットルレバーヒーター

1. 動作範囲

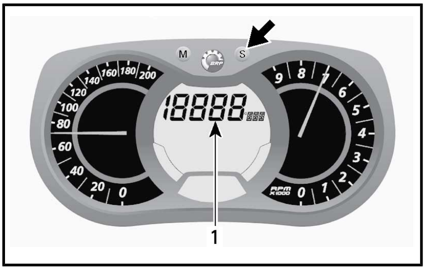
K) 瞬間燃料消費量

走行している最中の車両の平均燃費を計算します。

車両の瞬間燃費を表示するには、下記のように進めます。

表示1を選択するにはモード（M）ボタンを押します。

表示が点滅している間にセット（S）ボタンを押して、瞬間燃費モードを選択します。



1. 瞬間燃費モード

モード（M）ボタンを押して選択内容を確認し、5秒間待ちます。

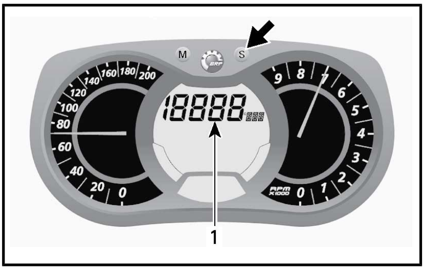
L) 合計燃料消費量

最後のリセット以降の、車両の平均燃費を記録します。

車両の総燃費を表示するには、下記のように進めます。

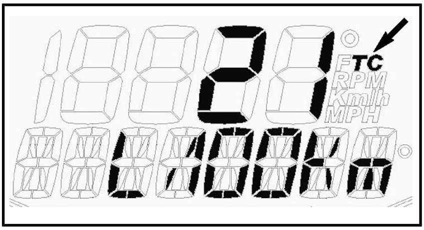
表示を選択するにはモード（M）ボタンを押します。

表示が点滅している間にセット（S）ボタンを押して、総燃費（TC）モードを選択します。



1. 総燃費（TC）モード

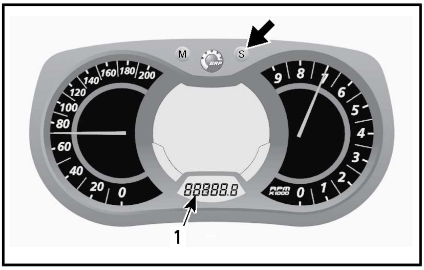
モードが選択されるとTCが表示されます。



代表例

モード（M）ボタンを押して選択内容を確認し、5秒間待ちます。

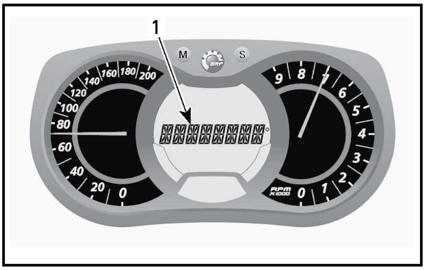
リセットするには、トリップメーターをTRIP Bに設定します。詳細については、*トリップメーター「A」または「B」*を参照します。



1.　　トリップメーター（TRIP B）モード

セット (S) ボタンを押したままにしてリセットします。

M) メッセージ表示



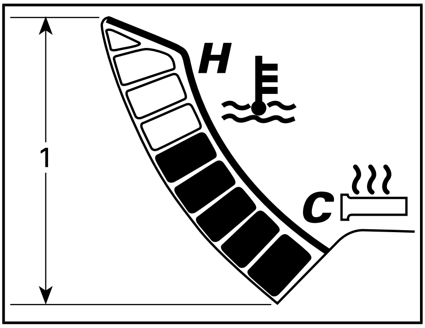
1.　　メッセージ表示

通常のメッセージについては、*このサブセクションのパイロットランプおよびメッセージ*を参照してください。

異常時およびD.E.S.S.に関するメッセージの詳細は、*モニタリングシステム*のセクションを参照してください。

N) クーラント温度

エンジンクーラント温度を常に示すバーゲージ。



クーラント温度

1.　　範囲

O) エアコントロールサスペンション

リアサスペンションエアショックアブソーバー設定ポイントおよび実際の設定を表示します。

P) E-TEC エンジン保管モード

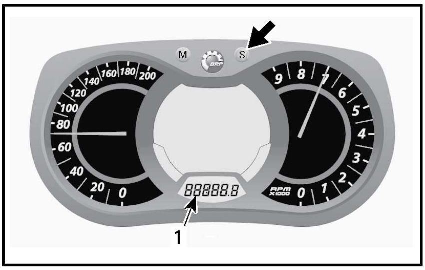
保管モードの手順が始まると、OILが表示されます。

ゲージのセットアップ

時計の設定

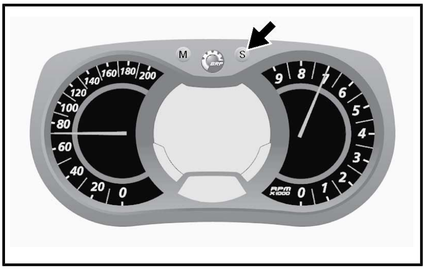
注：時計表示は24時間表示のみとなっています。

セット（S）ボタンを押して、時計モードを選択します。



1.　時計モード

セット (S) ボタンを押したままにして時計の設定を起動します。



「時」を変更するには、「時」が点滅している間にセット（S）ボタンを使用して変更します。

「分」を変更するには、「時」の数字が点滅している間にモード（M）ボタンを押して分に切り替えます。セット（S）ボタンを使用して分を変更します。

モード (M) ボタンを押して時刻の設定内容を保存し、モードを終了します。

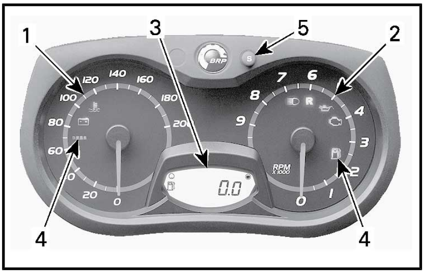
単位の選択（km/hまたはmph）

メートル単位またはヤードポンド単位を設定できます。正規Ski-Dooディーラーにご相談ください。

言語の選択

ゲージ表示の言語は変更することができます。利用できる言語について正規Ski-Doo ディーラーに問い合わせて、好みに合わせてゲージを設定してください。

13) ゲージについて（デジタル表示とアナログ表示）



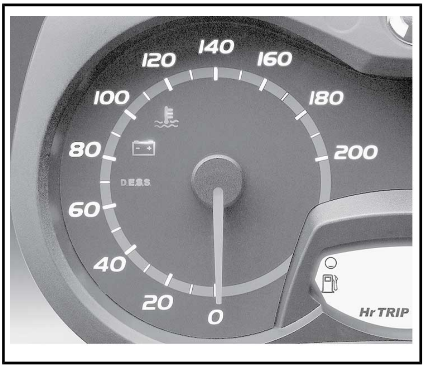
アナログ／デジタルゲージ（標準）

1.　スピードメーター
2.　タコメーター（rpm）
3.　ゲージデジタルディスプレイ
4.　計器類パイロットランプ
5.　ゲージセット「S」ボタン

注： ゲージは工場であらかじめヤードポンド単位に設定されていますが、メートル単位に変更することもできます。単位の設定については、正規Ski-Dooディーラーにお問い合わせください。

1） スピードメーター

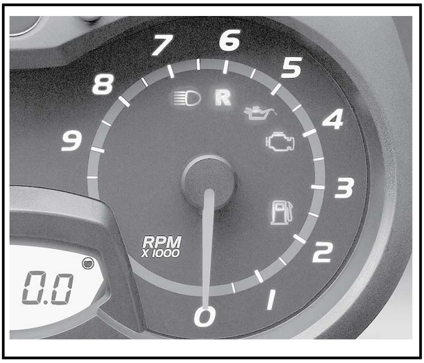
車速を計測します（単位はマイル/hまたはkm/h（設定による））。



ゲージの左側

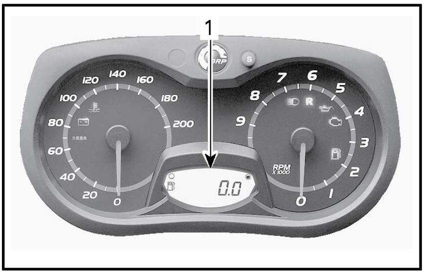
2) タコメーター（rpm）

1分当たりのエンジン回転数（rpm）を計測します。メーター上の数字を1,000 倍した値が実際の回転数です。



ゲージの右側

3)デジタル表示



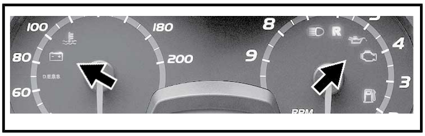
1.　　デジタル表示

> **⚠ 警告**
>
> 車両走行中には、絶対に多機能デジタルゲージの調整や機能設定を行わないでください。

多機能ディスプレイを使用して、次を行えます：

- 電源投入時のウェルカムメッセージの表示(WELCOME)
- キー認識メッセージの表示(KEY)
- オペレーターの選択によるさまざまな表示の提供
- 様々な機能または動作モードの起動または変更
- 機能の起動やシステムの故障に関するスクロールメッセージの表示
- 故障コードの表示。

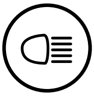
4) パイロットランプおよびメッセージ



代表例 — パイロットランプ

通常のパイロットランプの情報については下の表を参照してください。異常時のパイロットランプの詳細はモニタリングシステムのセクションを参照してください。

パイロットランプオン	ブザー	説明
	5分ごとに4回の短いブザー音	2ストロークエンジンの場合：噴射オイル残量が少なくなっています。安全な場所に車両を止めてから、噴射オイルリザーバーにオイルを補充します。
		4ストロークエンジンの場合：エンジンオイル圧の低下。安全な場所に車両を止めてから、オイルレベルを点検します。適正レベルまで補充してください。オイルレベルが適正だった場合は、使用を中止して、正規Ski-Dooディーラーに相談してください。
	—	燃料残量が少なくなっています。燃料レベル表示がバー1本だけになっています。可能な限りすぐに燃料タンクに燃料を補充してください。

パイロットランプオン	ブザー	説明
	長いブザー音がゆっくり繰り返し鳴る	リバースが選択されています。
	3回の短いブザー音	リバースが作動しませんでした。再試行してください。
	—	ハイビームヘッドライトが選択されています。
ACEのみ		
	—	ECOモードが選択されています。
	—	標準モードが選択されています。
	—	スポーツモードが選択されています。

5) セット（S）ボタン

ゲージ多機能ディスプレイ内の移動、調整またはリセットを行うためのボタンです。

設定を記憶させるには、エンジンを作動させなければなりません。

ゲージの特長

数値表示で使用可能なインジケーター	
機能	**SWT 900 ACE**
A) オドメーター	X
B) トリップメーター「A」または「B」	X
C) 走行時間メーター	X

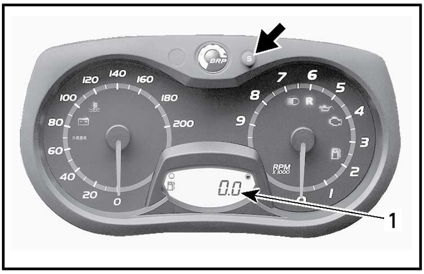
数値表示で使用可能なインジケーター	
機能	**SWT 900 ACE**
D) 燃料レベル	X
X = X は標準機能を示す Opt = オプションとして利用できる機能 N.A. = 利用不可	

インフォメーションセンターに電源を入れたときは、数値表示は前回選択していた表示を示します。

A) オドメーター

総走行距離を記録します。

セット（S）ボタンを押して、オドメーターモードを選択します。

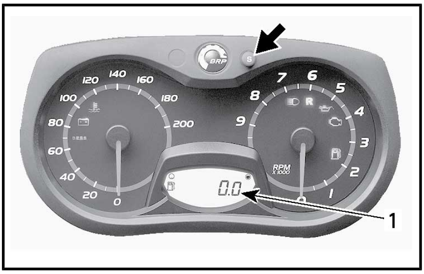


1. オドメーター（km/mi）モード

B) トリップメーター「A」または「B」

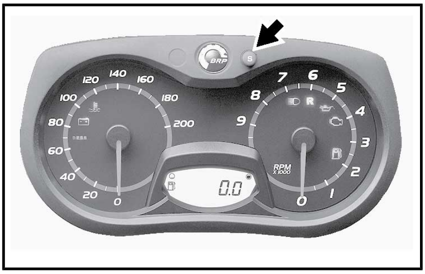
トリップメーターは、リセットされた時点からの走行距離を記録します。

セット（S）ボタンを押してトリップメーター（TRIP A/TRIP B）モードを選択します。



1. トリップメーター（TRIP A/TRIP B）モード

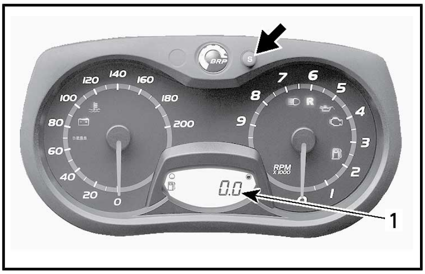
セット (S) ボタンを押したままにしてリセットします。



C) 走行時間メーター

電気システムのリセット以降の、電気システムが動作しているときの車両の走行時間を記録します。

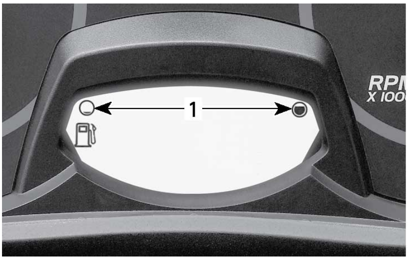
セット（S）ボタンを押して、走行時間メーター（HrTRIP）モードを選択します。



1. 走行時間メーター（HrTRIP）モード

セット (S) ボタンを押したままにしてリセットします。

D) 燃料レベル
棒状のゲージによって、燃料タンク内の残量を常時表示します。



燃料レベル
1. 動作範囲

14) バックレスト（該当する場合）

同乗者シートには固定式バックレストが取り付けられています。

15) 同乗者シート（1+1）（該当する場合）

モデルによっては、標準装備として1+1同乗者シートが取り付けられています。

⚠ 警告

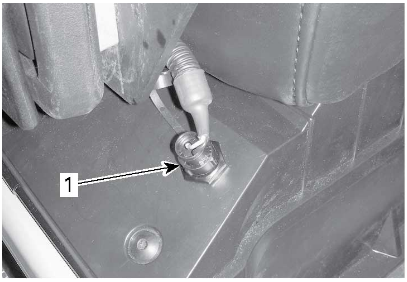
乗車中、同乗者は常に足をフットレストにしっかり置き、手でグリップを掴んでください。上記身体基準を満たすことは、同乗者の身体の安定を確保し、放り出される危険を低減するために重要です。

同乗者シートの取り外し

同乗者シートを取り外すには、以下のようにします。

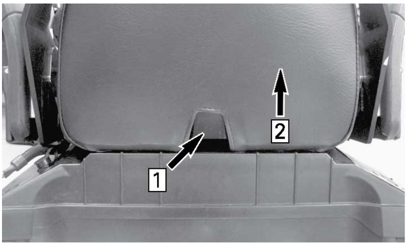
1. プラスチックハウジングを反時計回りに回してアクセサリーコネクターを外します。

注：コネクターは、ストレージボックスの左側にあります。



1. アクセサリーコネクター

2. コネクターにラバープラグを取り付けます。
3. ラッチタブを押し込んで、シート後部を持ち上げます。



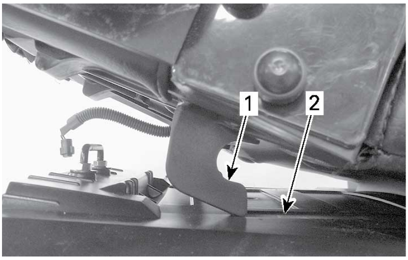
手順 1：タブを押す
手順 2：シート後部を持ち上げる

4. シートを後方にスライドさせ、シートは脇へ置いておきます。

同乗者シートの取り付け

同乗者シートを取り付けるには、以下のようにします。

1. 同乗者シートを前方に向けて、ストレージボックスの蓋の上に置きます。
2. 同乗者シートを少し前方に傾けて、シートフックを両方ともストレージボックスの蓋にあるスロットに掛けます。



1.　シートフック
2.　スロット穴

3. 同乗者シートを運転者シートの方に向けて押し、後部をしっかり押し下げて、同乗者シートを所定位置にロックします。

注： このとき、カチッという感覚がはっきりと感じられます。強く引いてラッチがかかっていることを確かめて、シートが固定されていることを再度確認してください。

⚠ 警告

走行前にシートがしっかり固定されていることを確認します。

4. アクセサリーコネクターを接続します。

16) 同乗者用グリップ（該当する場合）

グリップは、3つの異なる位置に設定することができます。

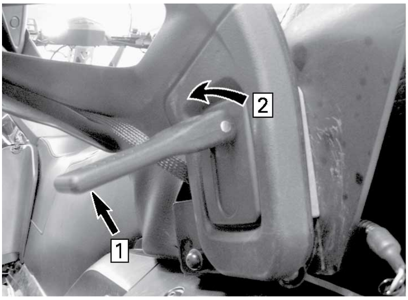
低

高

指示

グリップを目的の位置に設定するには、以下のようにします。

1. ノブを引き、グリップが自由に動かせるようになるまで何回か回して緩めます。



手順 1：引く
手順 2：緩む

2. 右側のバックレストブラケットにあるデカールを参照し、グリップを目的の位置に動かします。

注： デカールは、*このガイドの重要な製品貼付ラベル*の項にも示されています。

3. 適切な強さでノブを締め付けます。
4. ノブを下げてグリップを所定の位置に固定します。

17) マウンテンストラップ

マウンテンストラップは、斜面横断時にオペレーターがつかめる場所となります。

代表例

1. マウンテンストラップ

> **⚠ 警告**
>
> このマウンテンストラップは、けん引、持ち上げなど、低速走行での荷重移動・テコ入れ以外の用途では使用しないでください。

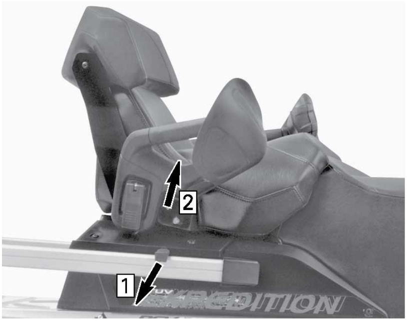
18) ストレージコンパートメント

ストレージコンパートメントは運転席の後ろにあります。

ウィンチ（Expedition SE）は、このコンパートメントに収納されています。

> **⚠ 警告**
>
> ストレージコンパートメントは正しく固定されていなければなりません。また、重量物や壊れやすい物を保管しないでください。

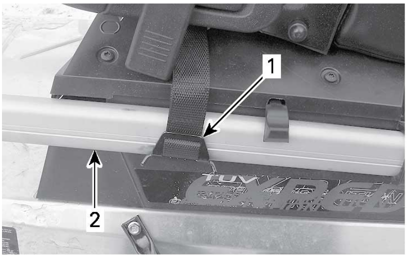
リッドを開けるには、ラバータブを横に引いたままにして、リッドまたは同乗者シート（取り付けられている場合）の右側を持ち上げます。



手順 1：ラバータブを引く
手順 2：右側を持ち上げる

リッドを閉じるときは、リッドが固定されるまで下に押します。

同乗者シートが取り付けられている場合には、リテーニングストラップを示されているようにリアバンパーに掛けます。



1. リテーニングストラップ
2. リアバンパー

⚠注意 同乗者シートが取り付けられた状態でリッドを閉じるときは、リテーニングストラップで固定してください。

19) リアラック

リアラックは、携行品（荷物）、燃料容器、ストレージボックスなどを収納することができます。

> **⚠ 警告**
>
> リアラックに乗せる物はすべて正しく固定する必要があります。壊れる可能性のある物は載せないでください。過度に重い物をリアラックに載せると操作性を損なう可能性があります。

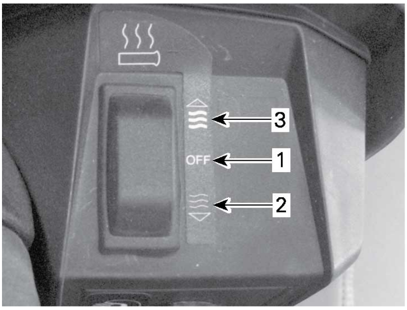
警告

積載重量に合わせて必ずサスペンションを調整してください。このラックの最大積載量は30 kg（66 lb）です。積載中には、低速で走行してください。スピードバンプは避けてください。

20) 同乗者用グリップヒータースイッチ（該当する場合）

スイッチは左側の同乗者グリップにあります。

ヒーターの強さの調整法は以下のとおりです。

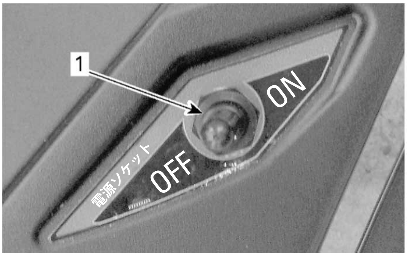


1. Off
2. 暖かい
3. 熱い

21) 12 Vの電源ソケット

すべてのモデルに12ボルト電源ソケットが前方のステアリングコラム近くに設けられています。

Expedition™ SEモデル（900 ACEまたは1200 4-TEC）には、追加の12ボルト電源ソケットがストレージコンパートメントに設けられています。リアの電源ソケットは、ステアリングコラム付近に設置されているスイッチでON/OFFできます。



EXPEDITION SE

1. *リア12ボルト電源スイッチ*

この電源ソケットには12 Vの電気製品を接続することができます。

22) ヒッチ

けん引物をけん引するには、けん引バーとともにヒッチを使用してください。

けん引物をヒッチに取り付けるときは、必ずメーカーの推奨事項を参照してください。

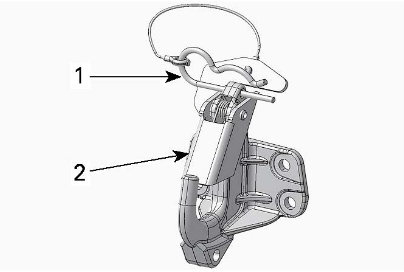
注：許容重量を調べるには、車両のデカールを参照してください。

警告

絶対にロープでけん引物をけん引しないでください。剛体の高いけん引バーを必ず使用してください。ロープを使用すると、けん引物とスノーモービルが衝突する恐れがあります。急減速時や下り斜面では転倒する可能性があります。

Jタイプヒッチ（ヨーロッパモデル）

けん引物の取り付け



1. ヘアピンクリップ
2. 安全タブ

1. ヘアピンクリップを取り外します。
2. けん引物側のアタッチメント穴をヒッチフックに合わせます。
3. けん引物を押して、安全タブがアタッチメント穴に通るようにします。
4. ヘアピンクリップを使用して安全タブを固定します。

けん引物の切り離し

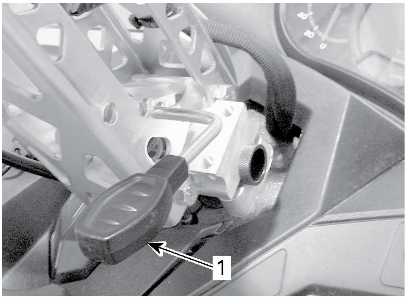
1. ヘアピンクリップを取り外します。
2. 安全タブを前方に押して、けん引物側のアタッチメントがヒッチから自由に動くようにします。
3. けん引物側のアタッチメントを離します。
4. ヘアピンクリップを取り付けます。

23) チルトステアリング

Expedition SEモデル

Expedition　SEモデルでは、ハンドルバーの高さを調整できます。調整するには、以下のようにします。

1. ロックレバーを引き上げます。



1. チルトステアリングロックレバー

2. ハンドルバーを所定の位置まで動かして、ロックレバーを放します。

注：他のモデルについては、ステアリングを所定の固定位置に設定することができます。Ski-Doo認定ディーラーにお問い合わせください。

24) ウィンチ（Expedition SEモデル）

このモデルにはウィンチが付属しており、フロントまたはリアに一時的に取り付けることができます。

ウィンチの収納

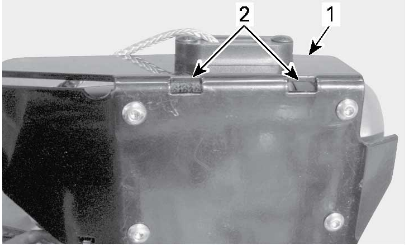
ウィンチは、リアストレージコンパートメントに収納されています。

ストレージコンパートメントからウィンチを取り外すには、上記の*ストレージコンパートメント*を参照してストレージコンパートメントを開き、ウィンチを引き出します。

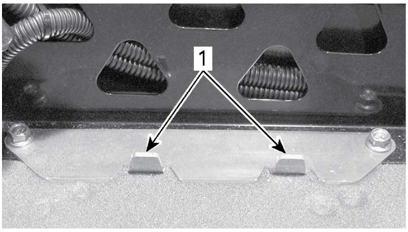
ウィンチをストレージコンパートメントに収納するのは、以下のようにします。

1. ストレージコンパートメントの蓋は、*ストレージコンパートメント*の説明に従って開きます。
2. ウィンチマウンティングプレートをストレージコンパートメントの底の左側にあるタブに取り付けます。

注記 ケーブルおよび電気配線がウィンチとストレージコンパートメントの底との間に挟まれないようにします。



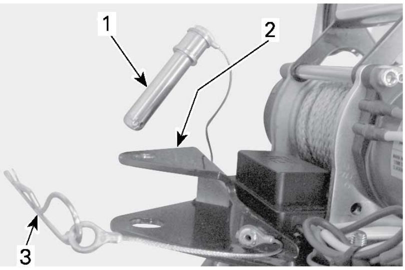
1. マウンティングプレート
2. スロット



ストレージコンパートメントの内側
1. タブ

3. ストレージコンパートメントの蓋を確実に閉じます。

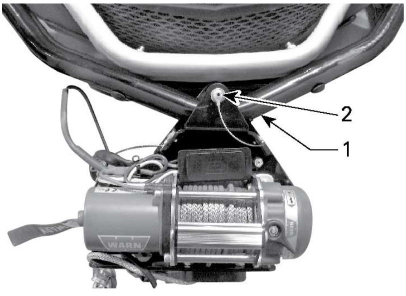
車両へのウィンチの取り付け



1. ピン
2. 取り付けプレート
3. ヘアピンクリップ

フロントへのウィンチの取り付け

1. バンパーが上下のウィンチマウンテングプレートの間にくるようにします。
2. ピンをバンパーバーの裏側にあるマウンティングプレートホールに通します。



フロントへの取り付け
1. フロントバンパー
2. ピン

3. ヘアピンクリップを使用してピンを固定します。

⚠ 警告

ヘアピンクリップでピンをしっかりと固定せずにウィンチを操作してはなりません。

リアへのウィンチの取り付け

欧州モデルを除く

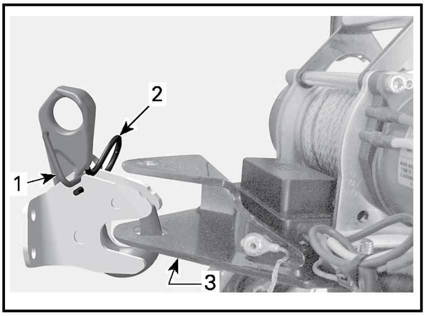
1. 上下のマウンティングプレートの間にヒッチタブがくるようにします。
2. ウィンチマウンティングプレートの穴とヒッチタブの穴にピンを通します。
3. ヘアピンクリップを使用してピンを固定します。

⚠ 警告

ピンをしっかりと固定せずにウィンチを操作してはなりません。

欧州モデル

ヒッチに下側のウィンチマウンティングプレートを取り付けます。取り付け手順については、このサブセクションの*ヒッチ*を参照してください。



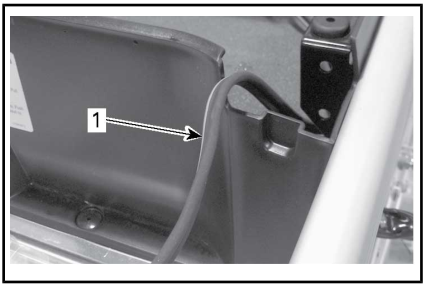
1.　ロック機構
2.　下側のウィンチマウンティングプレート
3.　ヘアピンクリップ

警告

ヒッチフックをしっかりと固定せずにウィンチを操作してはなりません。

ウィンチの電気配線

1. 車両の電気配線は、ストレージコンパートメントのリア右側のくぼみに通します。



ストレージコンパートメントの後方

1.　車両の電気配線

2. ウィンチと車両の電気配線を接続します。

警告

メーカーのマニュアル（*取り付けガイドとウィンチ方法の基本ガイド*）がスノーモービルには付属しているので、これを参照してください。必ずマニュアルの安全に関する説明に従って、安全手順を遵守します。

ウィンチの操作

ウィンチメーカーによるマニュアルを参照してください。

注： ウィンチを長時間にわたり何度も使用すると、バッテリーを消耗する場合があります。

下記のヒントは、バッテリーが消耗するリスクを抑えるのに役立ちます。

必ず手動で巻き出してください。ハンドルを使用してケーブルのロックを解除し、フックストラップを引いて巻き出します。

巻き上げ中は、車両を作動させたままにするよう推奨します。バッテリーを充電するため、巻き上げ直後は車両を停止しないでください。

また、30秒以上巻き上げを行うときは、エンジン回転数を3,000 rpmの範囲まで上げてバッテリーの充電電圧を高めるよう推奨します。

注： 車両をニュートラル（N）にしてからエンジン回転数を上げてください。

ウィンチの適切な操作については、付属のウィンチ*ガイド*を参照してください。

警告

必ず、ウィンチメーカーのマニュアルにある安全に関する説明に従って、安全手順を遵守します。

25) ストレージボックス（Expedition SEモデル）

ストレージボックスの開閉

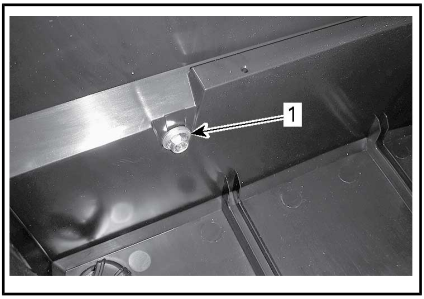
ストレージボックスの蓋を開くには、ラバー固定具を両方とも外してから、蓋を上げて開きます。

1. ラバー固定具

閉じるには、蓋を押し下げて蓋のピンがボックスグロメットに挿入します。ラバー固定具を取り付けます。

ストレージボックスの取り外し/取り付け

ストレージボックスを取り外すには、蓋を開けてストレージボックスを固定している4本のスクリューを取り外します。スクリューは取り付け時のために保管しておきます。



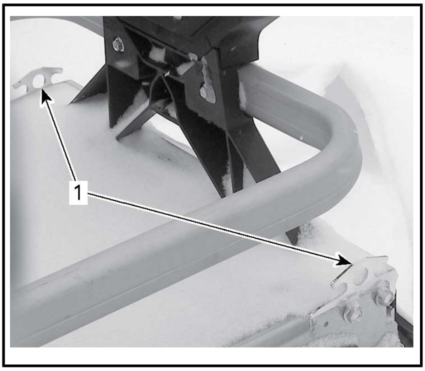
ストレージボックス内側

1. 取り付けスクリュー

ストレージボックスを取り付ける際には、トンネル面がきれいであることを確認します。ストレージボックスをリアラックレール内に配置します。

4本のスクリューを使って取り付けます。締め付けます。10 N•m ± 1 N•m。

26) アンカーポイント



車両後部

1. アンカーポイント

リアラックには、荷物を固定するためのアンカーポイントが2ヶ所あります。

注記 リアラックの最大許容荷重を超えてはなりません。最大荷重は30 kg（66 lb）です。

27) ドライブベルトガード

ドライブベルトガードの取り外し

⚠ 警告

以下の場合は、絶対にエンジンを作動させないでください。

- シールドとベルトガードがしっかり取り付けられていない。
- フードやサイドパネルが開いている、または取り外されている。

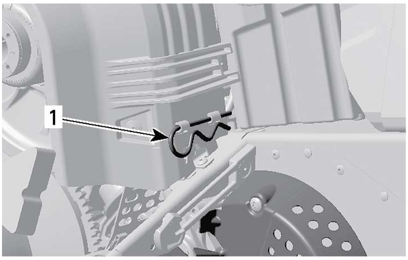
エンジンが動作している間は、決して可動部分の調整をしないでください。

注：ドライブベルトガードは、意図的にわずかに大きく製作することでピンとリテーナーの張力を維持し、過度の騒音と振動を防止しています。再び取り付けるときは、この張力を維持することが重要です。

テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き抜きます。

*コントローラー類、計器類および装置*を参照して、エンジンコンパートメントの左側サイドパネルを開きます。

リテーニングピンを取り外します。



代表例

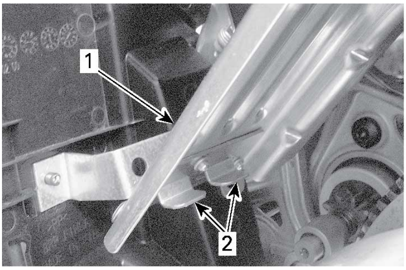
1.　取り付けピン

ドライブベルトガードの後ろ側を持ち上げてから、前方のタブから外します。

ドライブベルトガードの取り付け

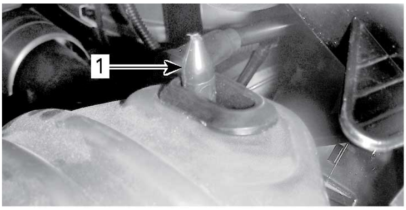
ドライブベルトガードを再設置する際、ガードの断面をスノーモービルの全部に位置付ける。

ベルトガードの前方の開口部がタブの上にくるように配置します。



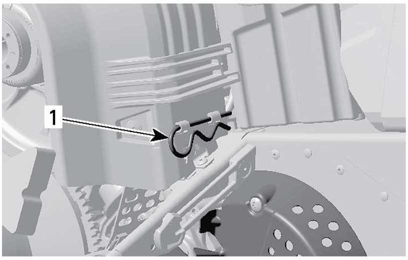
1.　ベルトガード
2.　タブ

グロメットをリテーニングロッドに取り付けます。



1.　リテーニングロッド

ベルトガードの後部をリテーナーの上にセットし、リテーニングピンを使用してガードを固定します。



1.　取り付けピン

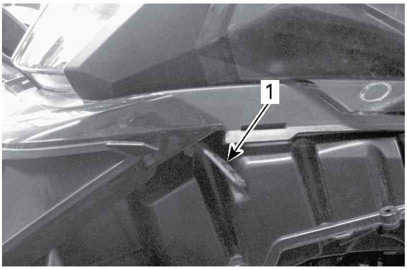
28) フード

⚠ 警告

車両からフードが外された状態では、絶対にエンジンを動作しないでください。

フードの取り外し

1. 下記のように上部サイドパネルを取り外します。
2. 両側のラバー固定具を外します。

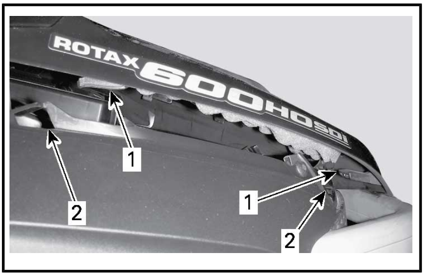


1.　ラバー固定具

3. フードを前方にスライドさせて、タブをスロット穴から外します。

フードの取り付け

1. フード前方および中央にあるタブを下部のパンスロット穴に掛けます。



代表例

1. タブ
2. スロット

2. フードをヘッドライトの方に向けて止まるまでスライドさせます。
3. ラバー固定具を掛けます。

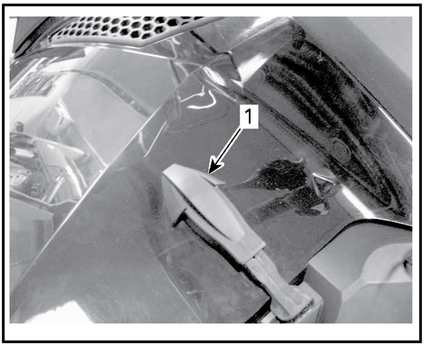
29) 上部サイドパネル

⚠ 警告

サイドパネルを開いたまま、または車両から取り外したまま、決してエンジンを動作させないでください。

上部サイドパネルの取り外し

1. ラバー固定具を外します。

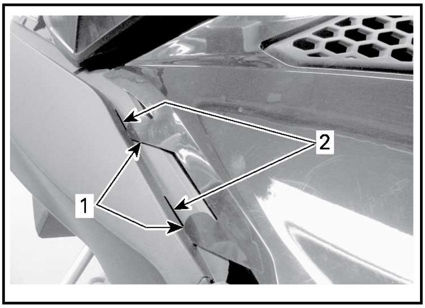


1. ラバー固定具

2. パネル後部を持ち上げて、コンソールからプラスチック製のタブを外します。
3. パネルを後方にスライドさせます。

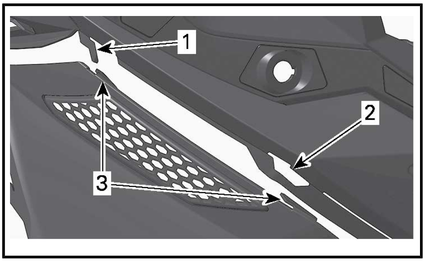
上部サイドパネルの取り付け

1. パネル下側のタブを下部のパンスロット穴に挿入します。



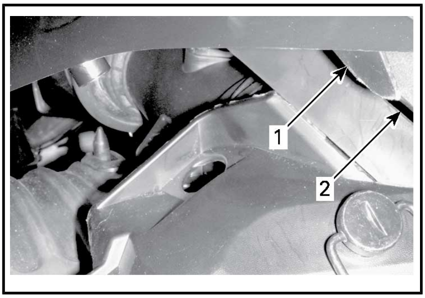
1. パネル下側のタブ
2. 下部のパンスロット穴

2. パネル中央上側のタブをコンソールに掛けます。



1. コンソールのフック
2. コンソールのスロット穴
3. パネル中央のタブ

3. 後方のタブをコンソールのスロット穴に挿入します。



1. 後方のタブ
2. コンソールのスロット穴

4. ラバー固定具を掛けます。

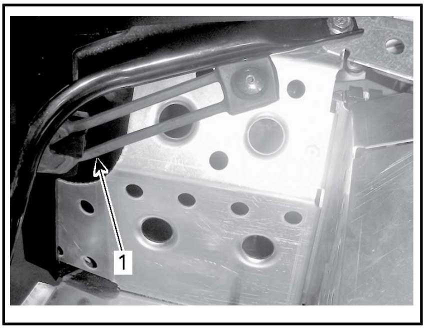
30) 下部サイドパネル

⚠ 警告

サイドパネルを開いたまま、または車両から取り外したまま、決してエンジンを動作させないでください。

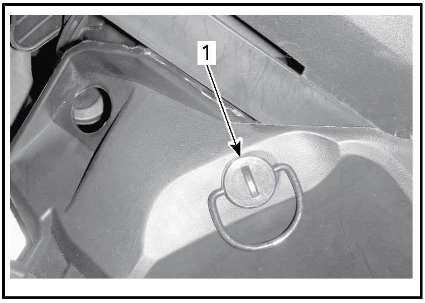
下側サイドパネルを開く

1. 上述のように上部サイドパネルを取り外します。
2. ラバー固定具を外します。



1.　ラバー固定具

3. クリップを反時計方向に1/4回転回してロックを解除します。

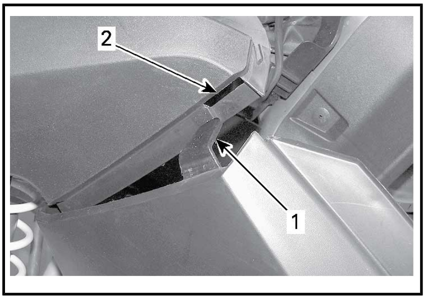


1.　クリップ

4. サイドパネルの後部をすこし持ち上げ、横に開きます。

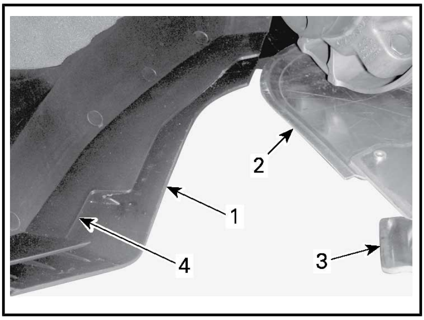
下側サイドパネルを閉じる

1. パネルタブを下部のパンスロット穴に挿入します。



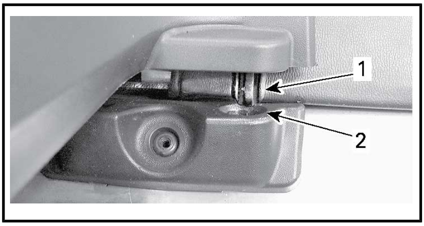
1.　下部サイドパネル
2.　下部のパンスロット

2. サイドパネルの下部をアルミシャーシおよびアルミタブの上からパネルスロットに挿入します。



1.　下部
2.　アルミシャーシ
3.　アルミタブ
4.　パネルスロット

3. パネルダウエルをトンネル穴に挿入します。



1.　ダウエル
2.　トンネル穴

4. ラバー固定具を掛けます。
5. クリップを時計方向に1/4回転回してロックします。

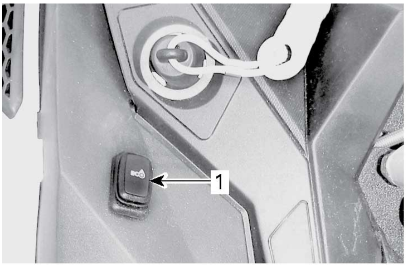
下部サイドパネルの取り外し/取り付け

1. 上述のように下部サイドパネルを取り外します。
2. サイドパネルの前側を持ち上げ、スロットから下側ヒンジを外します。
3. パネルを下げて上側ヒンジを外します。

取付け手順を逆の順番で行います。

31) ECO/標準/スポーツモードスイッチ（900 ACEおよび1200 4-TEC）

モードスイッチは、燃料タンクの左側にあります。



代表例 - 燃料タンクの左側

1.　　モード切り替え

モードスイッチは、ECO/標準/スポーツモードを作動/停止するのに使用します。

詳細は、*動作モード*のサブセクションを参照してください。

燃料およびオイル

燃料に関する要件

注記 必ず新しいガソリンを使用してください。ガソリンは酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の喪失、およびガム質やワニスの蓄積が起こり、燃料システムを損傷することがあります。

アルコール燃料の混合は、国および地域によって異なります。車両は、推奨燃料を使用して動作するように設計されていますが、次のことに注意してください。

- 国の規制によって定められた割合を超えるアルコールを含んだ燃料の使用は、推奨されていません。使用した場合、燃料システムコンポーネントに次のような問題が発生することがあります。
  - 始動および操作時の困難。
  - ゴムまたはプラスチック部品の劣化。
  - 金属部品の腐食。
  - エンジンの内部部品の損傷。
- ガソリンのアルコール含有量が国の規制を超えていると疑われる場合は、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか頻繁に点検してください。
- アルコールを混ぜた燃料は水分を引き寄せて保持するため、燃料の相分離が生じ、エンジン性能の問題やエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

推奨燃料

10%以下のエタノールを含む無鉛ガソリンを使用してください。ガソリンは次の最低オクタン値を満たす必要があります：

燃料の種類	エンジン	最低オクタン価
エタノールを含まない燃料	1200 4-TEC 900 ACE	87 AKI (RON+MON)/2 92 RON
	600 HO E-TEC 800R E-TEC	91 AKI (RON+MON)/2 95 RON
10%以下のエタノールを含む可能性のある燃料	600 HO E-TEC 800R E-TEC 1200 4-TEC 900 ACE	91 AKI (RON+MON)/2 95 RON E10

注記 他の燃料を試さないでください。不適切な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を引き起こす場合があります。

注記 E85のラベルがある燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

E15のラベルの燃料の使用は、U.S.EPA（米国環境保護庁）の規制により禁止されています。

燃料不凍添加剤

含酸素燃料を使用する場合、燃料ラインに不凍液や水分吸収液を追加する必要はありません。非オキシジェネート燃料を使用する場合、イソプロピル系のガソリンライン不凍液は、ガソリン40 Lに対して150 mlの割合で添加して使用できます。

この予防措置は、キャブレターや燃料システムコンポーネントに霜が付着し、条件によってはエンジンに重大な損傷を与えかねない危険性を減らすためのものです。

注：メチルハイドレートを含有していないガソリンライン不凍液だけを使用してください。

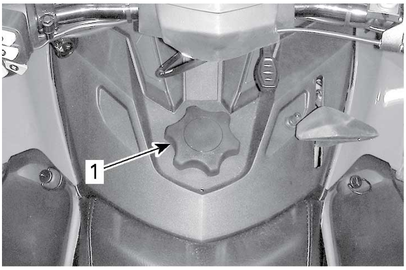
給油の手順

フューエルキャップを外して給油し、その後はフューエルキャップをしっかり締め付けます。

⚠ 警告

- 給油前に必ずエンジンを停止してください。キャップをゆっくりと開きます。
- 差圧が感じられた（燃料タンクキャップを緩めるときに笛のような音が聞こえた）場合、作業を続ける前に車両を点検または修理してください。
- 燃料は、一定の条件下で可燃性および爆発性を持ちます。
- 裸火を明かりにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。
- 絶対に近くでタバコを吸ったり、炎や火花を発生させたりしないでください。
- 換気のよい場所で作業してください。
- 車両を温かい場所に停車する前に、絶対に燃料タンクに補充しないでください。温度上昇につれて、燃料が膨張し流出する可能性があります。
- 車両からこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

注： フューエルキャップが正しく取り付けられていない場合、シートに座ったり、寄りかかったりしないでください。



1. 燃料タンクキャップ

推奨オイル

600 HOE-TECおよび800R E-TEC

エンジン	推奨噴射オイル
600 HO E-TEC 800R E-TEC	北欧諸国：2T E-TEC合成オイル (EUR) (619590106) (P/N 779281) その他のすべての国： 2T E-TEC合成オイル（293600132） (P/N 779126)

注記 本スノーモービルのエンジンは、推奨BRP XPS™オイルを使用して開発および検証が行われています。BRPでは、エンジン動作特性に対応するよう特別に配合された当社の推奨XPSオイルを使用するよう推奨しています。または、下記の潤滑油業界の仕様に適合するスノーモービル用の2ストロークオイルを使用してください：1) JASO FD (M345-2004) および 2) SAE Grade 4 (F/M 4)。これらの規格は最低限ですが、動作に全く支障がないことを保証するものではありません。このオイル噴射型2ストロークエンジンに適していないオイルの使用によって起こる損害は、BRPの保証の対象にならない可能性があります。

1200 4-TECおよび900 ACE

エンジン	推奨エンジンオイル
1200 4-TEC 900 ACE	北欧諸国：4T 0W40合成オイル (EUR) (619590114) (P/N 779286) その他のすべての国：4T 0W40合成オイル（293600112） (P/N 779139)

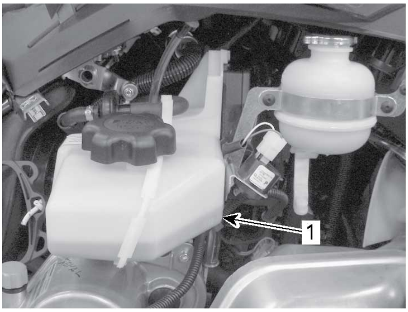
注記 本スノーモービルのエンジンは、BRP XSオイルを使用して開発および検証が行われています。™BRPでは、このXPSオイルまたは同等品を使用することを推奨します。この4ストロークエンジンに適していないオイルの使用によって起こる損害は、BRPの保証の対象にならない可能性があります。

推奨オイルが入手できない場合は、API サービス等級SMの要件を満たすまたは超えるSAE 0W-40合成ベースオイルを使用してください。

噴射オイルレベル確認

噴射オイルリザーバーは右側パネルの背後にあります。オープニング手順の*コントローラー類*、*計器類および装置*をご覧ください。

必ず噴射オイルリザーバー内に十分な量の推奨噴射オイルがあるようにしてください。



代表例

1.　オイルリザーバー

注記 レベルを確認し、燃料を補給するたびにオイルを補充してください。

噴射オイルの補充

噴射オイルリザーバーキャップを取り外します。

噴射オイルを補充します。

キャップを取り付けて最後までしっかりと締めてください。

注： 入れ過ぎないでください。リザーバーフィラーネックの最大量を示す部分を超えないようにしてください。

注記 オイルリザーバーキャップと燃料タンクキャップを間違えないでください。

⚠ 警告

こぼれたオイルを拭き取ります。熱せられている場合、オイルの引火性が高くなります。

慣らし期間

慣らし運転中の運転

この車両には、10 時間または500 km の慣らし運転期間が必要です。

慣らし運転期間後は、正規Ski-Doo ディーラー、修理工場、ご自分で選んだ人による点検を受けてください。メンテナンスのセクションを参照してください。

エンジン

慣らし運転期間中は：

- 長時間のフルスロットル走行は避けてください。
- 加速を維持し続けるのは避けてください。
- 巡航速度での長時間の運転は避けてください。
- エンジンのオーバーヒートを避けてください。

ただし、短い加速や速度の変動は、慣らし運転の質を向上させます。

慣らし運転期間の最初の数時間は、エンジンエンジンマネジメントシステムがエンジンの一部のパラメータを制御するため、エンジン性能が若干低下します。

E-TECモデル

あらかじめ設定された時間、エンジンマネジメントシステムはエンジンのパラメータの一部を制御します。

持続時間は燃料の残量に基づきます。慣らし運転を完了するまでに、燃料が燃料タンク2杯分ほど必要です。

この期間中：

- エンジンの性能と挙動は最適ではありません。
- 燃料とオイルは最適時より多く消費されます。

ドライブベルト

新品のドライブベルトは、50 kmの慣らし運転を必要とします。

慣らし運転期間中は：

- 激しい加速や減速は避けてください。
- 貨物のけん引は避けてください。
- 高速での巡航は避けてください。

運転モード（900 ACEおよび1200 4-TEC）

⚠ 警告

動作モードを変更する際には、必ず航行中の状況を把握してください。

ECOモード（燃料節約モード）

ECOモード(燃費重視モード)が選択されている場合、車両のトルクとスピードは、燃料消費を抑えるのに必要な適切巡行スピードを維持するために制限されます。

ECOモードは起動後、オペレーターにより解除されるまで動作を続けます。

標準モード

マルチ機能ゲージにおいて、標準モードインジケーターをONと点灯することで、標準モードが現在の走行モードであることを確認します。

スポーツモード

⚠ 警告

スポーツモードを起動する前に、まず同乗者に、しっかり手すりを握る様に注意してください。スポーツモードは、加速性能を強化します。

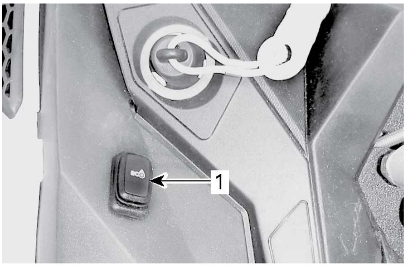
スポーツモードが選択されている際、スロットル反応と加速は標準またはECOモードに比べて早く起こります。

スポーツモードは起動後、オペレーターにより解除されるまで動作を続けます。

走行モードのナビゲート

ECO／標準／スポーツモードスイッチを使い、パワーレベルをECO(パワー制限)、標準そしてスポーツ(レスポンス向上)から選択してください。

出力を向上するには、スイッチを上に向けて押す。出力を下げるには、スイッチを下に向けて押す。



代表例 - 燃料タンクの左側

1.　モード切り替え

スポーツモードから標準モードを起動するには、スイッチの下側を一度押す。

スポーツモードからECOモードを起動するには、スイッチの下側を二度押す。

標準モードからECOモードを起動するには、スイッチの下側を一度押す。

⚠ 警告

スポーツモードを起動する前に、まず同乗者に、しっかり手すりを握る様に注意してください。スポーツモードは、加速性能を強化します。

標準モードからスポーツモードを起動するには、スイッチの上側を一度押す。

ECOモードからスポーツモードを起動するには、スイッチの上側を二度押す。

ECOモードから標準モードを起動するには、スイッチの上側を一度押す。

⚠ 警告

モードを切り替える際、他のスノーモービル、障害物または人間の状況認識を維持することを忘れないでください。

ラーニングキーモード

ラーニングキーは、エンジンのトルクとスピードが制限されている走行モードを提供する。

注：ラーニングキーの初期設定では、速度を40 km/hまたは70 km/hに制限できます。この設定を変更するには、

あなたの正規Ski-Dooディーラーまでお問い合わせください。

ラーニングキーモードには、3レベルが存在します。

ラーニングキーの設定の変更

ラーニングキーの設定を変更するには、以下を実行します。

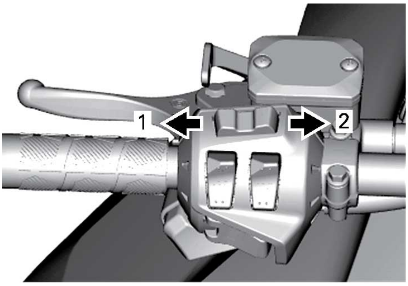
1. スタート／電子リバースボタンを押して、電機システムを起動し、通常キーをエンジンカットオフスイッチに取り付ける。
2. インフォメーションセンターがセルフテスト機能を完了し、キー認識メッセージを表示するまで待ちます。

アナログ/デジタルゲージ

3. インフォメーションセンターのデジタル画面にLEArnが表示されるまで、SETボタンを押します。

多機能アナログ/デジタルゲージ

4. MODEボタンを1回押し、ゲージのデジタルセンターにLEARNが表示されるまでSETボタンを押します。

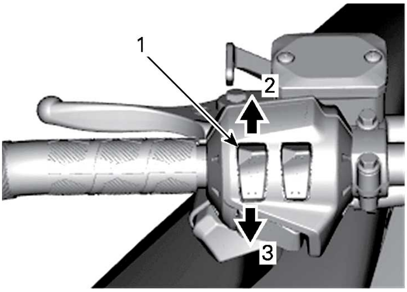


多機能ゲージ

1. モード機能
2. セット機能

全モデル

5. グリップヒータースイッチを使い、設定を1から3にセットします。



代表例

1. グリップヒータースイッチ
2. 上げる
3. 下げる

注： セッティング1は最もトルクが低く、セッティング3は、ラーニングキーモードにおいて最大のトルクを提供します。

6. 数秒経過後にセッティングは自動的に確認され、セーブされます。

注： キースピード設定は、特定のスノーモービルで使われる同種のキー全てに適用されます。同じキーは複数のスノーモービルで使うことができ、その設定はスノーモービル毎に異なることもあります。

注：車両性能は走行環境に左右されます。

操作説明

エンジン始動手順

手順

1. パーキングブレーキをかけます。
2. スロットルレバーの動作を再確認します。
3. ヘルメットを着用します。
4. テザーコードキャップがエンジンカットオフスイッチに取り付けられていることと、コードが衣服のハトメに取り付けられていることを確認します。
5. 緊急エンジン停止スイッチがON位置 (アップ) にあることを確認します。
6. スタートボタンを押して電動スターターを作動して、エンジンを始動します。エンジンが始動したら、すぐにボタンを放します。

⚠ 警告

エンジン始動中に、決してスロットルを引き絞らないでください。

注記 電動スターターを一度に10秒以上押さないでください。電動スターターを冷ますために、次の始動サイクルまでは30秒以上の中断時間を取ってください。

7. パーキングブレーキを解除します。

注：最初の低温始動時、パーキングブレーキを解除しないでください。以下に説明するように、 *暖機手順* を実行します。

緊急始動

1200 4-TECおよび900 ACEモデル

緊急始動手続を試みないでください。バッテリーを再充電するまたは取り換える。

注：緊急手動エンジン始動は、ACEおよび1200 4-TECモデルには装備されていません。

E-TECモデル

スターターが動作しない場合には、*エンジン始動手順*に示す手順に従って、以下のように非常コードでエンジンを始動します。

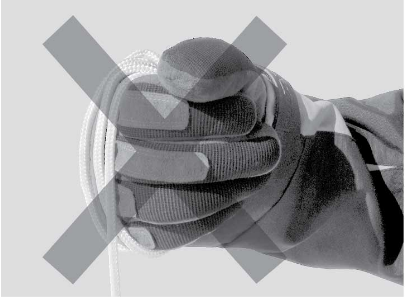
非常用始動ロープを使用しての始動

エンジンは、車載工具に付属の非常用始動ロープを使用して始動できます。次の手順に従ってください：

1. ベルトガードを取り外します。

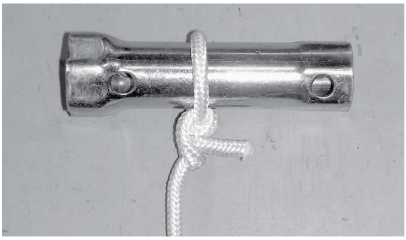
⚠ 警告

始動ロープをあなたの手に巻かないでください。ハンドルだけでロープを保持してください。やむを得ない緊急事態である場合を除き、ドライブプーリーでスノーモービルを始動しようとしないでください。スノーモービルを可能な限り早く修理してください。



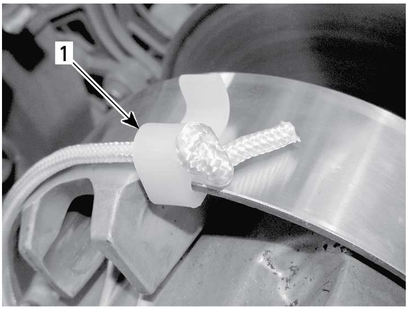
2. 非常用ロープの一方の端を巻き込みハンドルに取り付けてください。

注：スパークプラグソケットは、緊急ハンドルとして使用できます。



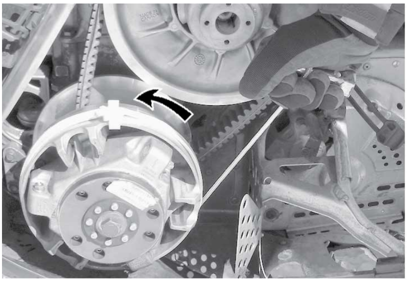
3. 非常用ロープのもう一方の端を、車載工具に付属のスタータークリップに取り付けます。

4. クリップをドライブプーリーに掛けます。



1. クリップ取り付け位置

5. ドライブプーリーの周りにロープをきつく巻きます。引っ張ったときに、プーリーが反時計方向に回らなければなりません。



6. ロープがドライブプーリーから離れるように、ロープを鋭くぐいっと引っ張ります。

警告

緊急事態でドライブプーリーを使用してスノーモービルを始動する場合、ベルトガードを再取り付けせず、ゆっくり戻して、スノーモービルを修理してください。

車両暖機

毎回走行する前に、以下のように車両を暖機してください：

1. 上記の *エンジン始動手順*で説明したように、エンジンを始動します。
2. エンジンをアイドリング回転数で1～2分暖機します。

注：エンジンを10分以上アイドリングさせることはお勧めしません。

3. パーキングブレーキを解除します。
4. ドライブプーリーが噛み合うまで、スロットルを作動させます。最初の2～3分間は、低速で走行します。

注記 スロットルを作動させても車両が動かない場合、エンジンを停止し、テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き抜いてから、以下のことをします。

- スキーが地面に固着していないか点検します。ハンドルを持って一度に一方のスキーだけを持ち上げてから、元に戻します。
- トラックが地面に固着していないか点検します。スノーモービルの後部を持ち上げて、トラックが地面から離してから、降ろします。
- リアサスペンションを調べて、固い雪や氷の堆積がトラックの回転を妨害していないか確認します。その周辺を清掃します。

注意 適切な方法で持ち上げてください。特に脚力を利用してください。自分の限界を超えると考えられる場合は、車両の後部を持ち上げようとしないでください。

警告

テザーコードキャップが引き抜かれていることを確認してから、車両の前に立ち、トラックまたはリアサスペンションコンポーネントに近づきます。

注： E-TECモデルでは、暖機は電子制御されています。この間 (外気温によるが最長10分間)、エンジン回転数が制限されます。

ギヤボックスの操作

注記

- 貨物を引くときは、必ずギヤボックスを1速ギヤにしてください。
- 駐車時は、必ずギヤボックスをニュートラル（N）にしてください。
- ギヤをリバースにしたり、リバースから他のギヤに戻すときは、完全に停止してブレーキをかけたままにしてください。リバースのアラーム音が鳴るまで待ってからスロットルを操作します。

ニュートラル

ニュートラルにすると、ギヤボックスはプーリーをトラックから解除します。

リバースへのシフト

リバースギヤを動作するには、次の手順に従ってください：

1. 車両を完全に停止させます。
2. ブレーキをかけ続けます。
3. エンジンがアイドリング回転数で作動しているときに、ギヤシフトレバーでリバース（R）を選択します。

注：ニュートラルからリバースギヤに動かすには、ギヤシフトレバーを押し下げる必要があります。

4. スロットルレバーを徐々に作動させます。

⚠ 警告

リバース回転数は制限されません。高速で後退すると車両の制御が失われる恐れがありますので、常に注意して進んでください。必ずシートに座った状態を維持してください。走行する前に、車両の背後の通り道に障害物がなく、人がいないことを確認してください。

前進へのシフト

前進ギヤは2つあります。

前進ギヤを動作するには、次の手順に従ってください：

1. 車両を完全に停止させます。
2. ブレーキをかけ続けます。
3. エンジンがアイドリング回転数で作動しているときに、ギヤシフトレバーでローギヤ（1）またはハイギヤ（2）を選択します。
4. スロットルレバーを徐々に作動させます。

注：車両が動いているときにシフトしないでください。

エンジンの停止

スロットルレバーを放し、エンジンがアイドリング回転数に戻るまで待ちます。

緊急エンジン停止スイッチを使用して、またはテザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き抜いて、エンジンを停止させます。

⚠ 警告

車両が動作していないときは、不測のエンジン始動を防止し、子供や他の人が断りなく使用することを避け、盗難を防ぐために、必ずテザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き抜いておいてください。

けん引物のけん引

けん引物をけん引する場合、剛性の高いけん引バーを必ず使用してください。けん引されるけん引物には両側面と後部に反射体を取り付けます。現地の法律のブレーキランプ要件を確認してください。

⚠ 警告

絶対にロープでけん引物をけん引しないでください。剛体の高いけん引バーを必ず使用してください。ロープを使用すると、けん引物とスノーモービルが衝突する恐れがあります。急減速時や下り斜面では転倒する可能性があります。

別のスノーモービルのけん引

スノーモービルが走行不能になってけん引しなければならない場合、剛体のけん引バーを使用します。走行不能になったスノーモービルからドライブベルトを取り外します。*ドライブベルト*の項目が*メンテナンス手順*のサブセクションにあるので、これを参照してゆっくりとした速度でけん引します。

注記 けん引されるスノーモービルのベルトとドライブシステムに損傷を与えないように、そのドライブベルトは必ず取り外します。

緊急事態においてのみ、剛体のけん引バーが入手できない場合に、ロープを使用することが許されます。さらに大きな注意を払って前進してください。このようにすることが違法になる地域もあります。州や地元の所轄官庁に確認してみてください。

ドライブベルトを取り外し、ロープをスキーレッグ(スピンドル)に取り付けます。ブレーキをかけるために誰かにけん引されるスノーモービルに座ってもらい、低速でけん引します。

注記 ステアリングシステムの損傷を避けるために、決してけん引ロープをスキーループ(ハンドル)に取り付けないでください。

⚠ 警告

走行不能スノーモービルをけん引する場合、決して高速で走行しないでください。さらに大きな注意を払って低速で前進してください。

車両の調整

⚠ 警告

サスペンションの調整は、車両のハンドリング性能に影響を与える可能性があります。必ず時間をかけて、サスペンションの調整をした後の車両の挙動に慣れてください。

スノーモービルの操縦性と乗り心地は、サスペンションを調整することで変わります。

サスペンション調整の選択は、載せる荷重、オペレーターの体重、個人的な嗜好、走行速度および雪原の状態により変化します。

⚠ 警告

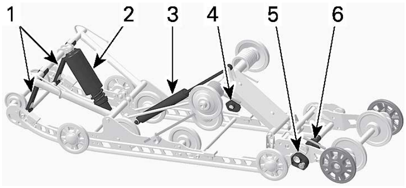
サスペンション調整を行う前に、以下のことを覚えておいてください。

- 安全な場所に駐車する。
- テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き抜く。
- 適切なリフト装置を使用するか、手助けを得て持ち上げる力を分担します。リフト装置を使用しない場合、正しい持ち上げ方をします。特に脚力を使用します。
- ご自分の限界を超える場合は、車両の前部や後部を持ち上げようとしないでください。
- サスペンションを調整する前に、適切な装置を使用して、車両の前部を地面から離して支えます。
- リアデフレクターパネル付きの幅広のスノーモービルスタンドを使用して、車両の後部を地面から離して支えます。
- 支持装置が安定していて、動かないことを確認します。

各調整項目のカスタマイズを一度に1つずつ行ってください。たとえば、フロントスプリングを調整したあと、センタースプリングの再調整が必要になる場合もあります。トレール、速度、雪、オペレーター運転位置などの条件が同じ状態で、スノーモービルの試運転を行います。調整項目を1つ変更し、再度試運転を行います。満足のいくまで入念に調整を行います。

以下はサスペンションの微調整のガイドラインです。

リヤサスペンションの調整 (SC-5U)



SC5-Uの調整可能なコンポーネント

1. ストッパーストラップ
2. センタースプリング
3. リアショックアブソーバー（ACS付きSC-5UおよびEasy Adjust付きSC-5U）
4. リアスプリング
5. エクステンションスタビライザーカム
6. エクステンションスプリングカム

注記 リアサスペンションを調整するときは、必ずトラックの張力を確認し、必要に応じて調整します。

ストッパーストラップ

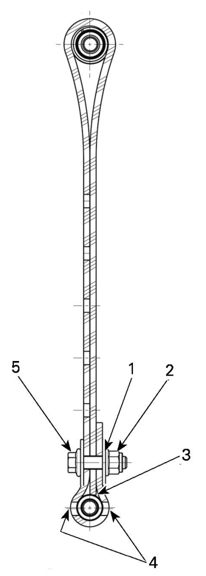
ストッパーストラップの長さは、センタースプリングにかかる重量、特に加速時にかかる重量に影響を与え、このため、フロントエンドが持ち上がります。

ストッパーストラップの長さは、センタースプリングの行程長にも影響を与えます。

注記 必ず両方のストッパーストラップを同じ長さに調整してください。ストッパーストラップの長さを変更したときは、必ずトラックの張りを点検する必要があります。

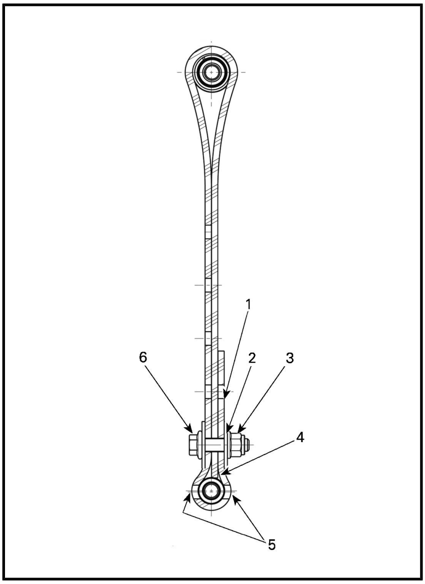
措置	結果
ストッパーストラップの長さを伸ばす	加速時のスキーの圧力軽減
	センタースプリングのトラベル増大
	衝撃吸収能力が向上する
ストッパーストラップの長さを低減	加速時のスキーの圧力増大
	センタースプリングのトラベル低減
	衝撃吸収能力が低下する

注：ストッパーストラップはポジション1、2、3、4、5に設定することができます。下図はポジション1、2、3を示します。小さい数字は長いストラップの設定に呼応します。



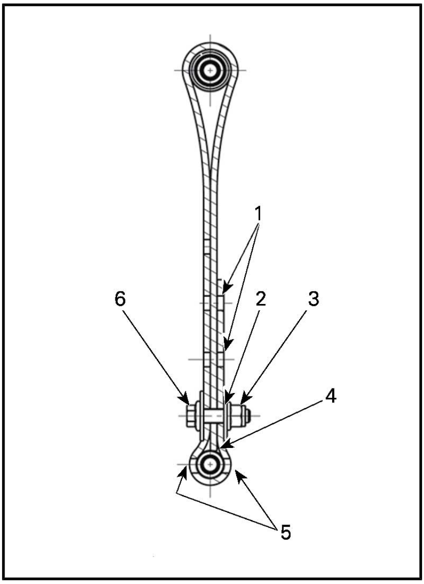
ストッパーストラップポジション 1（1 番目の穴、最長）

1. *終端から 1 番目の穴*
2. *リアに向かって*
3. *ストラップの端がストラップ軸に接触する*
4. *ボルトヘッドとナットの間の 2 つの穴が開いたままである*
5. *フロントに向かって*



ストッパーストラップポジション 2（2 番目の穴）

1. *使用法が限定されない穴*
2. *終端から 2 番目の穴*
3. *リアに向かって*
4. *ストラップの端がストラップ軸に接触する*
5. *ボルトヘッドとナットの間の 2 つの穴が開いたままである*
6. *フロントに向かって*



ストッパーストラップポジション 3（3 番目の穴）

1. *使用法が限定されない穴*
2. *終端から 3 番目の穴*
3. *リアに向かって*
4. *ストラップの端がストラップ軸に接触する*
5. *ボルトヘッドとナットの間の 2 つの穴が開いたままである*
6. *フロントに向かって*

注：ストッパーストラップを短くすると、乗り心地が悪くなります。荷重の移動が過大であるように感じられる場合、まずカップリングブロックを調整してみてください。ストッパーストラップボルトは必ずロアーシャフトに可能な限り近付けて取り付けます。

スノーモービルが深雪中を走行する場合、ストッパーストラップの長さやライディング姿勢を変えること、また雪面に対するトラックの角度を変えることが必要な場合もあります。オペレーターが様々な調整や雪の状態を熟知していれば、最も効率的な組み合わせが分かります。

一般的にはストッパーストラップの設定を長めにするほうが平らな深雪上でのパフォーマンスが向上します。

リアスプリング

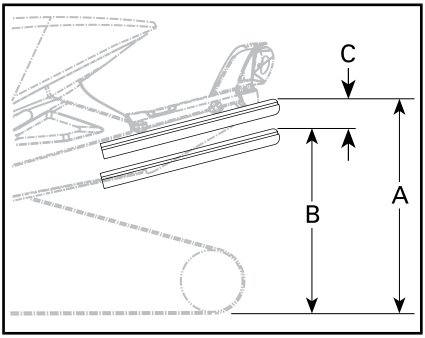
リアスプリングプリロードは乗り心地、車高および荷重補正に影響をおよぼします。

また、リアスプリングプリロードを調整すると、スノーモービルのフロントエンドにかかる重量が増減します。その結果、スキーにかかる重量が増減します。これは、深雪中での性能、操舵効果および操縦性に影響を与えます。

最悪の走行条件においてサスペンションが軽く底付く場合、スプリングのプリロードが良い状態であることを示しています。

措置	結果
プリロードの増加	リアサスペンションが固くなる
	リアエンドが高くなる
	衝撃吸収能力が向上する
	操舵が重くなる
プリロードの減少	リアサスペンションが軟らかくなる
	リアエンドが低くなる
	衝撃吸収能力が低下する
	操舵が軽くなる
	深雪中での性能と操縦性がよくなる

プリロードが正しいか否かを特定するために、以下を参照してください。



代表例 - 適切な調整

A. サスペンションが完全に伸びた状態
B. オペレーター、同乗者および荷物が載り、サスペンションが一番下まで下がった状態
C. 寸法「A」と「B」の間の距離。下表を参照してください

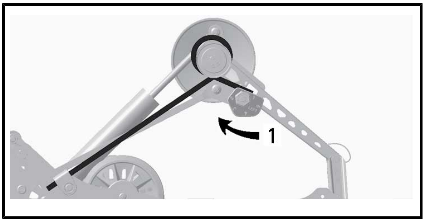
「C」	対策
50～75 mm（2～3 in）	調整は不要
75 mm（3 in）を超える	柔らかすぎる場合にはプリロードを高くします
50 mm（2 in）未満	硬すぎる場合にはプリロードを低くします

注： 純正品のスプリングで基準値が達成できない場合、正規 Ski-Doo ディーラーに別の選択可能なスプリングがないか尋ねてください。

注記 スプリングプリロードを増加させるには、工具を使用して、必ず左側の調整カムを時計回りに回し、右側のカムを反時計回りに回します。

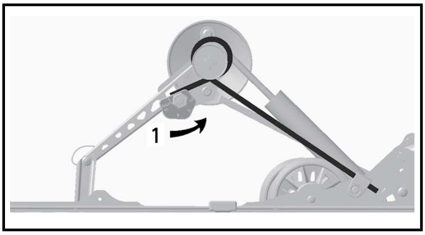
⚠注意 絶対にプリロードカムを直接ポジション5から1へ、また直接ポジション1から5へ設定しないでください。

調整カムは5つの異なる設定を備えていて、1が一番軟らかです。



代表例 - 左側

1. スプリングプリロードを調整



代表例 - 右側

1. スプリングプリロードを調整

リアショックアブソーバー（ACS付きSC-5U）

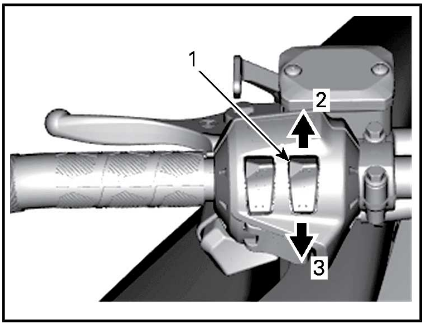
オペレーターは、エアショックアブソーバー内の空気圧を調整することで、快適性と座席の高さを調整できます。

調整するには、以下のようにします。

1. エンジンを始動します。
2. モード (M) ボタンを押すと、サスペンションモードを選択できます。

エアサスペンションモードが選択されている場合、AIR_SUSPが表示されます。表示には、実際のサスペンション設定も表示されます（1～5の番号で、1が最も柔らかい設定）。

3. 図に示すように、ヒーター付きスロットルレバーを押すと、空気圧が上昇または低下します。



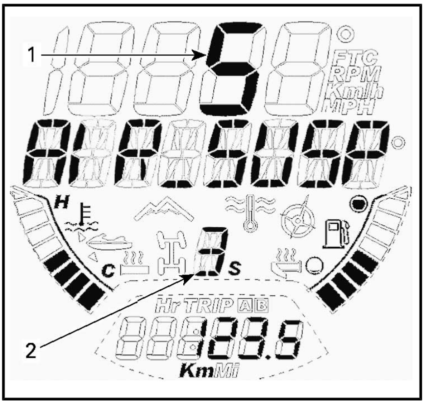
代表例

1. スロットルレバーヒータースイッチ

2. 圧力が上昇する

3. 圧力が低下する

4. 望む設定ポイントがディスプレイに表示されます。確定するには、モード (M) ボタンを押して5秒間待ちます。



1. 設定ポイント

2. 実際の設定

リアショックアブソーバー（Easy Adjust付きSC-5U）

リヤショックの圧縮緩衝

注：低速および高速圧縮緩衝の両方が同時に調整されます。

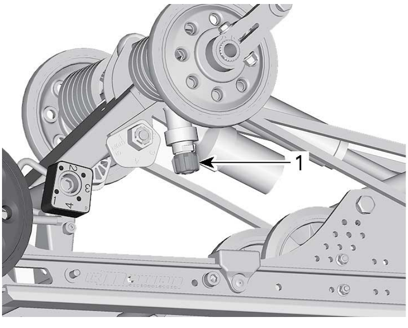
低速圧縮減衰機能は、低サスペンション速度（遅い圧縮ストローク、ほとんどは低速で乗車しているとき）に対するショックアブソーバーの応答の仕方を制御します。

高速圧縮減衰機能は、高サスペンション速度（速い圧縮ストローク、ほとんどは高速で乗車しているとき）に対す

るショックアブソーバーの応答の仕方を制御します。

措置	大きい／小さいバウンドの結果
圧縮減衰力を増やす	硬めの圧縮減衰
圧縮減衰力を減らす	柔らかめの圧縮減衰

ショック上のオイルリザーバに設けられた調整ボタンを時計方向に回して圧縮緩衝力を増大させ、反時計方向に回して圧縮緩衝力を低減します。



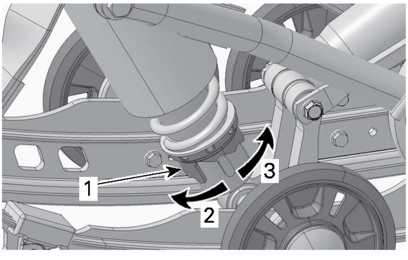
1. 圧縮緩衝調整ボタン

センタースプリング

センタースプリングプリロードは操舵力、操縦性および衝撃吸収に影響を与えます。

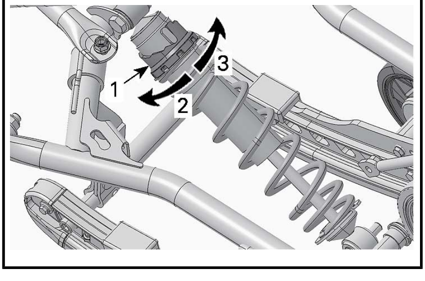
また、センタースプリングプリロードの調整は、トラックの前部への圧力を増減し、深雪中での性能に影響をおよぼします。

措置	結果
プリロードの増加	操舵が軽くなる
	衝撃吸収能力が向上する
	深雪中で発進しやすくなる
	深雪中での性能と操縦性がよくなる
プリロードの減少	操舵が重くなる
	衝撃吸収能力が低下する
	トレール操縦性がよくなる



カムタイプ-モーションコントロールショックアブソーバー

1. スプリングプリロード調整カム
2. プリロードの増加
3. プリロードの減少



カムタイプ - HPG™ショックアブソーバー

1. スプリングプリロード調整カム
2. プリロードの減少
3. プリロードの増加

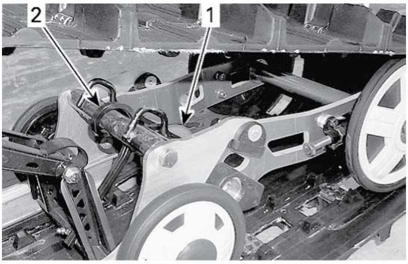
注：カムタイプのプリロードアジャスターの場合、工具キットに含まれているサスペンション調整ツールを使ってください。

リアサスペンションエクステンションスプリング

サスペンションのエクステンションスプリングプリロードは、リバース能力やトラックの地面との接触に影響を与えます。

スプリングプリロードを調整するには調整カムを回します。

措置	結果
プリロードの増加	地面に接するトラック面積を増やす
	エクステンションリフトの減少
プリロードの減少	リバース能力の向上、特に深い雪の場合
	エクステンションリフトの増加



代表例

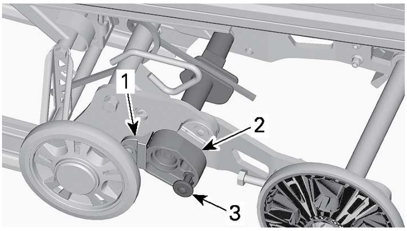
1. *スプリング*
2. *調整カム*

リアサスペンションエクステンションスタビライザーカム

スタビライザーカムは、サスペンションのエクステンションストロークを制御するために使用されています。

スタビライザーカムの設定は、操作性、トラクションおよびリバース能力に影響を与えます。

カム設定	結果
自由	サスペンションエクステンションの自由な動きをストローク全体に渡り可能とする
	一般的な使用
	良好なリバース能力
ロック位置	サスペンションエクステンションをサスペンションレールに一致した状態で固定する
	トラクションの向上、トラック全体の表面積が地面に接する
	けん引能力の向上



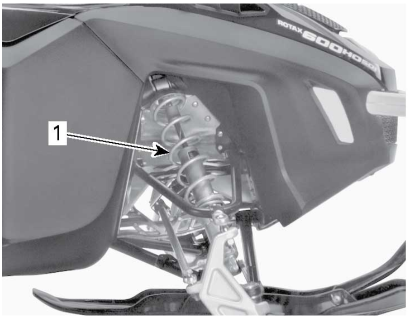
1. *ストップブロック*
2. *スタビライザーカム*
3. *ロック*

フロントサスペンションの調整

フロントスプリング

フロントスプリングプリロードはフロントサスペンションの固さに影響を与えます。

フロントサスペンションプリロードは操舵挙動にも影響を与えます。



代表例 - フロントサスペンション

1. ハンドリングにおけるフロントスプリング

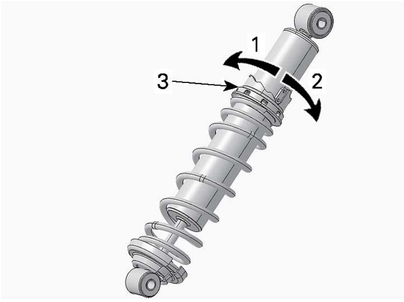
⚠ 警告

常に両方のフロントスプリングが同じ位置になるように調整します。

基準表	
ハンドリング	対策
良好:快適に曲がることができる	調整は不要
不良:ステアリング操作に対して曲がりすぎる	柔らかすぎる設定になっているため、スプリングのプリロードを高くします
不良:ステアリングに対して曲がりにくい	硬すぎる設定になっているため、スプリングのプリロードを低くします

代表例 - カムタイプのプリロード

1. 調整カム



カムタイプ - HPGショックアブソーバー

1. プリロードの減少
2. プリロードの増加
3. スプリングプリロード調整カム

サスペンション調整による車両の挙動

問題	修正手段
フロントサスペンションのふらつき	スキーの調整状態とキャンバー角の調整状態を確認します。 正規 Ski-Doo ディーラーにお問い合わせください。 スキーの接地圧を下げます。 - フロントサスペンションスプリングプリロードを減らします。 - センタースプリングプリロードを増やします。 - リアスプリングプリロードを減らします。
スノーモービルが不安定であり旋回するような動きを見せる	リアサスペンションのフロントアーム圧を下げます。 - センタースプリングプリロードを減らします。 - リアスプリングプリロードを増やします。 - フロントサスペンションスプリングプリロードを増やします。
操舵が重すぎる	スキーの接地圧を下げます。 - フロントサスペンションスプリングプリロードを減らします。 - センタースプリングプリロードを増やします。
スノーモービルのリアが固すぎる	リアスプリングプリロードを減らします。
スノーモービルのリアが軟らかすぎる	リアスプリングプリロードを増やします。
リアサスペンションフロントショックアブソーバーが頻繁に底付く	ストッパーストラップを伸ばします。 センタースプリングのプリロードを増やします。
発車時に、トラックが頻繁にスピンする	ストッパーストラップを伸ばします。

車両の輸送

オイルリザーバーと燃料タンクキャップが正しく取り付けられていることを確認します。

チルトベッドトレーラーはウインチ装置を容易に搭載でき、荷積みのときに最大の安全性を確保することができます。簡単に見えるとしても、絶対にスノーモービルを走行させず、チルトベッドトレーラーまたはその他のいかなるトレーラーもしくは車両にも載せないでください。スノーモービルが走行してトレーラーに上ることで、多くの重大な事故が発生してきました。たとえ短い移動距離でも、車両のフロントとリアを確実に固定します。すべての装置がしっかり固定されていることを確認します。道路上のホコリがスノーモービルを損傷しないように、トレーラーで輸送するときはスノーモービルにカバーをかけます。

トレーラーが州の要求事項に適合することを確認してください。ヒッチと安全チェーンが固定されていること、ブレーキランプ、方向指示灯および車幅灯がすべて機能していることを確認します。

メンテナンス

最初の点検

正規Ski-Dooディーラー、修理工場、またはご自分で選んだ人による車両点検を受けてください。最初の点検は非常に重要です。必ず実施してください。

注： この初期点検は車両のオーナーの費用負担で行われるものです。

点検日

正規Ski-Dooディーラー、修理工場、または個人の署名

正規Ski-Dooディーラー、修理工場、または個人の名前

初回点検（すべてのモデル） 2回目以降1,500 km
ギヤボックスオイルレベルの点検
トラックの調整とアライメントの実施

初回点検（1200 4-TECおよび900 ACE）最初の3,000 kmまたは 1年間走行後のいずれか早い方
エンジンオイルとフィルターの交換

メンテナンスのスケジュール

メンテナンスは、車両を安全な運転状態に保つために非常に重要です。サービス店または担当整備士が、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理を実施できます。これらの指示事項は、コンポーネントを必要としませんし、BRPや正規Ski-Dooディーラーが整備する必要もありません。正規Ski-Dooディーラーは、Ski-Dooスノーモービルを整備する技術上の詳細な知識とツールを備えているとは言え、排出ガス関連保証は、正規Ski-Dooディーラーや、BRPがビジネス関係を持つその他の機関を利用することを条件としていません。排出ガス関連保証請求については、BRPは、診断と排出ガス関連部品の修理を正規Ski-Dooディーラーに制限しています。詳細については、本ガイドに含まれる*米国環境保護庁排出ガス関連保証*を参照してください。適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。ユーザーは、本ガイドの燃料セクションに記載されている燃料要件の指示事項を遵守しなければなりません。エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンが広く販売されている場合でも、米国 EPA はエタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンの使用を禁止しています。これは、この車両にも適用されています。このエンジンに、エタノールの含有率が 10 体積 % を超えるガソリンを使用すると、排出ガス制御システムを損傷する恐れがあります。車両は、メンテナンススケジュールに基づいて整備してください。

スケジュール通りにメンテナンスを行っていても、日常点検は必要です。

⚠ 警告

メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切に車両を維持しないと、安全な作動を損ねます。

600 HO E-TECモデル

3,000 km走行ごと、または毎年のシーズン前（いずれか早い方）
走行前点検の実施
故障コードの確認
バッテリー充電 (電気スターター装備モデル)
ヒートシールドの点検
ギヤボックスオイルの交換
ブレーキホース、パッドおよびディスクの点検
クーラント密度の点検
ドライブベルトの点検
ドライブプーリーの目視点検および清掃
規定トルクでのドライブプーリー固定ねじの締め付け
ドリブンプーリーの清掃
エキゾーストシステムの漏れの点検
規定トルクでのエキゾーストマニホールドボルトの締め付け

3,000 km走行ごと、または毎年のシーズン前 （いずれか早い方）
トラックの調整とアライメントの実施
リアサスペンション（ストッパーストラップおよびスライダーシューなど）の点検
フロントおよびリアサスペンションの潤滑。車両を水に濡れた状態 (雨、水たまり) で使用した場合は必ず潤滑する。
フロントサスペンションの点検
タイロッド端とアライメントの点検
フューエルラインと接続部の点検
ヘッドライトビーム光軸の調整

6,000 km走行ごとまたは2年ごと （いずれか早い方）
燃料ポンプストレーナーの点検および必要に応じて交換
ブレーキ液の交換
スロットルケーブルの検査
ギヤボックスとドリブンシャフトスプラインの潤滑
エンジンストッパーの調整

10,000 km走行ごとまたは3年ごと （いずれか早い方）
スパークプラグの交換
オイルポンプストレーナーの点検、必要に応じて清掃

5年ごと
エンジンクーラントの交換
インライン燃料フィルターの交換

800R E-TECモデル

3,000 km走行ごと、または毎年のシーズン前 （いずれか早い方）
走行前点検の実施
故障コードの有無の確認
バッテリー充電 (電気スターター装備モデル)
ギヤボックスオイルの交換
ブレーキホース、パッドおよびディスクの点検
クーラント密度の点検
ドライブベルトの点検
ドライブプーリーの目視点検および清掃
規定トルクでのドライブプーリー固定ねじの締め付け
ドリブンプーリーの清掃
エキゾーストシステムの漏れの点検
規定トルクでのエキゾーストマニホールドボルトの締め付け
トラックの調整とアライメントの実施
リアサスペンション (ストッパーストラップおよびスライダーシューなど) を点検する
車両を水に濡れた状態（雨、水たまり）で使用した場合は、リアおよびフロントサスペンションの潤滑
フロントサスペンションの点検
タイロッド端とアライメントの点検
フューエルラインと接続部の点検
ヘッドライトビーム光軸の調整

6,000 km走行ごとまたは2年ごと （いずれか早い方）
燃料ポンプストレーナーの点検および必要に応じて交換
ブレーキ液の交換
スロットルケーブルの検査
スターター（装備されている場合）を清掃および潤滑します

6,000 km走行ごとまたは2年ごと（いずれか早い方）
ドライブプーリーの摩耗部品であるスライダーシュー、Oリング、およびスライディングシーブブッシングを交換します
カウンターシャフトのスプラインの潤滑
エンジンストッパーの調整

10,000 km走行ごとまたは3年ごと（いずれか早い方）
スパークプラグの交換
オイル噴射ポンプストレーナーの点検、必要に応じて清掃
ドライブプーリーの摩耗部品であるスプリングカバーブッシングおよびランプを交換します

5年ごと
エンジンクーラントの交換
インライン燃料フィルターの交換

1200 4-TECモデル

3,000 km走行ごと、または毎年のシーズン前 （いずれか早い方）
走行前点検の実施
故障コードの確認
バッテリー充電 (電気スターター装備モデル)
ギヤボックスオイルの交換
ブレーキホース、パッドおよびディスクの点検
クーラント密度の点検
ドライブベルトの点検
ドライブプーリーの目視点検および清掃
規定トルクでのドライブプーリー固定ねじの締め付け
ドリブンプーリーの清掃
エンジンシールとガスケットの漏れの点検
ヒートシールドの点検
エキゾーストシステムの漏れの点検
規定トルクでのエキゾーストマニホールドボルトの締め付け
トラックの調整とアライメントの実施
リアサスペンション（ストッパーストラップおよびスライダーシューなど）の点検
フロントおよびリアサスペンションの潤滑。車両を水に濡れた状態 (雨、水たまり) で使用した場合は必ず潤滑する。
フロントサスペンションの点検
タイロッド端とアライメントの点検
フューエルラインと接続部の点検
ヘッドライトビーム光軸の調整

毎6,000 kmまたは1年毎のシーズン開始前 （いずれか早い方）
エンジンオイルとフィルターの交換

6,000 km走行ごとまたは2年ごと（いずれか早い方）
燃料ポンプ出力フィルターの交換
ドライブプーリーのOリング、スライダーシューを交換し、ランプを点検します
ブレーキ液の交換
カウンターシャフトのスプラインの潤滑

10,000 km走行ごとまたは3年ごと（いずれか早い方）
スパークプラグの交換

5年ごと
エンジンクーラントの交換

900 ACEモデル

3,000 km走行ごと、または毎年のシーズン前 （いずれか早い方）
走行前点検の実施
故障コードの確認
バッテリー充電 (電気スターター装備モデル)
ギヤボックスオイルの交換
ブレーキホース、パッドおよびディスクの点検
クーラント密度の点検
ドライブベルトの点検
ドライブプーリーの目視点検および清掃
規定トルクでのドライブプーリー固定ねじの締め付け
ドリブンプーリーの清掃
エンジンシールとガスケットの漏れの点検
ヒートシールドの点検
エキゾーストシステムの漏れの点検
規定トルクでのエキゾーストマニホールドボルトの締め付け
トラックの調整とアライメントの実施
リアサスペンション（ストッパーストラップおよびスライダーシューなど）の点検
フロントおよびリアサスペンションの潤滑。車両を水に濡れた状態 (雨、水たまり) で使用した場合は必ず潤滑する。
フロントサスペンションの点検
タイロッド端とアライメントの点検
フューエルラインと接続部の点検
ヘッドライトビーム光軸の調整

6,000 km走行ごとまたは毎年のシーズン前 （いずれか早い方）
エンジンオイルとフィルターの交換

6,000 km走行ごとまたは2年ごと （いずれか早い方）
燃料ポンプ出力フィルターの交換
ドライブプーリースライダーシューの点検および必要に応じて交換
ドライブプーリーのOリングを交換します
ブレーキ液の交換
カウンターシャフトのスプラインの潤滑

10,000 km走行ごとまたは3年ごと （いずれか早い方）
スパークプラグの交換

5年ごと
エンジンクーラントの交換

メンテナンス手順

このサブセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。

⚠ 警告

メンテナンスを行う場合は、エンジンを止め、テザーコードキャップを取り外して、以下のメンテナンス手順に従ってください。適切なメンテナンス手順を守らないと、高温の部品、稼動部分、電気的、化学的あるいはその他の危険により負傷する恐れがあります。

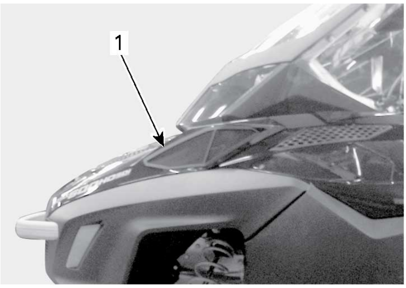
⚠ 警告

分解/組立を行うときに、ロック装置(ロックタブ、戻り止めファスナーなど)の取り外しが必要な場合、必ず新品と交換してください。

エアインテークサイレンサープレフィルター

エアインテークサイレンサープレフィルターの確認

エアインテークサイレンサープレフィルターが正しく取り付けられ、汚れがなく良好な状態であることを確認します。



1.　　プレフィルター

プレフィルターは引き出すだけで取り外せます。

取り付けるときは、プレフィルターを押し戻して正しく固定されることを確認してください。

エンジンクーラント

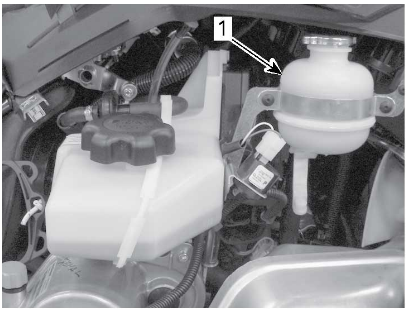
⚠ 警告

エンジンが高温の場合、絶対にクーラントタンクキャップを開けないでください。

エンジンクーラントレベル

右側サイドパネルを取り外します。*サイドパネル*の項目が*コントローラー類、計器類および装置*サブセクションにあるので参照します。

コールドレベルラインはリテーニングクランプのすぐ上にあります。



代表例

1.　　コールドレベルライン

クーラントレベルを、キャップを外した状態で室温で確認します。クーラントは、クーラントタンクのコールドレベルライン（エンジンが冷えているときのレベル）にあることが必要です。

注：低温時にクーラントレベルを点検するときは、クーラントレベルがコールドレベルラインよりも若干下になります。

クーラントを追加するには、フロントクーラントタンクの固定部を取り外し、タンクを若干外側に引き出してキャップのスペースを設けます。

大量のクーラントを追加したりシステム全体に充填する必要がある場合は、正規 Ski-Doo ディーラー、修理工場、またはご自分で選んだ人に依頼してください。

推奨エンジンクーラント

クーラント		
BRP推奨品	北欧諸国	ロングライフプレミックスクーラント（EUR）(219702685) (P/N 779223)
	その他のすべての国	ロングライフプレミックスクーラント (219702685) (P/N 779150)
代替品あるいは推奨品が入手できない場合	–	蒸留水と不凍液の混合液（蒸留水50%、不凍液50%）

注記 50%不凍液と50%蒸留水の混合液は冷却効果を高めます。蒸留水の代わりに水道水を使用すると冷却システムに水垢の堆積をもたらし不凍効果の低減をもたらします。この結果オーバーヒートのリスクが高まります。

不凍液の劣化を防ぐため、常に同じ銘柄の不凍液を使用してください。冷却システムを完全に洗浄して入れ替える場合を除いて、銘柄の異なる不凍液を混ぜないでください。

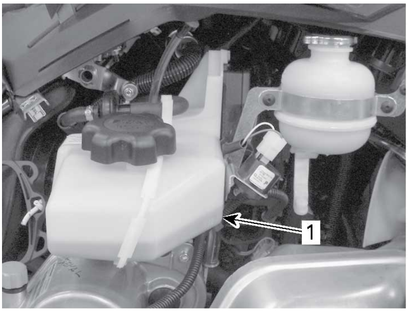
注記 腐食の生成や寒冷地域での凍結のリスクを低減するため、冷却システムには必ず50%不凍液/50%蒸留水の混合液を補充してください。純粋な不凍液は水と不凍液の混合液より高い温度で凍結する可能性があります。必ずアルミエンジン用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を使用してください。

噴射用オイル（600 HO E-TEC および800R E-TEC）

噴射オイルの補充

右側サイドパネルを取り外します。*サイドパネル*の項目が*コントローラー類、計器類および装置*サブセクションにあるので参照します。

必ず噴射オイルリザーバー内に十分な量の推奨噴射オイルがあるようにしてください。



代表例

1.　オイルリザーバー

噴射オイルリザーバーキャップを外してリザーバーにオイルを補充し、キャップをしっかりと締め付けます。

注：入れ過ぎないでください。リザーバーフィラーネックの最大量を示す部分を超えないようにしてください。

注記 レベルを確認し、燃料を補給するたびにオイルを補充してください。

⚠ 警告

入れ過ぎないでください。キャップを取り付けて最後までしっかりと締めてください。こぼれたオイルを拭き取ります。熱せられている場合、オイルの引火性が高くなります。

エンジンオイル（1200 4-TEC / 900 ACE）

エンジンオイルレベルの確認

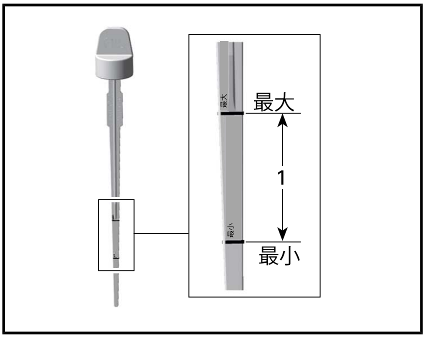
注記 走行する前に必ずチェックし、必要であればオイルを追加する。**入れ過ぎないでください。**不適切なオイルレベルでエンジンを動作させた場合、エンジンが重度の損傷を受けるおそれがあります。こぼれたオイルは必ずふき取ってください。

車両を水平な表面に乗せ、次の手続を使いオイルレベルをチェックします：

1. エンジンをスタートし、通常の動作温度に達するのを待ちます。リアラジエーターが温まるとエンジ

ンは通常の動作温度になっており、サーモスタットは開いた状態になっています。

2. エンジンをさらに30秒間アイドリングさせます。
3. エンジンを止めます。
4. 左側サイドパネルを取り外します。*コントローラー類、計器類および装置*を参照します。
5. ドライブベルトガードを取り外します。*ドライブベルトガード*を参照します。
6. オイルゲージをフィラーチューブから取り出し、オイルを拭き取る。
7. オイルゲージをフィラーチューブに完全に入れる。
8. オイルゲージを取り出し、オイルレベルをチェックする。オイルレベルは、以下に示すように、最小マークと最大マークの間にあることが必要です。必要に応じて、オイルを補充してください。



1. 最低と最大の間のオイルレベル。

注意 エンジンオイルはとても熱くなります。

警告

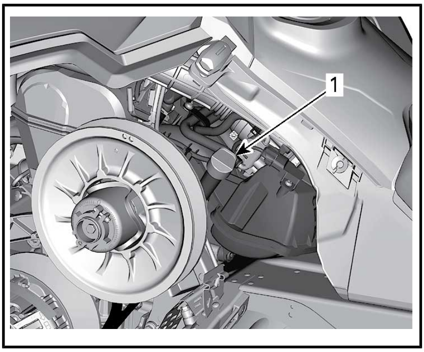
こぼれたオイルを拭き取ります。熱せられている場合、オイルの引火性が高くなります。

エンジンオイルの交換（900 ACE）

注意 エンジンオイルは非常に熱くなっている可能性があります。エンジンオイルが若干冷めるまで待ちます。

注記 エンジンオイルとオイルフィルターは同時に交換する必要があります。

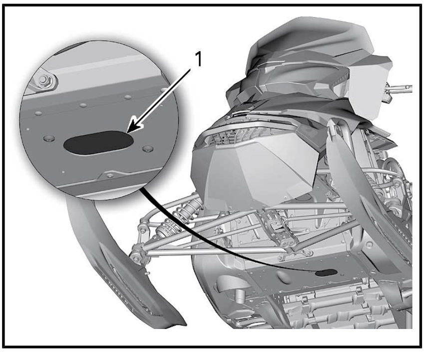
1. エンジンを通常の動作温度まで暖めます。
2. 水平面に車両を置いてください。
3. 左サイドパネルを取り外します。
4. ディップスティックを取り外してください。



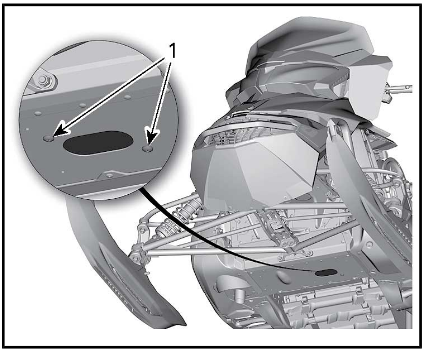
車両左側

1. オイルタンクオイルレベルゲージ

5. *オイルフィルター*を取り外します。このサブセクションの手順を参照してください。
6. 車両の下からドレンプラグにアクセスします。
   - 6.1 1本のアクセスカバー固定ネジを取り外し、他方の固定ネジを緩めます。
   - 6.2 アクセスカバーを回して、下部のパン開口部を清掃します。



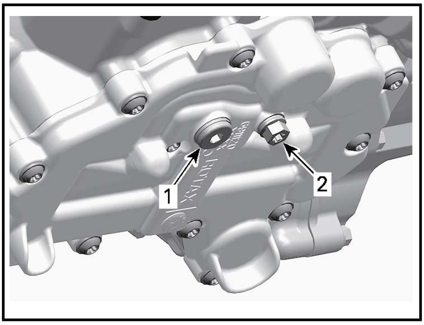
1. ドレンプラグアクセスカバー



アクセスカバーを回す

1. 固定ねじ

7. ドレンプラグ周辺を清掃します。
8. ドレンパンを下部のパン開口部の下に置きます。
9. 次の順序でエンジンドレンプラグを取り外します。
   9.1 メインドレンプラグ。
   9.2 二次ドレンプラグ。

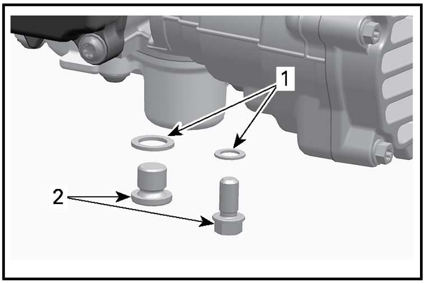


エンジンの下側

1. メインドレンプラグ
2. 2 次ドレンプラグ

10. オイルを完全に排出します。
11. **新品の**シーリングワッシャーをオイルドレンプラグに取り付けます。

注記 シーリングワッシャーは絶対に再使用しないでください。必ず新品と交換してください。



1. シーリングワッシャ
2. オイルドレンプラグ

12. ドレンプラグを取り付け、規定トルクで締め付けます。

締め付けトルク	
ドレンプラグ	20 N•m ± 2 N•m

13. 新品の*オイルフィルター*取り付けます。このサブセクションの手順を参照してください。
14. オイルタンクに推奨オイルを正しいレベルまで補充します。

エンジンオイル容量概数（フィルター付き）
3.3 L

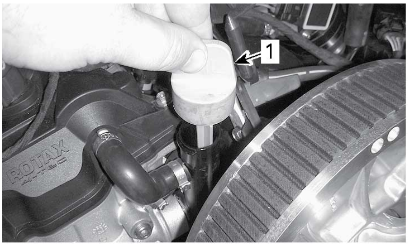
15. オイルタンクにオイルレベルゲージを再び取り付け、正しく締めます。
16. エンジンを始動し、数分間アイドリングします。
17. 漏れがないことを確認します。
18. エンジンを停止し、このサブセクションで説明している要領で、オイルレベルを確認します。必要があれば補充します。
19. オイルおよびフィルターは、地域の環境規制に従って廃棄してください。

エンジンオイルの交換（1200 4-TEC）

注意 エンジンオイルは非常に熱くなっている可能性があります。エンジンオイルが若干冷めるまで待ちます。

注記 エンジンオイルとオイルフィルターは同時に交換する必要があります。

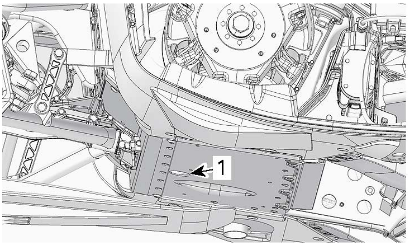
1. エンジンを通常の動作温度まで暖めます。
2. 水平面に車両を置いてください。
3. 左サイドパネルを取り外します。
4. ドライブベルトガードを取り外します。*コントローラー類、計器類および装置*セクションを参照してください。
5. ディップスティックを取り外してください。



車両左側

1. オイルタンクオイルレベルゲージ

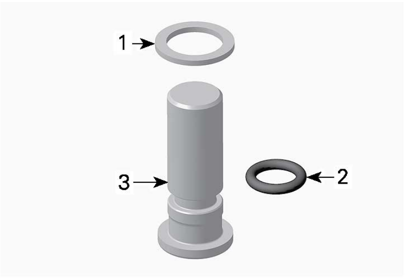
6. *オイルフィルター*を取り外します。このサブセクションの手順を参照してください。
7. 車両の下側から、ドレンプラグ周辺をきれいにしてプラスチックキャップを取り外します。



1. ドレンプラグに手が届くフレーム開口部

8. フレーム開口部の下にドレンパンを置きます。
9. エンジンオイルドレンプラグを取り外し、シーリングワッシャーを廃棄します。
10. オイルを完全に排出します。
11. **新品の**シーリングワッシャーとOリングをオイルドレンプラグに取り付けます。

注記 シーリングワッシャーは絶対に再使用しないでください。必ず新品と交換してください。



1. シーリングワッシャ
2. O-リング
3. オイルドレンプラグ

12. ドレンプラグを取り付け、規定トルクで締め付けます。

締め付けトルク	
ドレンプラグ	30 N•m

13. 新品の*オイルフィルター*取り付けます。このサブセクションの手順を参照してください。
14. オイルタンクに推奨オイルを正しいレベルまで補充します。

エンジンオイル容量概数（フィルター付き）
3.5 L

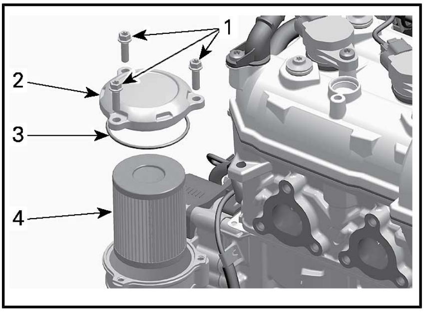
15. オイルレベルゲージをオイルタンクに再び入れる。
16. エンジンを始動し、数分間アイドリングします。
17. 漏れがないことを確認します。
18. エンジンを停止し、このサブセクションで説明している要領で、オイルレベルを確認します。必要に応じて補給します。
19. オイルおよびフィルターは、地域の環境規制に従って廃棄してください。

エンジンオイルフィルター（900 ACE）

エンジンオイルフィルターの交換

オイルフィルターの取り外し

1. 右側サイドパネルを取り外します。
2. オイルフィルターエリアを清掃します。
3. 次の部品を取り外します。
   - オイルフィルターカバーのスクリュー
   - Oリング付きオイルフィルターカバー
   - オイルフィルター

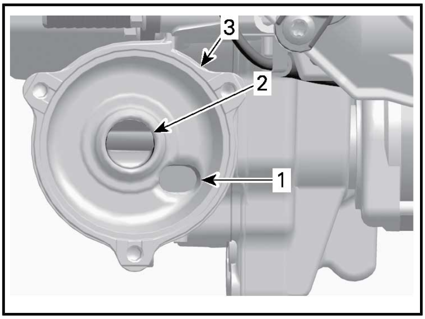


1. オイルフィルターカバーのスクリュー
2. オイルフィルターカバー
3. O-リング
4. オイルフィルター

4. 現地の環境規制に基づいてフィルターを処分してください。

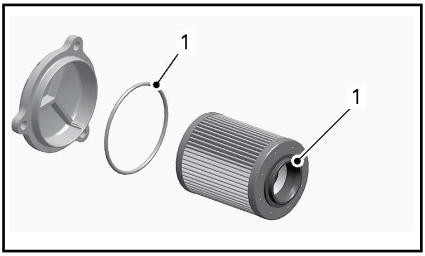
オイルフィルターの取り付け

1. （マグネトカバーの組み込み部品である）オイルフィルター容器のオイルフィルターインレットおよびアウトレットオリフィスに泥や汚染物質がないか点検します。



1. 油圧ポンプからのオイルインレット開口部
2. エンジン潤滑システムへのオイルアウトレット開口部
3. オイルフィルターソケット

2. **新品**のＯリングをオイルフィルターカバーに取り付けます。
3. 新品のフィルターをカバーに取り付けます。
4. フィルターシールとカバーOリングにエンジンオイルを注油します。



1. エンジンオイルで潤滑します

注記 フィルターやカバーを取り付ける際にOリングが挟まれないよう注意してください。

5. オイルフィルターカバーを取り付けます。
6. オイルカバーのねじを規定のトルクで締め付けます。

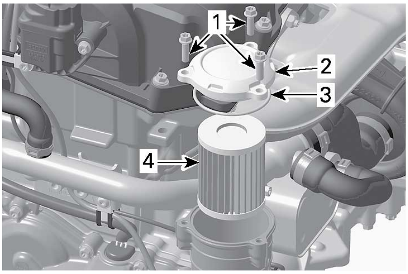
締め付けトルク	
オイルフィルターカバーのスクリュー	10 N•m ± 1 N•m

7. エンジンにこぼれたオイルを拭き取ります。

オイルフィルター (1200 4-TEC)

オイルフィルターの取り外し

1. 右側サイドパネルを取り外します。
2. マフラーを取り外します。このセクションのエキゾーストシステムを参照してください。
3. オイルフィルターエリアを清掃します。
4. 次の部品を取り外します。
   - オイルフィルターカバーのスクリュー
   - Oリング付きオイルフィルターカバー
   - オイルフィルター

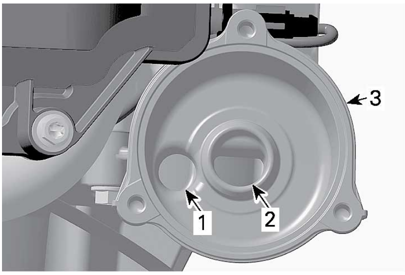


1. オイルフィルターカバーのスクリュー
2. オイルフィルターカバー
3. O-リング
4. オイルフィルター

5. 現地の環境規制に基づいてフィルターを処分してください。

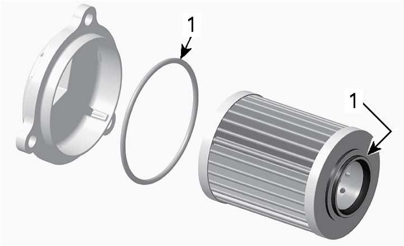
オイルフィルターの取り付け

1. （マグネトカバーの組み込み部品である）オイルフィルター容器のオイルフィルターインレットおよびアウトレットオリフィスに泥や汚染物質がないか点検します。



1. 油圧ポンプからのオイルインレット開口部
2. エンジン潤滑システムへのオイルアウトレット開口部
3. オイルフィルターソケット

2. **新品**の O リングをオイルフィルターカバーに取り付けます。
3. フィルターシールとカバーOリングにエンジンオイルを注油します。



1. エンジンオイルで潤滑します

4. オイルフィルターカバーを取り付けます。
5. オイルカバーのねじを規定のトルクで締め付けます。

締め付けトルク	
オイルフィルターカバーのスクリュー	10 N•m ± 1 N•m

6. マフラーを取り付けます。

エキゾーストシステム

エキゾーストシステムの確認

マフラーのテールパイプの中央を、下部のパンの出口穴の中心に揃える必要があります。エキゾーストシステムには錆や漏れがないようにしてくださ

い。すべての部品が確実に所定の位置にあることを確認してください。

リテーニングスプリングの状態を確認し、必要に応じて交換します。

エキゾーストシステムは、騒音を減らし、エンジンの性能全体を向上させるように設計されています。改造は現地の法律の違反になることがあります。

注記 エキゾーストシステムのコンポーネントを取り外した、改造したまたは損傷した場合、重大なエンジンの損傷が発生する恐れがあります。

スパークプラグ

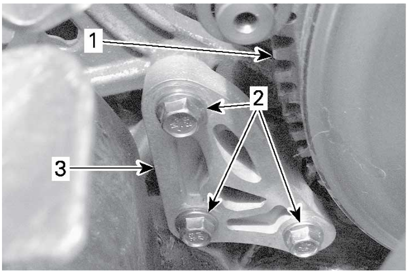
スパークプラグの点検または交換は、正規Ski-Dooディーラー、修理工場またはご自分で選んだ人が実行しても構いません。スパークプラグの点検または交換は、技術上の詳細な知識が必要です。義務ではないものの、正規Ski-Dooディーラーにスパークプラグの点検または交換を依頼するよう推奨します。

エンジンストッパー（600 HO E-TECおよび800R E-TEC）

エンジンストッパーの調整

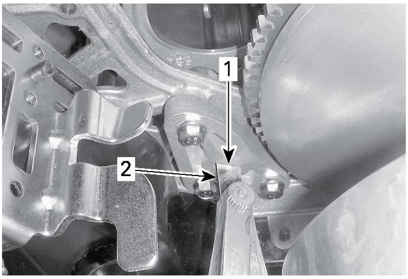
エンジンストッパーは、左前のエンジンサポート上、ドライブプーリーの前側にあります。

1. エンジンカットオフスイッチからテザーコードキャップを取り外します。
2. 左側ロアパネルを取り外します。*コントローラー類*、*計器類および装置*を参照します。
3. ドライブベルトガードを取り外します。このサブセクションの*ドライブベルトガードの取り外し*を参照してください。
4. エンジンストッパーをエンジンサポートに固定している3つのボルトを、垂直方向の遊びができる分だけ緩めます（1/2〜1回転）。



1. ドライブプーリー
2. エンジンストッパーボルト
3. エンジンストッパー

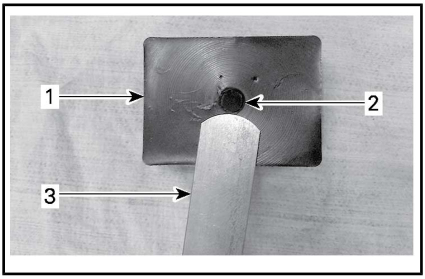
5. 0.5 mmの隙間ゲージをエンジンストッパー開口部に挿入します（図を参照してください）。



1. 開口部
2. 隙間ゲージ

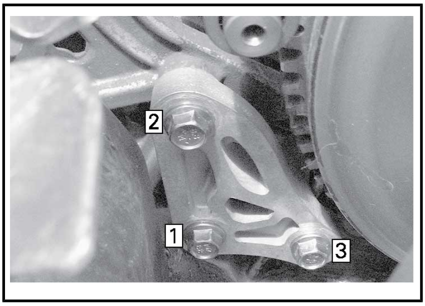
6. 隙間ゲージを（エンジン上の）エンジンストッパーとラバーストップブロックの間に置きます。

注：隙間ゲージを入れすぎないでください。入れすぎると、ラバーストップブロック表面の突き出し部を超えてしまい、調整状態が変わります。イラストを参照してください。



1. ラバーストップブロック
2. 突き出し部
3. 隙間ゲージ

7. 図面に示された手順に従い、ねじを指定されているトルクに締めます。フィーラーゲージを挟まない様に注意してください。



締め付け手順

締め付けトルク	
ストッパーボルト	10 N•m ± 2 N•m

注記 エンジンストッパーとそのボルトが正しく取り付けられていないと、プーリーに重大な損傷が生じます。

ブレーキオイル

推奨オイル

密閉容器に入っているDOT 4ブレーキオイルのみを使用してください。開封された容器は汚染されているか、空気からの湿気を吸収している可能性があります。

⚠ 警告

密閉容器に入っているDOT 4ブレーキオイルのみを使用してください。ブレーキシステムへの重大な損傷を避けるため、補充の際に推奨オイル以外のオイルを使用したり、異なるオイルを混合したりしないでください。

注記 ブレーキオイルは塗料とプラスチック部品に損傷を与えることがあります。取り扱いに注意してください。漏れた場合は入念にすすいでください。

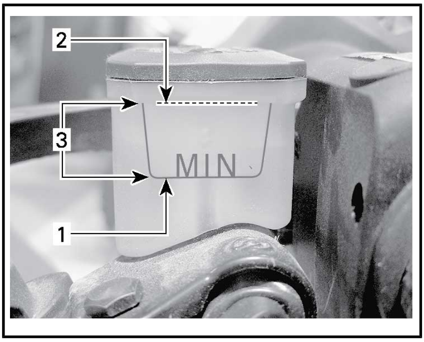
ブレーキオイルのレベル

水平面に車両を置いてください。

リザーバーのブレーキオイル (DOT 4) が適切なレベルにあるか確認します。オイル（DOT 4）を必要に応じて補充します。

⚠ 警告

密閉容器に入っているDOT 4ブレーキオイルのみを使用してください。ブレーキシステムへの重大な損傷を避けるため、補充の際に推奨オイル以外のオイルを使用したり、異なるオイルを混合したりしないでください。



1. 最小
2. 最大
3. 動作範囲

注記 ブレーキオイルは塗料とプラスチック部品に損傷を与えることがあります。取り扱いに注意してください。漏れた場合は入念にすすいでください。

ギヤボックスオイル

推奨ギヤボックスオイル

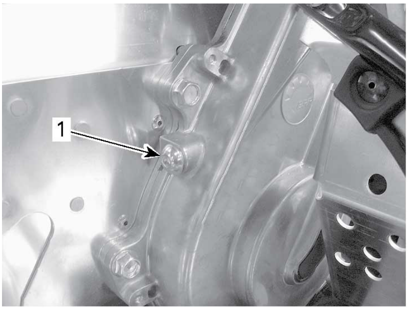
推奨ギヤボックスオイル	
北欧諸国	シンクロメッシュ・トランスミッション・合成オイル(欧州)(P/N 779211)
その他のすべての国	シンクロメッシュ・トランスミッション・合成オイル(P/N 779170)

注記 推奨されたXPSギアボックスオイルを入手できな場合、API GL-5基準を満たす75W140ギアオイルをご使用ください。本スノーモービルのギアボックスはXPS™オイルを使い開発・検証されました。BRPは常にXPSオイルを使用することをお勧めします。ギアボックスに不適切なオイルの使用によるギアボックスへの損傷はBRP保障の対象外とさせていただきます。

ギヤボックスオイルレベル

車両を水平面に置いて、ギヤボックス左側のチェックプラグを取り外してオイルレベルを確認します。

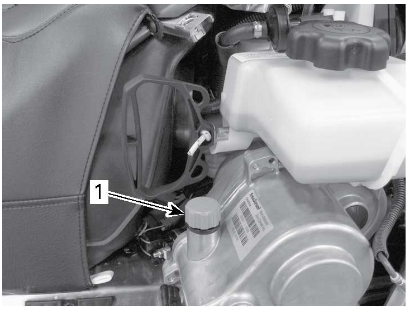
オイルレベルがねじ付き穴の下端に達していなければなりません。



1.　チェックプラグ

オイルを補充するには、以下のようにします。

1. フィラーキャップを取り外します。



代表例

1.　フィラーキャップ

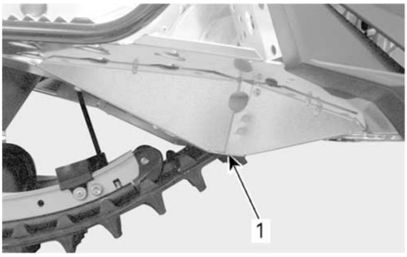
2. オイルがチェックプラグ穴から出てくるまで、推奨オイルをギヤボックスの注入口に注ぎます。
3. チェックプラグを取り付けて、規定トルクで締め付けます。

締め付けトルク	
チェックプラグ	10 N•m ± 1 N•m

ギヤボックスオイルの交換

ギヤボックスオイルの排出

1. 車両を平面に停車します。
2. ギヤボックスドレンプラグの下にドレンパンを置きます。
3. フィラーキャップを取り外します。
4. ギヤボックスの底にあるドレンプラグを取り外します。



1.　ドレンプラグへのアクセス穴

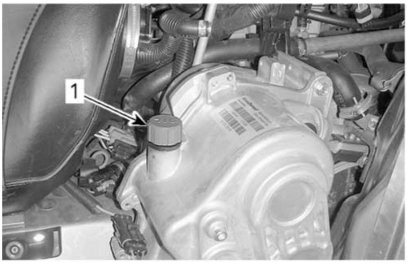
5. ギヤボックスからオイルがすべて流れ出るまで待ちます。
6. ドレンプラグを取り付け、規定トルクで締め付けます。

締め付けトルク	
ギヤボックス用ドレンプラグ	8 N•m

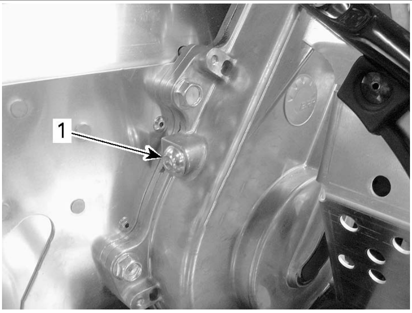
ギヤボックスオイルの充填

注： 車両は水平面上になければなりません。

1. フィラーキャップを取り外します。
2. オイルレベルチェックプラグを取り外します。



1. フィラーキャップ



1. チェックプラグ

3. 推奨オイルをギヤボックスの注入口に注ぎます。

注： チェックプラグのオリフィスから流出し始めると、オイルは適正レベルに達しています。

4. チェックプラグを取り付けて、規定トルクで締め付けます。

締め付けトルク	
オイルレベルチェックプラグ	10 N•m

ドライブベルト

駆動ベルトの点検

ベルトにひび割れ、擦り切れまたは異常な摩耗（偏磨耗、一方の端の摩耗、コグの脱落、ひび割れた織物）がないか点検します。異常な摩耗が認められた場合、考えられる原因は、プーリーのミスアライメント、トラック凍結時の過度に高い回転速度、暖機しないままでの速やかな発車、マクレのあるまたは錆びた綱車、オイルの付着したベルト、または歪んだスペアベルトです。正規 Ski-Doo ディーラーに相談してください。

予備ドライブベルト

予備ドライブベルトはストレージボックスに保管できます。

ドライブベルトの交換

ドライブベルトの取り外し

1. エンジンカットオフスイッチからテザーコードキャップを取り外します。
2. 左側サイドパネルを取り外します。このセクションの*コントローラー類、計器類および装置*を参照します。
3. ドライブベルトガードを取り外します。*ベルトガードの取り外し*を参照します。
4. 図に示すように、車載工具に付属のドリブンプーリーエキスパンダーを、アジャスターハブのねじ穴に差し込みます。

アジャスターハブのプーリーエキスパンダー

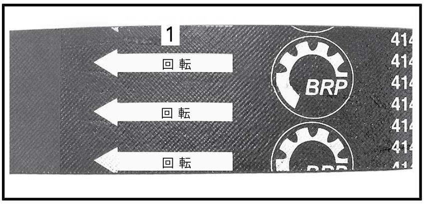
5. ツールをねじ込んで、ドリブンプーリーを開きます。
6. ベルトをドリブンプリーの上から通し、ドライブプリ一から引き上げることでベルトを外せます。

ドライブベルトの取り付け

1. 必要に応じて、ドリブンプーリーを開きます。上記の*ドライブベルトの取り外し*を参照してください。
2. ベルトをドライブプーリーの上を滑らせてから、ドリブンプーリーの上を滑らせます。

注記 ベルトを力任せに、またはツールを使用して無理に所定の位置に入れないでください。そのようにすると、ベルト内のコードが切断または破損する恐れがあります。

注：ドライブベルトを、矢印で示される回転方向に取り付けると、ドライブベルトの寿命が最長になります。



1.　回転方向が示される

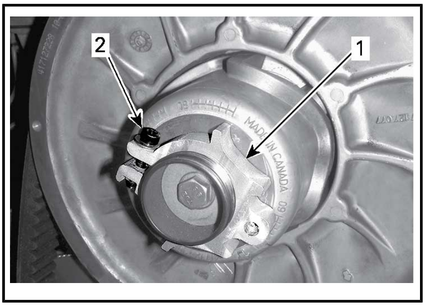
3. ドリブンプーリーエクスパンダーのスクリューを緩め、プーリーから外します。
4. ドリブンプーリーを数回回転させ、ベルトをシーブ間に正しくセットします。
5. 新品のベルトが取り付けられる場合、適正なベルト高さに調整する必要があります。以下の*ドライブベルトの高さの調整*を参照してください。
6. ドライブベルトガードを取り付けます。*ドライブベルトガードの取り付け*を参照します。
7. サイドパネルを閉じます。*サイドパネル*の項目が*コントローラー類、計器類および装置*サブセクションにあるので参照します。

ドライブベルトの高さの調整

新しいベルトを取り付けた場合にはいつも、また走行前点検の中で、必ずドライブベルトの高さを点検しなければなりません。

ドライブベルトの高さを調整するには、以下のようにします。

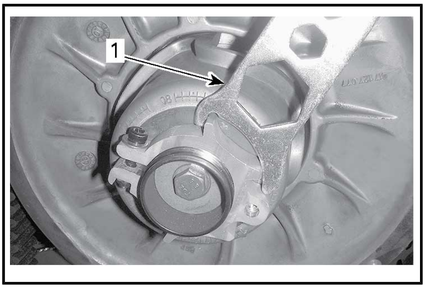
1. テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き抜きます。
2. 左側サイドパネルを開きます。このセクションの*サイドパネル*の項目が*コントローラー類、計器類および装置*サブセクションにあるので参照します。
3. ベルトガードを取り外し、*ドライブベルトガード取り外し*を参照してください。
4. クランピングボルトを緩めます。



アジャスターハブ

1.　アジャスターハブ
2.　クランピングボルト

5. 工具キットで提供されているサスペンション調整ツールを使い、リングを1/4回転毎に締め、ドリブンぷプリーを回転することで、ベルトを正しくプリーシーフの間に正しく設置します。

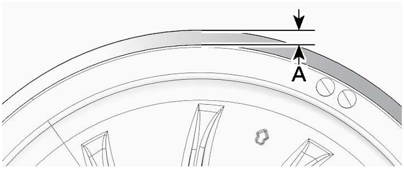


アジャスターハブ

1.　サスペンション調整ツール

注：調整リングには左側トレッドがあります。

ドライブベルトがドライブベルトの縁を超えるまで手順5を繰り返します0 mm ～ 2 mm。



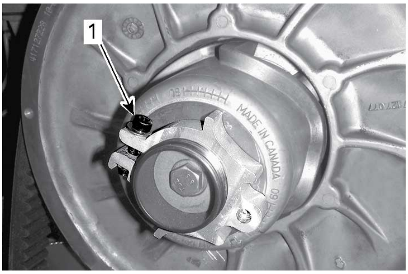
予備設定

A. 0 mm ～ 2 mm

注：リングを反時計回りすると、プリーのベルトを下げる。リングを時計回りに回すと、プーリー内でベルトが上がります。

6. クランピングボルトを仕様値まで締め付けます。

締め付けトルク	
クランピングボルト	5.5 N•m ± 0.5 N•m



1. クランピングボルト

7. ドライブベルトガードを取り付けます。*ドライブベルトガードの取り付け*の説明に従って開きます。
8. サイドパネルを閉じます。*サイドパネル*の項目が*コントローラー類、計器類および装置*サブセクションにあるので参照します。

注：この設定は、ほとんどのモデルとベルトタイプの予備調整として適切です。場合によっては、エンジン始動時に車両が前進する可能性があり、これは、ベルトが過度に締められていることを示す。

車両がクリープする場合は、ドライブベルトの高さを予備設定より低くしてください。クリープしなくなるまで手順を繰り返します。

リバースの作動

注：ドリブンプーリーの中でのベルトの位置が高すぎると、リバース機能を動作させられないか、動作するのが困難になることがあります。リバース機能が正常に作動しない場合、ドライブベルトが正しく調整されているかどうか確認してください。必要に応じて、ドライブベルトの位置を調整して、ドリブンプーリー内で低くします。

ドライブプーリー

ドライブプーリーの調整

どのドライブプーリーも、海抜高度での運転を想定して工場での較正が行われています。

900 ACEおよび1200 4-TECモデル

調整できません。

E-TECモデル

600 HO E-TECのドライブプーリーは十分な調整が可能です。

> **⚠ 警告**
>
> テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き抜いて、調整を行います。車両を、トレールから離れた安全な場所に停車させてください。

ドライブプーリーは、エンジンの最大出力を規定回転数で転送するように工場で較正されています。外気温、高度または表面状態などの要因は、この重要なエンジン回転数を変動させ、その結果、スノーモービルの効率に影響を与えます。

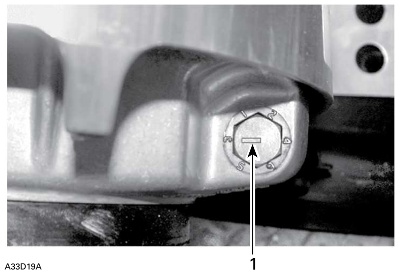
この調整式ドライブプーリーが、設定エンジン最高回転数が最大出力を維持することを可能にします。

実際のエンジン最高回転数が最大出力回転数と一致するように、較正ねじを調整してください。

エンジン	最高出力時回転数
600 HO E-TEC	8,100 rpm (± 100)
800RE-TEC	7,900 rpm (± 100)

注：エンジン回転数の調整には精度の高いデジタルタコメーターを使用してください。調整は高い回転数にのみ影響を与えます。

較正ネジは、頭部の上にノッチがあります。



代表例

1.　ノッチ

1～6までの番号が付けられた6つの位置があります。

位置を1つ動かすと、エンジン回転数が最大で約200 rpm変わります。

位置番号を1つ小さくするとエンジン回転数が200 rpm単位で減り、位置番号をを1つ大きくするとエンジン回転数が200 rpm単位で増えます。

例:

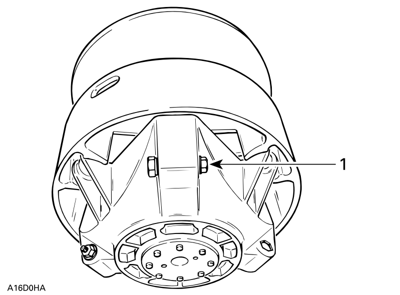
較正ネジは位置4に設定されており、位置6に変更されます。これにより、最大エンジン回転数は400 回転高くなります。

手順

較正ネジをある程度引き出せるようになるまでロックナットを緩め、目的の位置になるよう調整します。ロックナットを完全に取り外さないでください。ロックナットを仕様値で締め付けます。

締め付けトルク	
ロックナット	10 N•m ± 2 N•m

注記 較正ねじを完全に取り外さないでください。完全に取り外すと、内部のワッシャが落下します。必ず3個のカムすべてを調整し、すべてのカムを同じ位置に設定します。



代表例

1.　較正ねじを回転できるように緩める

⚠ 警告

決してドライブプーリーを分解または改造しないでください。
不適切な組立てや改造をすると、高速回転のために発生する応力により、プーリーが激しく爆発する恐れがあります。
ドライブプーリーをメンテナンスまたは整備するためには、Ski-Dooディーラーに相談してください。不適切な整備やメンテナンスは、性能に影響をおよぼし、ベルトの寿命を縮めます。必ずメンテナンススケジュールを遵守してください。

⚠ 警告

以下の場合は、絶対にエンジンを作動させないでください。

- シールドとベルトガードがしっかり取り付けられていない。
- フードやサイドパネルが開いている、または取り外されている。

エンジンが動作している間は、決して可動部分の調整をしないでください。

トラック

トラック状態

⚠ 警告

別途指定されている場合を除き、メンテナンスや調整を行う前には、テザーコードキャップを取り外してください。車両を、トレールから離れた安全な場所に停車させてください。

テザーコードキャップを取り外します。

スノーモービルのリアを持ち上げ、それをリアデフレクターパネル付きの底面の広いスノーモービル機械式スタンドで支えます。エンジンを停止させ、トラックを手で回して、状態を点検します。摩耗したり切れている場合、トラックの繊維が露出している場合、または脱落したり破損しているインサートやガイドが認められる場合は、正規 Ski-Doo ディーラーに相談してください。

トラクション強化製品を搭載するスノーモービル

スノーモービルがBRP認定スタッド付きトラックを搭載している場合、使用する前に毎回、必ずトラックを目視点検してから作業を進めてください。

以下のような不具合を探してください。

- トラックに穴が開いていないか
- トラックに裂け目がある (特にスタッド付きトラックのトラクションホールの周辺)
- ラグが破損または断裂している、ロッドの露出している部分
- ラバーの剥離
- ロッドの破損
- スタッドの破損 (スタッド付きトラック)
- スタッドが曲がっている(スタッド付きトラック)
- スタッドが脱落している
- スタッドが裂けてトラックから外れている
- トラックガイドが脱落している
- また、スタッドナットが推奨トルクで締め付けられていることを確保してください。

認定されたスタッド付きトラックでは、破損または損傷したスタッドはただちに交換してください。トラックに劣化の兆候があれば、ただちに交換する必要があります。疑問がある場合は、ディーラーに尋ねてください。

⚠ 警告

損傷したトラックやスタッドが取り付いた状態で走行すると、操作不能な状態に陥り、重傷や死亡事故を引き起こす場合があります。

トラクション強化製品についての完全な情報については、オペレーターズガイドの冒頭にある*安全情報*セクションの*トラクション強化製品*と題されたセクションを参照してください。

トラックの張力とアライメント

注：トラックの張力とアライメントは相互に関係しています。一方なしに他方を調整しないでください。

⚠ 警告

スノーモービルのそばにいる人が重傷を負わないようにするために、以下のことを行ってください。

- 決して動作しているトラックの後ろやそばに立たないでください。
- トラックを回転させる必要がある場合は、必ずリアデフレクターパネルが付いた、底面の広いスノーモービルスタンドを使用してください。
- トラックを引き上げて地面から離す場合は、一番低い速度で動作させてください。

遠心力によって異物、裂けたトラックの断片、または裂けたトラックが丸ごと、相当な力でトンネルから後方に激しく飛ばされる恐れがあります。

トラック張力の確認

注：トラック張力の調整をする前に、約15〜20分スノーモービルを走行させます。

1. エンジンカットオフスイッチからテザーコードキャップを取り外します。

2. 車両の後部を持ち上げ、後部を地面から離して支えます。

⚠ **注意** 適切な方法で持ち上げてください。特に脚力を利用してください。自分の限界を超えると考えられる場合は、車両の後部を持ち上げようとしないでください。

3. リアサスペンションを完全に伸ばします。
4. このとき 張力計 (P/N 414 348 200) を使用します。

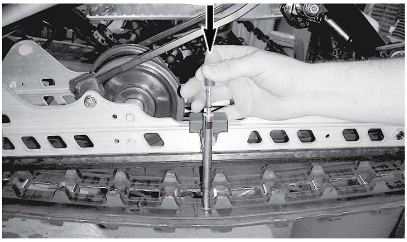
5. 下部Oリングを使用してたわみを設定します。

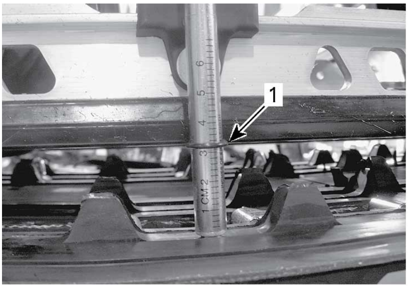
たわみ量
40 mm ～ 50 mm

たわみ量の設定

1. 基準値に合わせて設定された下部Oリング

6. 上部Oリングを0 kgfにセットします。
7. 張力計をトラックにセットします。すなわち、フロントアイドラーホイールとリアアイドラーホイールの間にセットします。
8. 張力計を押し下げて、下部Oリング（前に設定したたわみ量）の位置をスライダーシューの底部に合わせます。





1. たわみ量Oリングの位置がスライダーシューの位置と揃う

9. 張力計の上部Oリングが記録する荷重を読み取ります。

荷重読取値

1. 上部Oリング

10. 荷重読取値は下表に従っている必要があります。

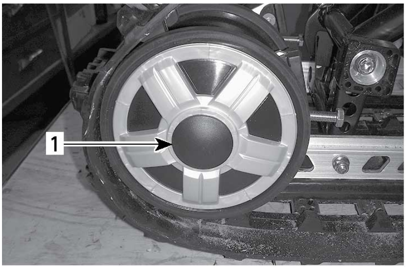
トラック調整基準値	
トラックのたわみ設定	40 mm ～ 50 mm
トラック荷重読取値	7.3 kgf

11. 荷重読取値が基準値と一致しない場合、トラックの張力を調整します。*トラック張力調整*を参照してください。

注記 聴力が高すぎると動力のロスにつながり、サスペンションコンポーネントに過剰な力がかかります。

トラック張力調整

1. テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き抜きます。
2. リアホイールキャップを外します（装備されている場合のみ）。



1.　右リアアイドラーホイールキャップ

3. リアアイドラーホイールの固定ボルトを緩めます。

1.　右側のリアアイドラーボルト

4. 両方の調整ねじを締めるか、あるいは緩めて、トラックの張りを増大／減少させます。

1.　右調整ねじ

5. 正しい張力を達成できない場合は、正規Ski-Doo dディーラーに相談してください。

6. 固定ボルトを締め直します。

締め付けトルク	
固定ボルト	48 N•m ± 6 N•m

7. 以下の要領で、トラックアライメントを点検します。

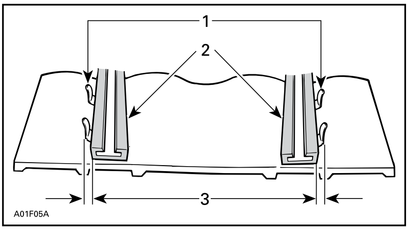
トラックアライメント

警告

トラックアライメントを点検する前に、トラックが回転するとき投げ出される恐れのある粒子がトラックに付いていないことを確認します。手、工具、足および衣服がトラックに触れないよう十分注意してください。必ず、リアデフレクターパネル付きの底面の広いスタンドでスノーモービルを持ち上げます。スノーモービル周辺、特にトラックの後部に、人が立っていないことを確認します。決してトラックを高速で回転させないでください。
遠心力により、異物、損傷もしくは脱落したスタッド、裂けたトラックの断片、または裂けたトラックが丸ごと、恐ろしい力でトンネルから後方に激しく飛ばされる恐れがあります。

エンジンを始動してわずかに加速させて、トラックをゆっくり（かろうじて回転するくらいで）回転させます。これは短時間（約5秒）で済ませる必要があります。

トラックが十分センター出しされているか点検します。トラックガイドとスライダーシューのエッジ間の両側が等距離になることが重要です。



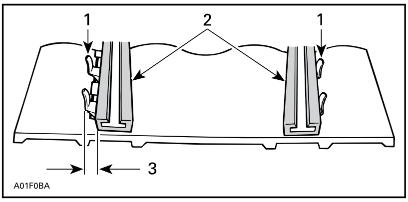
1.　ガイド
2.　スライダーシュー
3.　等距離とする

中心がずれている場合は、次のように位置を揃えます。

警告

別途指定されている場合を除き、メンテナンスや調整を行う前には、テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから抜き取ってください。車両を、トレールから離れた安全な場所に停車させてください。

1. テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き抜きます。
2. リアアイドラーホイールの固定ボルトを緩めます。
3. スライダーシューがトラックインサートガイドから一番遠い側で、調整ボルトを締め付けます。



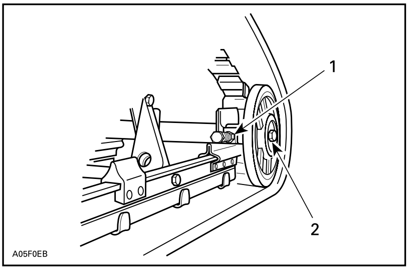
1. ガイド
2. スライダーシュー
3. こちら側を締め付ける

4. ロックナットを締めます。
5. アイドラーホイール固定ボルトを仕様値まで締め付けます。

締め付けトルク	
アイドラーホイール固定ボルト	48 N•m ± 6 N•m

警告

アイドラーローラーが緩んだりトラックがロックしたりするのを防止するため、すべての締結具が適切に締め付けられていることを確認してください。



代表例
1. ロックナット
2. 固定ボルト

6. エンジンを始動し、トラックをゆっくり回してアライメントを再点検します。
7. スノーモービルを再び地面に置きます。
8. リアホイールキャップを取り付ける (装備されている場合のみ)。

サスペンション

リアサスペンションの状態

スライダーシュー、スプリング、ホイールなど、すべてのサスペンションコンポーネントを目視点検します。

注： 通常走行中、雪はスライダーシューにとって潤滑剤およびクーラントとして機能します。氷または砂混じりの雪の上を長時間走行すると、過度の熱が蓄積し、スライダーシューの早期摩耗が発生します。

サスペンションストッパーストラップの状態

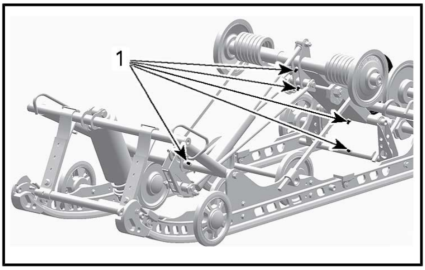
ストッパーストラップに摩耗やひび割れがないか、ボルトとナットに締め付けられているかを点検します。緩ければ、穴が変形していないか点検します。必要に応じて交換します。仕様通りにナットを締め付けます。

締め付けトルク	
ストッパーストラップナット	9 N•m ± 1 N•m

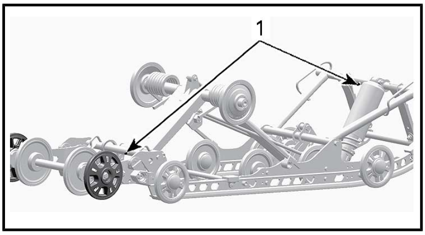
リアサスペンションの潤滑

グリスフィッティングからリアサスペンションを潤滑します。メンテナンスの頻度については、*メンテナンススケジュール*を参照してください。

サスペンショングリース	
北欧諸国	サスペンション用合成グリース (EUR) (619590193) (P/N 779226)
その他のすべての国	サスペンション用合成グリース (293550033) (P/N 779163)



1.　グリースフィッティング



1.　グリースフィッティング

ステアリングとフロントサスペンションの状態

ステアリングとフロントサスペンションに(ステアリングアーム、コントロールアームおよびリンク、タイロッド、ボールジョイント、スキーボルト、スキーレッグなど) コンポーネントの締め付けがあるか、目視点検します。必要に応じて、正規 Ski-Doo に相談してください。

スキー

スキーとランナーの摩耗と状態

スキーとスキーランナーカーバイドの状態を点検します。摩耗していれば、正規 Ski-Doo に相談してください。

⚠ 警告

過度に摩耗したスキーやスキーランナーは、スノーモービルの制御に悪影響を与えます。

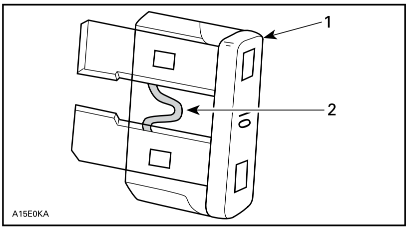
ヒューズ

ヒューズの点検

電気システムはヒューズによって保護されています。

ヒューズの状態を確認して、必要に応じて交換します。

ヒューズをホルダーから取り外し、ヒューズを引き出します。フィラメントが溶けているか点検します。



1.　ヒューズ
2.　溶けていないか確認

⚠ 警告

高い定格のヒューズを使用しないでください。

⚠ 警告

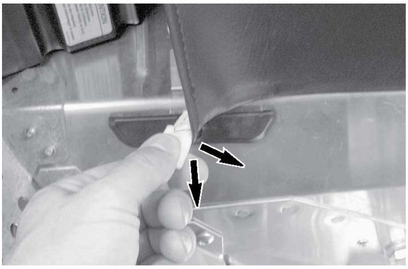
ヒューズが燃え尽きたあと、再始動する前に、不具合の原因を特定し、解消してください。整備については正規 Ski-Doo ディーラーに相談してください。

ヒューズの位置

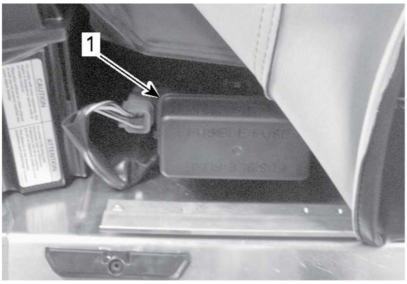
ヒューズボックスは、シートの左前の下側にあるフロントシートカバーの裏にあります。

ヒューズの識別については、ヒューズボックスカバー内側のデカールまたは*仕様*のサブセクションを参照してください。

ヒューズボックスにアクセスするには、プラスチック製ストリップを下に引きながら横に動かして、アルミ製エクステンションからシートカバーを慎重に外します。



代表例 - ストリップを引く



1. ヒューズボックス

ストリップをアルミ製エクステンションに押し戻してカバーを閉じます。

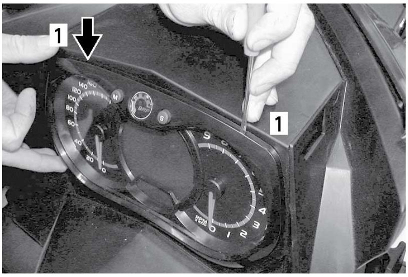
ライト

バルブ交換後は必ずライトの動作を確認してください。

ヘッドライトバルブの交換

注記 ハロゲンバルブのガラス部分を決して素手で触らないでください。バルブの寿命が短くなります。ガラス部分を触ってしまった場合、イソプロピルアルコールで拭き取れば、バルブの表面に膜を残さないですみます。

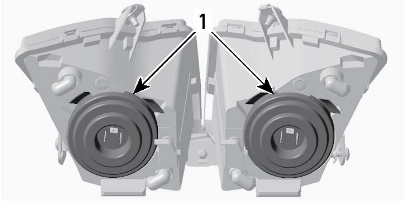
1. 小型のドライバーを使用して多機能ゲージのロッキングタブを外します。



1. ロッキングタブ

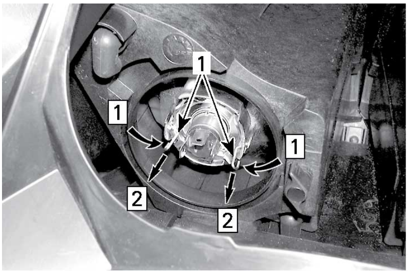
2. 多機能ゲージを軽い力で引き出して、横に置きます。

3. 切れたバルブのコネクターを外します。ラバーブーツを外します。



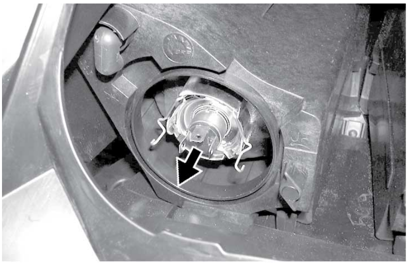
1. ラバーブーツ

4. バルブサポートから留めクリップを外しするには、クリップの両側を押して引き抜きます。



手順 1：両側を押す
手順 2：引いて解除する
1.　リテーニングクリップ

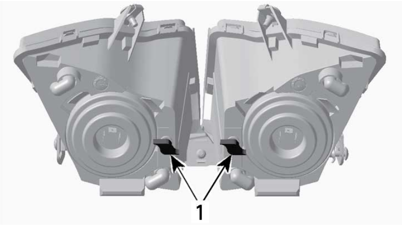
5. バルブを引き抜いて取り換えます。部品を正しく取り付けます。



バルブを引き抜いて取り換えます

ヘッドライトビーム光軸

多機能ゲージを取り外します。ヘッドライトバルブの交換を参照してください。ノブを回してビームの高さを調整します。



代表例
1.　ノブ

テールランプバルブの交換

1. テールランプアセンブリの両側を持って、慎重に引っ張ります。

注記 テールランプアセンブリを横方向に無理に動かすと、プラスチックの固定ピンが破損することがあります。テールランプを外すときには、横方向に動かさないようにしてください。

2. テールランプアセンブリからランプソケットを取り外します。
   - 2.1　ソケットを反時計回りに回します。
   - 2.2　ソケットを引き出します。
3. バルブを交換します。
4. ソケットをテールランプアセンブリに固定します。
5. テールランプアセンブリを元の場所に押し込みます。

車両のお手入れ

使用後のお手入れ

雪と氷をリアサスペンション、トラック、フロントサスペンション、ステアリングメカニズムおよびスキーから取り除きます。

⚠ 警告

テザーコードキャップがエンジンカットオフスイッチから引き抜かれていることを確認してから、車両の前に立ち、トラックまたはリアサスペンションコンポーネントに近づきます。

スノーモービルを一晩中、または長期間使用しないで戸外に置いておく場合は、必ずカバーをかけます。これは、スノーモービルを霜や雪から保護し、外装を保持するのに役立ちます。

車両の清掃と保護

汚れまたは錆をすべて取り除きます。

車両全体を清掃する際には、必ずマイクロファイバークロスまたは同等品を使用します。

注記 表面に傷つけるのを避けるために、マイクロファイバークロスまたは相当品を風防とボンネット使う必要があります。

グリース、オイルおよび汚れを除去するには、BRPヘビーデューティクリーナー (P/N 293 110 001).BRPヘビーデューティクリーナーを使用してください。

注記 デカールまたはビニル部分にはヘビーデューティクリーナーを使用しないでください。

プラスチックやビニールの表面から頑固な汚れを取り除くには、XPS多用途クリーナー (P/N 219 701 709)を使用してください。

注記 プラスチックの部品やフードを、決して、強力な洗浄剤、脱脂剤、塗料シンナー、アセトン、塩素を含む製品などで清掃しないでください。

車両の塗装部分をよりよく保護するために、ワックスを塗ってください。

注：光沢仕上げの物にだけワックスを塗布してください。

保管

夏の間、またはスノーモービルが3か月以上使用しない場合、適切に保管することが必要です。

保管
車両を清掃する
燃料システムを保護するために、製品生産者の推薦に沿って、燃料スタビライザーを添加してください。 スタビライザー添加後にエンジンを運転してください。
E-TECモデル:エンジンを潤滑します。このサブセクションの*エンジン保管モード（E-TEC）*を参照してください。
ブレーキレバーピボットの潤滑
リアサスペンションの点検および潤滑
保管中にバッテリーの充電状態を維持するため、毎月充電してください。
マフラーを布でカバーする
トラックが地面から離れるまで、車両の後部を持ち上げる。トラックの張りをリリースしないこと。

注意　適切なリフト装置を使用するか、手助けを得て持ち上げる力を分担します。リフト装置を使用しない場合、正しい持ち上げ方をします。特に脚力を使用します。自分の限界を超えると考えられる場合は、車両の後部を持ち上げようとしないでください。

注記 スノーモービルは、涼しい乾燥した場所に保管し、通気性のある不透明のシートをかけることが必要です。このようにすれば、日光とホコリがプラスチックコンポーネントと車両の仕上げに影響するのを防げます。

エンジン保管モード (E-TEC)

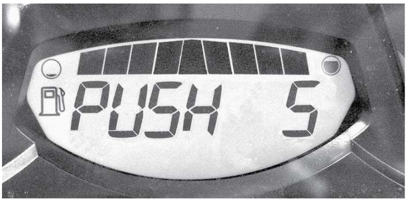
他のエンジン同様に、E-TECは、保管する際、内部の部品を保護するために正しく潤滑する必要があります。E-TECシステムはエンジン保管潤滑機能(夏準備)を搭載しており、オペレーターにより実行できます。

作業を行うには、以下のことをしてください。

1. 車両を十分換気されている場所に置きます。
2. エンジンを始動させて、エンジンが動作温度になるまでアイドリング回転数で動作させせます(ディスプレイ上のクーラント温度を監視するか、リア熱交換器が温かくなるのを確認します)。
3. SET（S）（設定）ボタンを押して、オドメーターモードを選択します。

注：保管モードは、ほかのモード（走行A、走行Bおよび走行時間）では機能しません。

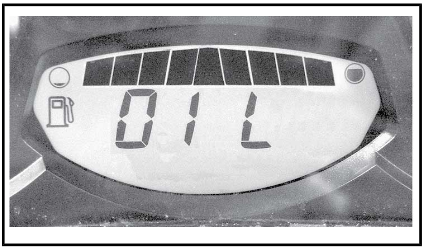
4. HI/LOWビームスイッチを素早く繰り返し押し、**その間**、**SETボタン**を**PUSH “S”**が表示されるまで押したままにしておきます。



5. ゲージに**PUSH “S”**が表示されたら、すべてのボタンを放します。
6. SET（S）（設定）ボタンを再び2～3秒押し続けます。

注：保管手順が開始されると、ゲージに**OIL**と表示されます。

7. ゲージが**OIL**を表示したら、ボタンを放して、潤滑機能が終了するのを待ちます。



エンジン潤滑サイクル中は何にも触らないでください。

エンジン潤滑機能は約1分を要します。このとき、エンジンの回転数は1,600回転まで若干高くなり、オイルポンプがエンジンに「オイルを注入」します。

エンジン潤滑機能が終了したときに、ECMはエンジンを停止させます。

エンジンカットオフスイッチからテザーコードキャップを取り外します。

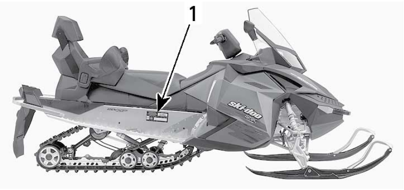
注記 保管期間中はエンジンを始動しないでください。

技術情報

車両識別表示

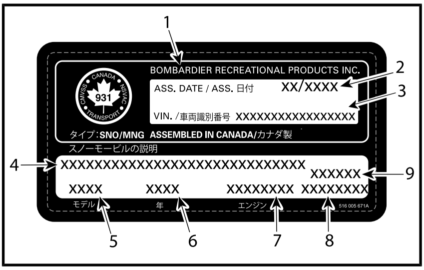
車両説明デカール

車両説明デカールはトンネルの右側にあります。



代表例

1.　車両説明デカール



車両説明デカール

1.　メーカー名
2.　製造日
3.　車両識別番号（VIN）
4.　モデル名およびパッケージ名
5.　モデル番号
6.　年式
7.　エンジンタイプ
8.　車両重量（ヨーロッパモデル）
9.　車両エンジン出力（ヨーロッパモデル）

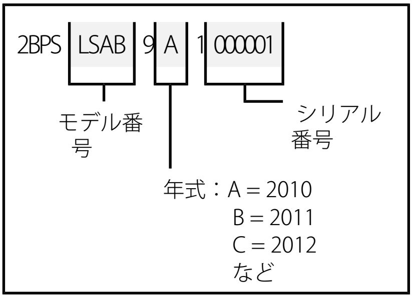
識別番号

ご使用のスノーモービルのメインコンポーネント(エンジンとフレーム)は、別の識別番号により特定されます。保証のために、または失った場合にはスノーモービルを追跡するために、上記番号の位置を特定することが、時に必要になることがあります。正規 Ski-Doo ディーラーは、保証請求を正しく完了するためにこれらの番号を必要とします。当社は、ご使用のスノーモービルのすべての識別番号を記録しておき、それらを保険会社に知らせることを強く推奨します。

車両識別番号（VIN）

VINは車両説明デカールに記載されています。上をご覧ください。VINはまた、車両説明デカールの近くのトンネルに刻印されています。

モデル番号および年式はVINに含まれる情報の一部です。イラストを参照してください。

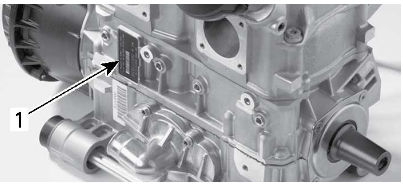


エンジン識別番号

下記の図を参照して、該当のエンジンのエンジン識別番号の位置を確認します。

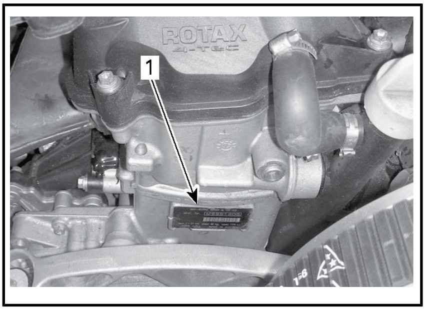
代表例 - 600 HO E-TECエンジン

1.　エンジンシリアル番号



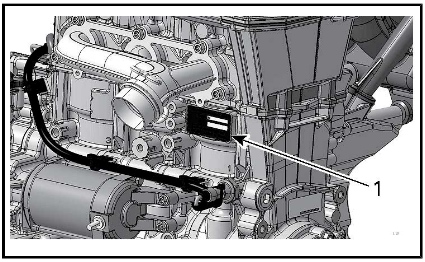
800R E-TECエンジン

1.　エンジン識別番号



1200 4-TECエンジン

1.　エンジンシリアル番号



900 ACEエンジン

1.　エンジン識別番号

騒音放出と振動値 (すべての国、ただしカナダ/米国を除く)

モデル		600 HO E-TEC	800R E-TEC	1200 4-TEC	900 ACE
騒音放出および振動値[1]					
騒音	音響出力レベル (L_{WA})	4,050 rpmで96.7 dB（不確定性（K_{wa}）3 dB）	3,950 RPMで99.3 dB（不確定性（K_{wa}）3 dB）	3,900 RPMで98.1 dB（不確定性（K_{wa}）3 dB）	3,625 rpmで92.7 dB（不確定性（K_{wa}）3 dB）
	音圧 (L_{pA})	4,050 rpmで86 dB（不確定性（K_{pA}）3 dB）	3,950 rpmで89 dB（不確定性（K_{pA}）3 dB）	3,900 rpmで87 dB（不確定性（K_{pA}）3 dB）	3,625 RPM RPMで80 dB（不確定性（K_{pA}）3 dB）
振動	手腕系	<2.5m/s^2、4,050 rpm時	<2.5m/s^2、3,950 rpm時	<2.5m/s^2、3,900 rpm時	<2.5m/s^2、3,625 rpm時
	着座時の身体全体	<0.5m/s^2、4,050 rpm時	<0.5m/s^2、3,950 rpm時	<0.5m/s^2、3,900 rpm時	<0.5m/s^2、3,625 rpm時

1：騒音放出および振動値は、ISMA 1:2014に従って、ニュートラルまたはベルトのない状態で舗装面上で、測定されます。

EC適合宣言は『オペレーターズガイド』のこのバージョンには含まれていません。

車体に付属の印刷バージョンを参照してください。

米国環境保護庁認証エンジン

エンジンの排出ガスに関する情報

製造者の義務

2007年型エンジン以降、スノーモービルエンジンのスノーモービルメーカーは各エンジン出力ファミリーごとに排出ガスレベルを特定し、これらのエンジンを米国環境保護庁 (EPA) に認証してもらうことを必要とします。これに伴い、有害排出物のレベルとエンジンの仕様を表示した排出ガス制御情報ラベルを、製造の時点で車両に貼付しなければなりません。

ディーラーの義務

排出ガス規制情報ラベルが貼付されている認証Ski-Dooスノーモービルを整備するとき、調整値を発表された工場基準値以下に抑える必要があります。

排出ガス関連部品の交換または修理は、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持できるような方法で行われなければなりません。

ディーラーでは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様値を超えるようなエンジンの改造を行ってはいけません。

高度調整などのように、メーカーの指示による変更は例外とします。

オーナーの義務

オーナー／オペレーターには、有害排出物レベルを所定の認証基準以内に維持するためのエンジンのメンテナンス実施が要求されます。

オーナー/オペレーターは、エンジンの出力を変更したり、有害排出物のレベルが定められたメーカーの仕様値を超えるようなエンジンの改造を自ら行ったり、誰かに行わせてはなりません。

EPA排出ガス規制

BRPが製造したすべてのSki-Dooスノーモービルは、新型スノーモービルエンジンから排出される大気汚染物質の抑制のための規制の要件に適合するものとして、EPAにより認証されています。この認証は特定の調整個所をメーカー基準値に合わせることが条件となっています。このため、製品の整備に関するメーカーの指定手順は厳密に守られなければならず、現実的に可能な限り、設計の当初の意図に忠実な形で行われなければなりません。

上記の責任は概略であり、スノーモービル製品の排出ガスに対するEPA要件の規則や規制の完全なリストではまったくありません。この件についてより詳しい情報をお求めの場合は、下記にお問い合わせください：

問い合わせ先

U.S. Environmental Protection Agency
Certification Division
Gasoline Engine Compliance Center
2000 Traverwood Drive
Ann Arbor MI 48105
USA

インターネットWEBサイト

www.epa.gov/otaq

無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム（無線周波数D.E.S.S.キー）

この装置は、FCC（米国連邦通信委員会）第15部およびIndustry Canada（カナダ産業省）ライセンス免除RSS基準に準拠しています。

操作には、以下の二つの状態が条件です。(1)この装置は干渉を発生させません。また、(2)この装置は、装置に望ましくない動作を発生させる恐れのある干渉を含めて、あらゆる干渉に順応する必要があります。

コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

IC (カナダ産業省) 登録番号：
12006A-M01456

FCC ID:2ACERM01456

私は、コンプライアンス責任者として、この機器は以下の欧州委員会指令に準拠していることを、全責任をもって宣言します。2014/53/EU。この宣言に関連するものは、必須要件およびその他の関連要件に準拠しています。この製品は、以下の指令、整合規格および規制に準拠しています。

無線装置指令(RED) 2014/53/EUおよび整合規格：

EN 300 330-2、EN 60950-1

仕様

システム	モデル
エンジン	**600 HO E-TEC**
エンジンタイプ	Rotax® 593、リードバルブ付き水冷、3D-RAVE
シリンダー	2
排気量	594.4 cm^3
ボア	72 mm
ストローク	73 mm
最高出力時回転数	8,100 rpm
燃料噴射システム	E-TECダイレクトインジェクション
エキゾーストシステム	シングル調整済みパイプ、バッフルマフラー
噴射用オイル	北欧諸国：2T E-TEC合成オイル（EUR）（293600132） (P/N 779281)または2T炭素化合プレミアム鉱物油（EUR）（619590103） (P/N 779276) その他のすべての国:2T E-TEC合成オイル（293600132） (P/N 779126)または2T炭素化合プレミアム鉱物油（293600117） (P/N 779119) または同等品。*推奨オイル*を参照してください。
噴射オイルタンク容量	2.8 L
クーラント	エチルグリコールと水の混合液（クーラントおよび蒸留水を50%ずつ)。 北欧諸国： ロングライフプレミッククーラント（EUR） (219702685) (P/N 779223) その他のすべての国:ロングライフプレミッククーラント (219702685) (P/N 779150)またはアルミ製エンジン専用クーラント
推奨燃料	無鉛プレミアム。 詳しくは*燃料に関する要件*を参照してください。
最低オクタン価	91 AKI (RON+MON)/2
	92 RON
燃料タンク容量	45 L

システム	モデル
エンジン	**800R E-TEC**
エンジンタイプ	Rotax®797、リードバルブ付き水冷、3D-RAVE
シリンダー	2
排気量	799.5 cm^3
ボア	82 mm
ストローク	75.7 mm
最高出力時回転数	7,900 rpm
燃料噴射システム	E-TECダイレクトインジェクション
エキゾーストシステム	シングル調整済みパイプ、バッフルマフラー
噴射用オイル	北欧諸国： 2T E-TEC合成オイル（EUR）（293600132） (P/N 779281)または 2T炭素化合プレミアム鉱物油（EUR）（619590103） (P/N 779276) その他のすべての国:2T E-TEC合成オイル (293600132) (P/N 779126)または 2T気化プレミアム鉱物オイル(293600117) (P/N 779119) または相当品。*推奨オイル*を参照してください。
噴射オイルタンク容量	2.8 L
クーラント	エチルグリコールと水の混合液（クーラントおよび蒸留水を50%ずつ)。北欧諸国： ロングライフプレミッククーラント（EUR） (219702685) (P/N 779223) その他のすべての国:ロングライフプレミッククーラント (219702685) (P/N 779150)またはアルミ製エンジン専用クーラント
推奨燃料	無鉛プレミアム 。*燃料要件を参照*
最低オクタン価	95（10%以下のエタノールを含む可能性のある燃料）
燃料タンク容量	45 L

システム	**モデル**
エンジン	**1200 4-TEC**
エンジンタイプ	Rotax 1203、水冷4ストローク、バランサーシャフト付きD.O.H.C.、ドライサンプ
シリンダー	3
排気量	1,170.7 cm^3
ボア	91 mm
ストローク	60 mm
最高出力時回転数	7,800 rpm
燃料噴射システム	マルチポイントEFI、ヒーター付き52 mm スロットルボディ
エキゾーストシステム	エキゾーストパイプ、マフラー
エンジンオイル	北欧諸国：4T 0W40合成オイル (EUR) (619590114) (P/N 779286) その他のすべての国：4T 0W40合成オイル (293600112) (P/N 779139) または相当品。*推奨オイル*を参照してください。
エンジンオイルタンク容量	フィルターとオイル交換: 3.5 L
クーラント	エチルグリコールと水の混合液（クーラントおよび蒸留水を50%ずつ)。 北欧諸国： ロングライフプレミッククーラント（EUR） (219702685) (P/N 779223) その他のすべての国:ロングライフプレミッククーラント (219702685) (P/N 779150)またはアルミ製エンジン専用クーラント
推奨燃料	無鉛レギュラーガソリン *燃料要件*を参照してください。
最小オクタン価	ポンプオクタン価87、AKI (RON+MON)/2（エタノールを含まない燃料）
	92 RON（エタノールを含まない燃料）
	ポンプオクタン価91、AKI (RON+MON)/2（最大10%のエタノールを含む燃料）
	95 RON（最大10%のエタノールを含む燃料）
燃料タンク容量	45 L

システム	モデル
エンジン	**900 ACE**
エンジンタイプ	Rotax 903、水冷、4ストローク、D.O.H.C.、ドライサンプ
シリンダー	3
排気量	899 cm^3
ボア	74 mm
ストローク	69.7 mm
最高出力時回転数	7,250 rpm
エキゾーストシステム	シングルフロントパイプ、バッフルマフラー
エンジンオイル	北欧諸国：4T 0W40合成オイル (EUR) (619590114) (P/N 779286) その他のすべての国： 4T 0W40合成オイル（293600112） (P/N 779139) または同等品。詳しくは*推奨オイルを参照してください。*
エンジンオイルタンク容量	オイル交換、 3.3 L
エンジンクーラント	エチルグリコールと水の混合液（クーラントおよび蒸留水を50%ずつ)。 北欧諸国： ロングライフプレミッククーラント（EUR） (219702685) (P/N 779223) その他のすべての国:ロングライフプレミッククーラント (219702685) (P/N 779150)またはアルミ製エンジン専用クーラント
燃料噴射システム	マルチポイントEFI、46 mmスロットルボディ
推奨燃料	無鉛レギュラーガソリン *燃料要件*を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="3">システム</th><th>モデル</th></tr>
<tr><td colspan="3">エンジン（続き）</td><td>900 ACE</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="4">最低オクタン価</td><td>ポンプオクタン価87、AKI (RON+MON)/2（エタノールを含まない燃料）</td></tr>
<tr><td>92 RON（エタノールを含まない燃料）</td></tr>
<tr><td>ポンプオクタン価91、AKI (RON+MON)/2（最大10%のエタノールを含む燃料）</td></tr>
<tr><td>95 RON（最大10%のエタノールを含む燃料）</td></tr>
<tr><td colspan="3">燃料タンク容量</td><td>45 L</td></tr>
<tr><td colspan="3">駆動システム</td><td>すべて</td></tr>
<tr><td rowspan="8">ドライブプーリー</td><td rowspan="4">タイプ</td><td>600 HO E-TEC</td><td>TRA III™</td></tr>
<tr><td>800R E-TEC</td><td>TRA VII™</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1200 4-TEC
900 ACE</td><td>eDrive II（北米モデル）</td></tr>
<tr><td>eDrive II（北米以外のモデル）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">起動時</td><td>600 HO E-TEC</td><td>3,000 RPM ± 100</td></tr>
<tr><td>800R E-TEC</td><td>3,800 RPM ± 100</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1200 4-TEC
900 ACE</td><td>2,200 RPM ±100（北米モデル）</td></tr>
<tr><td>2,100 RPM ±100（北米以外のモデル）</td></tr>
<tr><td colspan="3">ドリブンプーリータイプ</td><td>QRS</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドライブスプロケット丁数</td><td colspan="2">800R以外のすべてのE-TEC</td><td>8</td></tr>
<tr><td colspan="2">800RE-TEC</td><td>7</td></tr>
</table>

システム		モデル
駆動システム（続き）		**すべて**
ギアボックスオイル		北欧諸国：シンクロメッシュ・トランスミッション・合成オイル(欧州) (P/N 779211) その他のすべての国:シンクロメッシュ・トランスミッション・合成オイル(P/N 779170) 推奨されたXPSギアボックスオイルを入手できな場合、API GL-5基準を満たす75W140ギアオイルをご使用ください。
ギアボックス オイル容量		600 ml
公称トラック幅	Expedition SWT以外のすべて	500 mm
	Expedition SWT	600 mm
公称トラック長	Expedition SWT以外のすべて	391 cm
	Expedition SWT	396.8 cm
トラックプロファイル高さ	Expedition LE Expedition SE Expedition SWT	31.8 mm
	Expedition LE 900 ACE	38.1 mm
	Expedition Xtreme	44.4 mm
トラック張力	たわみ量	40 mm ～ 50 mm
	力 (1)	7.3 kgf
トラックアライメント		トラックガイドのエッジとスライダーシューの間で等間隔
ブレーキシステム		**すべて**
ブレーキシステム		ハイドリリック、REV-XPブレーキタイプ
ブレーキオイル		DOT 4

<table>
<tr><th colspan="2">システム</th><th>モデル</th></tr>
<tr><td colspan="2">サスペンション</td><td>すべて</td></tr>
<tr><td colspan="2">フロントサスペンション</td><td>RAS -2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フロントショック</td><td>Expedition LE
Expedition SE
Expedition SWT</td><td>モーションコントロール</td></tr>
<tr><td>Expedition Xtreme</td><td>HPG Plus R</td></tr>
<tr><td colspan="2">フロントサスペンション最大ストローク</td><td>210 mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">リアサスペンション</td><td>SC-5U</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フロントアームショック</td><td>Expedition LE
Expedition SE
Expedition SWT</td><td>モーションコントロール</td></tr>
<tr><td>Expedition Xtreme</td><td>HPG Plus</td></tr>
<tr><td rowspan="3">リアアームショック</td><td>Expedition LE
Expedition SWT</td><td>HPG</td></tr>
<tr><td>Expedition SE</td><td>ACS（空気制御式サスペンション）</td></tr>
<tr><td>Expedition Xtreme</td><td>KYB PRO 36 Easy Adjust</td></tr>
<tr><td>リアサスペンション最大ストローク</td><td>Expedition LE
Expedition SE
Expedition SWT
Expedition Xtreme</td><td>239 mm</td></tr>
</table>

システム		**モデル**
電装システム		**600 HO E-TEC**
発電機出力		12V/1,200 W
ヘッドライトバルブハイ/ロービーム		2 x 60/55ワット (H-4)
テールライトバルブ		P 21/5 W
スパークプラグ	タイプ	NGK PZFR6F (2) または同等品
	ギャップ	0.75 mm ± 0.05 mm(調整不可)
ヒューズ/リレー/コンデンサー	F 1:バッテリー	30 A
	F 2:開始時点	5 A
	F 3:ヒーター付きシート	20 A
	F 4:ファン	15 A
	F 5:エアサスペンション	15 A
	F 6:GPS&充電器	10 A
	R 1:	アクセサリリレー
	R 2:	ファンリレー

システム		モデル
電装システム		**800 R E-TEC**
照明システム出力		12V/360 W
ヘッドライトバルブハイ/ロービーム		2 x 60/55ワット (H-4)
テールライトバルブ		LED
スパークプラグ	タイプ	NGK PFR7AB （2） または同等品
	ギャップ	0.75 mm ± 0.05 mm(調整不可)
ヒューズ/リレー/コンデンサー	F 1:バッテリー	30 A
	F 2:開始時点	5 A
	F 3:ヒーター付きシート	20 A
	F 4:ファン	15 A
	F5:エアサスペンション（オプション）	15 A
	F6:GPS&充電器	10 A
	R 1:	アクセサリリレー
	R 2:	ファンリレー

システム		モデル
電装システム		**1200 4-TEC**
発電機出力		12V/490 W
ヘッドライトバルブハイ/ロービーム		2 x 60/55ワット (H-4)
テールライトバルブ		P 21/5 W
スパークプラグ	タイプ	NGK CR8EKB (2) または同等品
	ギャップ	調整不可
ヒューズ	F 1:バッテリー	30 A
	F 2:リレー/スタートボタン	5 A
	F 3:スターターソレノイド	10 A
	F 4:ファン	15 A
	F 5:HIC	10 A
	F 6:HIC/ゲージ	10 A
	F 7:フロント電源ソケットおよびヒーター	10 A
	F 8:ライト	20 A
	F 10:リア電源ソケット	5 A
	F 11:コンプレッサー	15 A
リレー	R 1:	ファンリレー
	R 2:	ロードリレー
	R 3:	ロードリレー
	R 4:	ファンリレー

システム		モデル
電装システム		**900 ACE**
照明システム出力		650 W、6,000 rpm時
ヘッドライトバルブハイ/ロービーム		2 x 60/55ワット (H-4)
テールライトバルブ		P 21/5 W
スパークプラグ	タイプ	NGK-MR7Bi-8 (2) または同等品
	ギャップ	0.8 mm
ヒューズとリレー	F1:バッテリー	30 A
	F2:リレー/スタートボタン	5 A
	F3:スターターソレノイド	10 A
	F4:ファン	15 A
	F5:HIC	10 A
	F6:HIC/ゲージ	10 A
	F7:フロント電源ソケットおよびヒーター	10 A
	F8:ライト	20 A
	F10:リア電源ソケット	5 A
	F11:コンプレッサー	15 A
	R1:	ファンリレー
	R2:	ロードリレー
	R3:	ロードリレー
	R4:	ファンリレー

システム		モデル
諸元表		すべて
乾燥重量	Expedition LE 600 HO E-TEC	278 kg
	Expedition SE 600 HO E-TEC	298 kg
	Expedition Xtreme 800R E-TEC	283 kg
	Expedition LE 1200 4-TEC	301 kg
	Expedition SE 1200 4-TEC	322 kg
	Expedition LE 900 ACE	290 kg
	Expedition SE 900 ACE	313 kg
	Expedition SWT	311 kg
車両全長	Expedition LE Expedition SE Expedition SWT Expedition Xtreme	337 cm
車両全幅	Expedition LE Expedition SE Expedition SWT Expedition Xtreme	114 cm ～ 118 cm
車両全高	Expedition LE Expedition SE Expedition SWT	133 cm
	Expedition Xtreme	122 cm
スキースタンス		97.5 cm ～ 101.8 cm
スキー幅		165 mm

)1(トラックを下向きに引っ張ったときのスライダーシューとボトムインサイドトラック間の隙間を測定します。

注意 (2) スパークプラグの隙間を調整しようとしないでください。

このページは
意図的に空白になっています

トラブルシューティング

トラブルシューティングガイドライン

電動スターターが作動しない

1. 緊急エンジン停止スイッチがOFF位置に入っている、またはテザーコードキャップがエンジンカットオフスイッチに取り付けられてない。
   - *緊急エンジン停止スイッチをON位置に入れ、テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチに取り付けます。*
2. エンジンを始動させようとするとき、スロットルを作動させます。
   - *クランキングをしている間、スロットルを放します。*

エンジン回転数がクラッチ接続ポイントまで達しない

1. D.E.S.S.キーが認識されない。D.E.S.S.パイロットランプが点滅している(ゆっくりで短いブザー音/繰り返し鳴る)。
   - *テザーコードキャップを正しく取り付けてください。*
   - *このスノーモービルがプログラミングされたD.E.S.S.キー付きのテザーコードキャップを取り付けます。*
2. ECMがD.E.S.S.キーを認識しない（900 ACEおよび1200 4–TEC）。
   - *正規Ski-Dooディーラーにご相談ください。*

エンジンのオーバーヒート

1. 雪が不十分または固い圧雪。
   - *粉雪の上を走行する。粉雪が近くにない場合、道端に車両を寄せ、エンジンを切り、エンジン温度が下がるのを待ってください。エンジン温度が下がったら、できるだけ早く粉雪まで移動してください。*
2. クーラントレベルが低い。
   - *クーラントレベルを点検します。メンテナンス手続を参照してください。*
3. 熱交換器の詰まり。
   - *熱交換器を清掃します。*

エンジンの加速力または出力不足

1. 使用するキーの学習（900 ACEおよび1200 4–TEC）。
   - *ノーマルキーを使用します。*
2. スポーツモードが有効にならない（900 ACEおよび1200 4–TEC）。
   - *動作モードでスポーツモードを有効にするを参照してください。*
3. エンジン暖機が進行中（E-TEC）。
   - *車両を低速で2～3分走行させます。*
4. エンジン慣らし運転期間が完了していません（E-TEC）。
   - *慣らし運転期間を完了させてください。*
5. ドライブプーリーの調整が不適切。
   - *ドライブプーリーを調整します。メンテナンス手順を参照してください。*
6. ドライブプーリーとドリブンプーリーが整備を必要としています。
   - *正規 Ski-Doo ディーラーに相談してください。*
7. ドライブベルトが摩耗して薄すぎる。
   - *ドライブベルトの幅が、本来の幅より 3 mm (1/8インチ) 以上狭い場合、車両の性能に影響を与えます。*
   - *ドライブベルトを交換します。*

8. 正しくないトラック調整。
   - *メンテナンスを参照して、正規Ski-Dooディーラーに正しいアライメントと張力の調整を依頼してください。*
9. RAVEバルブの問題（E-TEC）
   - *正規Ski-Dooディーラー、修理工場またはご自分で選んだ人にメンテナンス、修理または交換を依頼してください。保証請求の情報については、本ガイドに記載されている米国環境保護庁排ガス関連保証を参照してください。*

エンジンバックファイア

1. エンジンの動作中の温度が高すぎる。
   - *エンジンのオーバーヒートを参照してください。*
2. 点火タイミングが不適切であるか、イグニッションシステムに不具合がある。
   - *正規Ski-Dooディーラー、修理工場またはご自分で選んだ人にメンテナンス、修理または交換を依頼してください。保証請求の情報については、本ガイドに記載されている米国環境保護庁排ガス関連保証を参照してください。*
3. エキゾーストシステムが漏れる。
   - *正規Ski-Dooディーラー、修理工場またはご自分で選んだ人にメンテナンス、修理または交換を依頼してください。保証請求の情報については、本ガイドに記載されている米国環境保護庁排ガス関連保証を参照してください。*
4. 燃圧が低すぎる。
   - *正規Ski-Dooディーラー、修理工場またはご自分で選んだ人にメンテナンス、修理または交換を依頼してください。保証請求の情報については、本ガイドに記載されている米国環境保護庁排ガス関連保証を参照してください。*

エンジンの失火

1. 燃料に水が混入。
   - *燃料システムの抜き取りを行い、新品の燃料を充填します。*
2. RAVEバルブの誤作動（E-TEC）。
   - *RAVEバルブシステムを点検してください。正規Ski-Dooディーラー、修理工場またはご自分で選んだ人にメンテナンス、修理または交換を依頼してください。保証請求の情報については、本ガイドに記載されている米国環境保護庁排ガス関連保証を参照してください。*

スロットルレバー入力からの応答がない。メッセージ表示：PRESS START TO GO

1. エンジンマネジメントシステムがセンサーの問題を検出しました。
   - *スタートボタンを押し続けて車両を動かします。正規Ski-Dooディーラー、修理工場またはご自分で選んだ人にメンテナンス、修理または交換を依頼してください。保証請求の情報については、本ガイドに記載されている米国環境保護庁排ガス関連保証を参照してください。*

モニタリングシステム

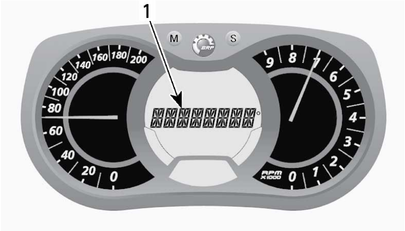
パイロットランプ、メッセージおよびブザー信号

ゲージパイロットランプ (S) は、異常が発生した場合や特定の条件を知らせます。

代表例 — パイロットランプ

インジケーターランプが単独で点滅するか、別のランプと一緒に点滅します。

多機能アナログ/デジタルゲージ上では、異常が発生した場合や特定の条件を知らせる際に簡単に内容がわかるよう、パイロットランプの補助としてディスプレイが使用されています。



1.　メッセージ表示

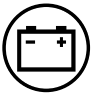
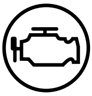
メッセージは、ブザー信号およびパイロットランプとともに表示されます。

運転者の注意を引き付けるためにブザー信号が鳴り、メッセージが表示されます（ゲージモデルにより異なる）。

詳細については下表をご覧ください。

注： リストにあるパイロットランプやメッセージの一部が表示されないモデルもあります。

パイロットランプオン	ブザー	メッセージ表示	説明
	5分ごとに4回の短いブザー音	オイル残量少	4ストロークエンジンの場合：エンジンオイル圧の低下。安全な場所に車両を止めてから、オイルレベルを点検します。適正レベルまで補充してください。オイルレベルが適正だった場合は、使用を中止して、正規Ski-Dooディーラーに相談してください。
	30秒ごとに4つの短いブザー音	ENGINE OVERHEAT (エンジンオーバーヒート)	エンジンがオーバーヒートしています。スノーモービルの速度を落とし、軟らかい雪の上を走るか、ただちにエンジンを止めて、エンジンを冷まします。クーラントレベルを確認します。メンテナンスを参照してください。クーラントレベルが適正で、オーバーヒートが解消しない場合、正規Ski-Dooディーラーに相談してください。同じ状態が持続する場合は、エンジンを動作させないでください。
		MUFFLER (マフラー)	速度を落とすか、エンジンを止めてください。エンジンを冷まし、再始動します。オーバーヒートが解消しない場合、正規 Ski-Doo ディーラーに相談してください。同じ状態が持続する場合は、エンジンを動作させないでください。

パイロットランプオン	ブザー	メッセージ表示	説明
	速い短いブザー音が繰り返される	ENGINE OVERHEAT (エンジンオーバーヒート)	危険なオーバーヒート状態です。エンジンをただちに止めて、エンジンを冷まします。クーラントレベルを確認します。メンテナンスを参照してください。クーラントレベルが適正で、オーバーヒートが解消しない場合、正規 Ski-Doo　ディーラーに相談してください。同じ状態が持続する場合は、エンジンを動作させないでください。
		MUFFLER OVERHEAT (マフラーオーバーヒート)	危険なオーバーヒート状態です。エンジンをただちに止めて、エンジンを冷まします。オーバーヒートが解消しない場合、正規 Ski-Doo ディーラーに相談してください。同じ状態が持続する場合は、エンジンを動作させないでください。同じ状態が持続する場合は、エンジンを動作させないでください。
		ECM OVERHEAT (ECMオーバーヒート)	
	5分ごとに4回の短いブザー音	LOW BAT (バッテリー残量低)	バッテリー電圧状態が低いまたは高いことを示します。可能な限り早く正規Ski-Dooディーラーに相談してください。
		HIGH BAT (バッテリー残量高)	
	4回の短いブザー音	CHECK ENGINE（エンジン点検の必要あり）	エンジン不良です。可能な限り早く、正規Ski-Dooディーラー、修理工場またはご自分で選んだ人に相談してください。
—	5分ごとに4回の短いブザー音	ノック	エンジンのデトネーション（この状態が生じると回転数が制限されます）。 - 推奨燃料が使用されていることを確認します。 - 燃料品質を点検し、必要に応じて交換します。 - それでも不具合が生じる場合、正規Ski-Dooディーラー,修理工場またはご自分で選んだ人に依頼してください。
—	5分ごとに4回の短いブザー音	回転数制限	何らかの不具合が発生すると、保護のためにエンジン回転数が制限されます。

パイロットランプオン	ブザー	メッセージ表示	説明
—	—	過回転	E-TECエンジンで、最高エンジン回転数に達したことを示します。クラッチ較正を確認します。
—	速い短いブザー音が繰り返される	SHUTDOWN (停止)	エンジンオーバーヒートまたは燃料ポンプの不具合であるため、強制停止を行います。テザーコードキャップをエンジンカットオフスイッチから引き抜いてから、正規Ski-Dooディーラー、修理工場、およびご自分で選んだ人にご連絡ください。
—	—	通信	ECMとゲージ間の通信の不具合。エンジンを停止し、テザーコードキャップを取り外します。2~3分待ってから、エンジンを始動します。不具合が解消されない場合、正規Ski-Dooディーラーに相談してください。
D.E.S.S.	2回の短いブザー音	—	正しいキーが使用され、車両の作動準備が完了しています。
	2つの短いブザー音が、ゆっくり繰り替えして鳴る	キーの確認	キーを読み取ることができません（通信状態が悪い）キーが汚れておらず、正しくポストにはまっていることを確認します。
	速い短いブザー音が繰り返される	BAD KEY（不正なキー）	無効なキーまたは設定されていないキーです。車両の正しいキーを使用するか、設定されているキーを使用してください。
—	—	(点滅)	燃料レベルセンサーの不具合。

パイロットランプオン	ブザー	メッセージ表示	説明
—	—	スロットル開度	エンジン始動中にスロットルレバーが作動しました（エンジンがクランキングするもののかからない）。始動中はスロットルを放してください。
—	—	ドラウンモード	エンジンを始動しているときにスロットルが大きく開きました（エンジンがクランキングするもののかからない）。始動中はスロットルを放してください。

故障コードの読み取り方

多機能アナログ/デジタルディスプレイのみ

アクティブな故障コードを読み取るには、モード (M) ボタンを押したままにして、同時にハイ/ロービームスイッチを繰り返して数回押します。

2つ以上のコードが記録されている場合は、セット (S) またはモード (M) ボタンを使用してスクロールします。

故障コードモードを修了するには、MODE (M) ボタンを押し続けます。

コードの意味については、正規 Ski-Doo ディーラーに相談してください。

保証

BRP 限定保証（米国およびカナダ）：2019 年型 SKI-DOO® スノーモービル

1) 限定保証の範囲

ボンバルディアレクリエーション製品株式会社（「BRP」）*は、（以下で定義する）認定BRPディラーがアメリカ合衆国（「米国」）およびカナダで販売した2019 Ski-Dooスノーモービルについて、以下に示す条件下において所定の期間にわたってその材料または加工における血管が発生しないことを保証します。以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1) スノーモービルがいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合 (前のオーナーによる競技活動も含む)、または、(2) スノーモービルが、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリーを保証しません。該当する部品およびアクセサリーの限定保証に関する文章を参照してください。

2) 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれらのみには限定されない、明示的または黙示的な保証その他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらは所有者には適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、所有者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRPディーラー、そしていかなる個人も、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を、BRPあるいはその他の個人に対して行ってはならず、万一行った場合、それらの内容はBRPに対して強制できるものではありません。BRPは、限定保証が有効である期間中は販売済みの製品に適用される保証条件が変更されないことを前提として、この保証をいつでも変更する権利を留保します。

3) 除外規定 –（以下は保証修理の対象とはなりません）

以下は保証対象ではありません:

- 通常の摩耗および消耗品
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- オペレーターズガイドに示されている適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、またはBRPによって製造もしくは認定されていない部品もしくはアクセサリーの使用の結果として生じた損傷、または整備を行う正規整備BRPディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷；
- 製品の乱用、誤用、懈怠、雪面以外の表面で製品を使用することによって生じた損傷、オペレーターズガイド記載の推奨される操作に一致しない方法による製品の操作によって発生した損傷;
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使っての運転（『オペレーターズガイド』を参照）
- 雪または水の吸入

- 二次的または間接的な損害、あるいはけん引、保管、電話、借用、タクシー、不便、保険担保、ローンの支払い、時間的損失、収入の損失を含むがそれらのみに限定されないその種の損害;
- BRPの指示事項に適合しない仕方でトラックに取り付けられたスタッドに起因する損傷。

4) 保証対象期間

この限定保証は、製品が最初の小売消費者に納品された日と、製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

個人使用または業務使用の所有者の場合は、連続する12ヶ月間。ただし、ある年の6 月 1日と12月1日の間に納品されたスノーモービルの保証期間は、次の年の11月30日に失効します。

排出ガス関連のコンポーネントに関しては、本書に記載された*米国EPA排出ガス関連保証*も参照してください。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証範囲は、次の条件のそれぞれが満たされた場合に**のみ**適用されます:

- 2019年型Ski-Dooスノーモービルは、その販売が行われた国においてSki-Dooスノーモービルの販売を許可されているBRPディーラー（「**BRP ディーラー**」）から、最初のオーナーが未使用の新品として購入したものでなければなりません。
- BRP が指定した納品前点検を完了し、納品前点検チェックリストを作成し、購入者が署名していること。
- 2019年型Ski-Dooスノーモービルは正規BRPディーラーによって正しく登録されなければなりません；
- 2019年型Ski-Dooスノーモービルは、購入者が居住する国で購入されなければなりません；かつ
- 保証の有効性を維持するために、オペレーターズガイドで概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていることが必要です。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を付与しません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後にスノーモービルの使用を中断しなければなりません。お客様は瑕疵の発現から3日以内に、整備を行う BRP ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーに与えなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものを BRP ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理／作業注文書に署名する必要があります。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7) BRPが行うこと

この保証に基づくBRPの義務は、本保証に記載される条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の正規BRPディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと、新品の純正Ski-Doo部品と交換することのいずれか一方に限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対するスノーモービルの販売の取り消しの理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、国、州、地域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、所有者は地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは正規Ski-Dooディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の所在地を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは経営者とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.com にあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

© 2018 ボンバルディ エレクリエーショナルプロダクツ、無断複写転載を禁じます。

®ボンバルディ エレクリエーショナルプロダクツの登録商標です。

米国 EPA 排出ガス関連保証

また、Bombardier Recreational Products Inc (「BRP」)*は、最終購入者かつ2次購入者に対して、排ガス浄化システムおよび蒸発ガス処理システムのすべての部品など、この新しいエンジンが2つの条件を満たすことを保証します。

1. 最終購入者への販売時に、40 CFR 1051 および 40 CFR 1060 の要件に準拠するよう設計、組み立て、装備されています。
2. 40 CFR 1051 および 40 CFR 1060 の要件への準拠を妨げるような部材および製造上の欠陥はありません。

保証の対象となるものがある場合は、BRPは表示された保障期間中、エンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させる部材または製造上の欠陥がある部品やコンポーネントの修理または取り換えを、排出ガス関連部品の診断、修理または取り換の費用を含み、無償で行います。この保証に基づいて交換された欠陥部品は、すべてBRPの所有となります。

すべての排出ガス関連保証の請求では、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理を正規Ski-Dooディーラーに制限します。ただし、以下のリストの第2項目により要求される緊急修理を除きます。

認証メーカーとして、BRPは下記事項を理由として排出ガス関連保証の請求を拒否することはありません。

1. BRPまたはBRP認定工場が行ったメンテナンスまたはその他のサービス。
2. 運転者がなるべく早くエンジン/機器を適切な構成を復元するために行った、BRPに起因する危険で緊急な状態を矯正するためのエンジン/設備の修理。
3. 補償請求とは無関係な、運転者による処置の有無。
4. BRPが指定する回数よりも頻繁に行われたメンテナンス。
5. BRPの過失または責任であることのすべて。
6. 機器を稼動させる場所で一般に入手可能な燃料を使用すること（ただし、BRPのメンテナンス注意事項にその燃料が機器の排出ガス制御システムを損傷すると記載され、運転者が適切な燃料を簡単に入手できる場合を除く）。メンテナンス情報のセクションおよび給油のセクションにある燃料に関する要件を参照してください。

排出ガス関連の保証期間

排出ガス関連保証は、以下の期間のうち最も短い期間となります。

	時間:	月数	KM
排出ガス関連コンポーネント:	200	30	4,000
蒸発ガス関連コンポーネント	非適用	24	非適用

保証が適用されるコンポーネント

排出ガス関連の保証は、以下に挙げるコンポーネントを含め、故障した場合にエンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させるコンポーネントのすべてを対象とします。

1. 排出ガスについては、以下のシステムに関連するエンジン部品を含む排出ガス関連のコンポーネント
   - 吸気システム
   - 燃料システム
   - イグニッションシステム
   - 排気ガス再循環システム
2. 以下の部品も排出ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
   - 後処理機器
   - クランクケースベンチレーションバルブ

- センサー
- 電子制御ユニット

3. 以下の部品は蒸発ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
   - 燃料タンク
   - 燃料キャップ
   - 燃料管路
   - 燃料管路フィッティング
   - クランプ*
   - プレッシャーリリーフバルブ*
   - 制御バルブ*
   - 制御ソレノイド*
   - 電子制御*
   - 真空制御ダイヤフラム*
   - 制御ケーブル*
   - コントロールリンケージ*
   - パージバルブ
   - 蒸気ホース
   - 液体/蒸気セパレータ
   - カーボンキャニスター
   - キャニスターのマウンティングブラケット
   - キャブレターパージポートコネクター

4. 排出ガス関連のコンポーネントには、排出ガスを減少させることだけが目的の他の部品や、故障してもエンジン/機器の性能を大きく低下させずに排出ガスを増加させる部品も含まれています。

適用範囲制限

認証メーカーとして、BRPは所有者または運転者の不適切なメンテナンスや使用、メーカーには一切責任がない事故、または天災や不可抗力によって生じた故障の排出ガス関連の保証請求を拒否する場合があります。例えば、運転者によるエンジン/機器の酷使、または運転者による設計目的以外の使用方法が直接の原因で発生し、メーカーは全く原因に関与していない故障に関しては、排出ガス関連の保証請求は付与されません。

保証の権利や責任についてご質問がある場合は、ボンバルディアレクリエーショナルプロダクツ（電話：1-888-272-9222）までご連絡ください。

*蒸発ガス制御システム関連

* 米国内では、製品の流通とサービスはBRP US Inc.が行います。

BRP国際限定保証：2019 年型SKI-DOO® スノーモービル

1) 限定保証の範囲

ボンバルディアレクリエーション製品株式会社（**「BRP」**は、BRPがSki-Dooスノーモービルを販売する権限を与えた販売店またはディーラー（「Ski-Doo販売店/ディーラー）が販売した2019 Ski-Dooスノーモービルについて、アメリカ合衆国、カナダ、（欧州連合にノルウェイ、アイスランド、およびリヒテンシュタインを加えた加盟国で構成される）欧州経済領域加盟国**「EEA」**）、独立国家共同体加盟国（ウクライナおよびトルクメニスタンを含む）（**「CIS」**）およびトルコにおいて、以下に示す条件の下において、所定の期間その材料および加工について欠陥が生じないことを保証します。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリーを保証しません。該当する部品およびアクセサリーの限定保証に関する文章を参照してください。

以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1) スノーモービルがいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合 (前のオーナーによる競技活動も含む)、または、(2) スノーモービルが、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

2) 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それが所有者にも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、所有者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。（オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項を参照してください）。

Ski-Dooディストリビューター/ディーラーとその他の人物とを問わず、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表明、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。

BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

3) 除外規定 – （以下は保証修理の対象とはなりません）

どのような場合においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- 通常の摩耗および消耗品
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- オペレーターズガイドに示されている過失、または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造の結果として生じた損傷、または製品に適合していない、もしくはその動作、性能や耐久性に悪影響を与えると合理的に判断される、BRPが製造もしくは認定していない部品もしくはアクセサリーの使用の結果として生じた損傷、または整備をするBRPディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷；
- 製品の乱用、誤用、懈怠、レース競技、雪面以外の表面で製品を走行させることによって生じた損傷、オペレーターズガイド記載の推奨される操作に一致しない方法による製品の操作によって発生した損傷；
- 事故、水没、火災、雪もしくは水の吸入、盗難、破壊行為またはあらゆる天変地異の結果として生じた損傷

- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使っての運転（『オペレーターズガイド』を参照）
- エレメントの錆、腐食または露出から生じた損傷
- 二次的または間接的な損害、あるいはけん引、保管、交通費、電話、借用、タクシー、不便、保険担保、ローンの支払い、時間的損失、収入の損失、またはメンテナンス作業に関わる作業停止時間による収入および時間の損失を含むがそれらのみに限定されないその種の損害。
- ならびに、BRPの指示事項に適合しない仕方でトラックに取り付けられたスタッドに起因する損傷。

4) 保証対象期間

この保証は、（1）最初の小売消費者に納品された日と、（2）その製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

個人使用または業務使用の所有者の場合は、連続する12ヶ月間。ただし、ある年の6月1日と12月1日の間に納品されたスノーモービルの保証期間は、次の年の11月30日に失効します。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

オーストラリアで販売された製品のみに適用

これらの保証の利用規約は、オーストラリアの消費者法またはその他の法律を含む、Competition and Consumer Act 2010 (Cth)（2010 年競争消費者法）によって授与または黙示されるいかなる条件、保証、請け合い、権利または善後策の適用を除外、制限または変更しないものとし、法律を違反しないものとします。違反する利用規約がある場合、それは無効となります。この限定的保証で得られるメリットは、オーストアリアの法律で守られている権利および善後策に加えて与えられます。

弊社の製品の保証は、オーストラリアの消費者法によって守られています。重故障に対する交換または払い戻し、またはその他のいかなる合理的に予見可能な損失または損害に対する補償が約束されます。お客様には、製品が許容される品質を満たせず、その故障が重故障とならない場合、その製品を修理または交換する権利があります。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証範囲は、次の条件のそれぞれが満たされた場合に**のみ**適用されます:

- 2019年型Ski-Dooスノーモービルは、その販売が行われた国においてSki-Dooスノーモービルの販売を許可されているSki-Dooディストリビューター/ディーラーから、最初のオーナーが未使用の新品として購入したものでなければなりません；
- BRPが指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成していること。
- 製品は、正規Ski-Dooディストリビューター/ディーラーによって正しく登録されなければなりません；
- 2019年型Ski-Dooスノーモービルは、購入者が居住する国で購入されなければなりません。
- 保証の有効性を維持するために、オペレーターズガイドで概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていることが必要です。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後にスノーモービルの使用を中断しなければなりません。お客様は瑕疵の発現から2日以内に、整備を行うSki-Dooディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディストリビューター/ディーラーに与えなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをSki-Dooディストリビューター/ディーラーに提示し、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

通知期間はお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7) BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は、本書に記載される条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の正規Ski-Dooディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと、新品の純正Ski-Doo部品と交換することのいずれか一方に限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対するスノーモービルの販売の取り消しの理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、国、州、地域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、所有者は地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは正規Ski-Dooディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の所在地を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、Ski-Dooディストリビューター/ディーラーレベルで問題解決を試みてください。当社は、その問題について、正規Ski-Dooディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合うことをお勧めいたします。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便で*ご連絡*ください。

* この限定保証が適用される地域では、製品の流通とサービスはボンバルディ エレクリエーショナルプロダクツまたは子会社が行います。

© 2018 ボンバルディ エレクリエーショナルプロダクツ、無断複写転載を禁じます。
®ボンバルディ エレクリエーショナルプロダクツの登録商標です。

ヨーロッパ地域、独立国家共同体 (CIS) 地域およびトルク向けBRP限定保証：2019 年型SKI-DOO® スノーモービル

1) 限定保証の範囲

ボンバルディ エレクリエーショナルプロダクツ（**「BRP」**）*は、米国の50州、カナダ、欧州経済地域（**「EEA」**）の加盟国（欧州連合加盟国ならびにノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインにより構成される）、独立国家共同体（ウクライナとトルクメニスタンを含む）の加盟国（**「CIS」**）ならびにトルコにおいて、Ski-Dooスノーモービルを供給することをBRPにより認定されたディストリビューター/ディーラー（**「Ski-Dooディストリビューター/ディーラー」**）によって販売された2019年型Ski-Dooスノーモービルについて、下記の期間中および条件下で材料および仕上がりに欠陥がないことを保証します。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリーを保証しません。該当する部品およびアクセサリーの限定保証に関する文章を参照してください。

以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1) スノーモービルがいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合 (前のオーナーによる競技活動も含む)、または、(2) スノーモービルが、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

2) 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それが所有者にも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、所有者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

Ski-Dooディストリビューター/ディーラーとその他の人物とを問わず、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表明、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。

BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

3) 除外規定 – （以下は保証修理の対象とはなりません）

どのような場合においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- 通常の摩耗および消耗品
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- オペレーターズガイドに示されている過失、または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造の結果として生じた損傷、または製品に適合していない、もしくはその動作、性能や耐久性に悪影響を与えると合理的に判断される、BRPが製造もしくは認定していない部品もしくはアクセサリーの使用の結果として生じた損傷、または整備をするBRPディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷；
- 製品の乱用、誤用、懈怠、レース競技、雪面以外の表面で製品を走行させることによって生じた損傷、オペレーターズガイド記載の推奨される操作に一致しない方法による製品の操作によって発生した損傷；

- 事故、水没、火災、雪もしくは水の吸入、盗難、破壊行為またはあらゆる天変地異の結果として生じた損傷
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使っての運転（『オペレーターズガイド』を参照）
- エレメントの錆、腐食または露出から生じた損傷
- 二次的もしくは間接的な損害、またはけん引、輸送費、保管、電話、賃貸、タクシー、不便、保険適用、ローンの支払い、時間の損失、収入の損失、もしくは整備作業のための不稼働による時間の損失を含むがそれらに限定されない損害；
- ならびに、BRPの指示事項に適合しない仕方でトラックに取り付けられたスタッドに起因する損傷。

4) 保証対象期間

この保証は、（1）最初の小売消費者に納品された日と、（2）その製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

個人使用の所有者の場合は、連続する 24 ヵ月間。業務使用の所有者の場合は、連続する12ヶ月間。ただし、ある年の6月1日と12月1日の間に納品されたスノーモービルの保証期間は、該当年の11月30日に失効します。保証期間中の一部であっても、スノーモービルが収入の発生または何らかの業務もしくは雇用に関連して用いられる場合、そのスノーモービルは業務用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中のいずれかの時点で、スノーモービルが商業用のタグを付けられた場合や、業務用途の認可を受けた場合も、そのスノーモービルは業務用途で使用されたものと見なされます。

この保証による部品の修理もしくは交換、または整備の実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証範囲は、次の条件のそれぞれが満たされた場合に**のみ**適用されます:

- 2019年型Ski-Dooスノーモービルは、その販売が行われた国においてSki-Doo製品の販売を許可されているSki-Dooディストリビューター/ディーラーから、最初のオーナーが未使用の新品として購入したものでなければなりません；
- BRPが指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成していること。
- 製品は、正規Ski-Dooディストリビューター/ディーラーによって正しく登録されなければなりません；
- 2019年型Ski-Dooスノーモービルは、EEA域内ではEEA居住者、CIS域内ではCIS居住者、およびトルコではトルク居住者によって購入されなければなりません。さらに、
- 保証の有効性を維持するために、オペレーターズガイドで概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていることが必要です。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後にスノーモービルの使用を中断しなければなりません。お客様は瑕疵の発現から2か月以内に、整備を行うSki-Dooディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディストリビューター/ディーラーに与えなければなりません。また、

お客様は製品の購入を証明するものをSki-Dooディストリビューター/ディーラーに提示し、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

通知期間はお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7) BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は、本書に記載される条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の正規Ski-Dooディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと、新品の純正Ski-Doo部品と交換することのいずれか一方に限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対するスノーモービルの販売の取り消しの理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

EEA、CISまたはトルコの外で整備が必要である場合は、所有者は、輸送、保険、税金、ライセンス料、輸入税、ならびに、政府、州、準州およびそれらの各官庁が課す手数料など、あらゆるその他の金融費用を含むがそれらに限定されない、現地の地域の慣行や状況によるすべての追加料金について責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 所有権の譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは正規Ski-Dooディストリビューター/ディーラーが、もとの所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の所在地を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

9) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、Ski-Dooディストリビューター/ディーラーレベルで問題解決を試みてください。当社は、その問題について、正規Ski-Dooディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合うことをお勧めいたします。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドの「お客様窓口」のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

* EEAでは、製品の流通とサービスはBRP European Distribution S.A. およびBRPのその他の関連会社または子会社によって行われます。

© 2018 ボンバルディ エレクリエーショナルプロダクツ、無断複写転載を禁じます。

®ボンバルディ エレクリエーショナルプロダクツの登録商標です。

フランスのみに適用する追加利用規約

次の諸条項はフランスで販売されている製品だけに適用されます。

販売者は契約に適合する製品を納品し、納品時に認められる瑕疵の責任を負います。販売者は、契約による自らの責任で、または自らの責任で行われたパッケージング、組み立て指示または取り付けに起因する欠陥の責任を負います。契約を成立させるには、製品は次の条件をクリアする必要があります。

1. 同等品の通常の用途に適合していること。さらに、該当する場合は、
   - 製品が販売者の説明と一致し、サンプルまたは模型を使用して購入者に説明された品質を有していること
   - 製品が、広告やラベルを含む、販売者、見本の製造業者の公的発表により購入者が合理的に期待する品質を有していること、または
2. 製品は、当事者間で相互に合意された特性を持っている、または購入者が事前に販売者に特定の使用目的を相談し、販売者が目的を満たせると承諾した特性を持っていること。

不適合に関する措置は、納品から 2 年間と定められています。販売者は、製品に購入者の使用目的を満足できなくなるほどの潜在的な欠陥がある場合、またはその欠陥を事前に知っていればより安価で購入していた可能性がある場合、その潜在的欠陥に対する保証の責任を負います。そのような潜在的欠陥に対する賠償要求は、欠陥の発見から2年以内に購入者によって行われる必要があります。

このページは
意図的に空白になっています

顧客情報

個人情報

お客様の連絡先情報は、安全性の確保と保証に関する目的で使わせていただきます。また、BRPおよびその子会社は、顧客リストを使用してBRPおよび関連製品のマーケティングおよびプロモーション情報を配布させていただくことがあります。

お客様のデータに関するご相談、訂正またはダイレクトマーケティング用のアドレスリストからの削除については、BRP までご連絡ください。

Eメール： **privacyofficer@brp.com**

郵便： BRP
Senior Legal Counsel-Privacy Officer
726 St-Joseph
Valcourt QC
Canada
J0E 2L0

お客様窓口

www.brp.com

北米

565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
Canada

Sturtevant, Wisconsin, U.S.A.
10101 Science Drive
Sturtevant, Wisconsin
53177
U.S.A.

Sa De Cv, Av. Ferrocarril 202
Parque Ind. Querétaro, Lote2-B
76220
Santa Rosa Jáuregui, Qro., Mexico

ヨーロッパ

Skaldenstraat 125
B-9042 Gent
Belgium

Itterpark 11
D-40724 Hilden
Germany

ARTEPARC Bâtiment B
Route de la côte d'Azur, Le Canet
13590 Meyreuil
France

Ingvald Ystgaardsvei 15
N-7484 Trondeim
Norway

Isoaavantie 7
PL 8040
96101 Rovaniemi

Formvägen 16
S-906 21 Umeå
Sweden

Avenue d'Ouchy 4-6
1006 Lausanne
Switzerland

オセアニア

6 Lord Street
Lakes Business Park
Botany, NSW 2019
Australia

南米

Rua James Clerck Maxwell, 230
TechnoPark Campinas SP 13069-380 Brazil

アジア

15/F Parale Mitsui Building,8
Higashida-Cho, Kawasaki-ku
Kawasaki 210-0005
Japan

Room Dubai, level 12, Platinum Tower
233 Tai Cang Road
Xintiandi, Lu Wan District
Shanghai 200020
PR China

住所と所有者の変更

住所が変わった場合または、スノーモービルの所有権を新たに取得した場合、BRPに次の方法で通知してください：

- 正規Ski-Dooディーラーにご相談ください。
- **北米のみ：**1 888 272-9222に電話する。
- このガイドの *お客様窓口* のセクションに記載されているBRPの住所のいずれかに、以降のページにある住所変更カードを郵送してください。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

保証期間が切れている場合でも、オーナーに安全リコールなどに関する情報を伝達するのに非常に重要なため、必ずBRPに通知してください。BRPに連絡することは所有者の責任です。

盗難に遭った場合：ご自身のスノーモービルが盗まれた場合には、BRPまたは正規Ski-Dooディーラーにご連絡ください。お客様の氏名、ご住所、電話番号、車両識別番号、そして盗難が起きた日付をお知らせください。

空白

ページ

住所変更 ❏　　所有権の移転 ❏

スポーツボート識別番号

モデル番号　　車両登録番号(V.I.N.)

旧住所：

名前

No.　番地　アパート名

区市町村　州/県　ZIP/郵便番号

国　電話

新住所：

名前

No.　番地　アパート名

区市町村　州/県　ZIP/郵便番号

国　電話

電子メール

V00A2F

住所変更 ❏　　所有権の移転 ❏

スポーツボート識別番号

モデル番号　　車両登録番号(V.I.N.)

旧住所：

名前

No.　番地　アパート名

区市町村　州/県　ZIP/郵便番号

国　電話

新住所：

名前

No.　番地　アパート名

区市町村　州/県　ZIP/郵便番号

国　電話

電子メール

V00A2F

空白

ページ

住所変更 ❑ 所有権の移転 ❑

スポーツボート識別番号

モデル番号 車両登録番号(V.I.N.)

旧住所：

名前

No. 番地 アパート名

区市町村 州/県 ZIP/郵便番号

国 電話

新住所：

名前

No. 番地 アパート名

区市町村 州/県 ZIP/郵便番号

国 電話

電子メール

V00A2F

住所変更 ❑ 所有権の移転 ❑

スポーツボート識別番号

モデル番号 車両登録番号(V.I.N.)

旧住所：

名前

No. 番地 アパート名

区市町村 州/県 ZIP/郵便番号

国 電話

新住所：

名前

No. 番地 アパート名

区市町村 州/県 ZIP/郵便番号

国 電話

電子メール

V00A2F

空白
ページ

メモ

メモ

⚠ 警告

本車両を運転する前に、このオペレーターズガイドおよび本車両のすべての警告ラベルを読み、安全講習ビデオをご覧ください。

619 900 966_JA
オペレーターズガイド、EXPEDITIONシリーズ / 日本語

U/M:P.C.

®™ およびBRPロゴはボンバルディ エレクリエーショナルプロダクツまたはその関連会社の商標です。
©2018ボンバルディ エレクリエーショナルプロダクツ、無断複写・転載を禁じます。印刷国：カナダ